はじめに

このたびは、「SoftBank X03HT」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいた後は、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先 (P.16-19) までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank X03HTは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容について
  - 一部でも無断転載することは禁止されております。
  - 将来、予告無しに変更することがございます。
  - 万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。
- X03HTの内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果について、当社はいかなる保証もいたしかねます。なお、ソフトウェアのご使用に際して、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは必ずその使用条件をご確認ください。
- 以下の状態では、PIM機能を含むすべての機能がロックされますのでご注意ください。
  - 機種変更または解約し、USIMが未挿入または不正なUSIMが挿入されている場合※1
  - 長期間、本端末をお使いにならなかった場合※1
  - 長期間、フライトモードに設定していた場合※2

  ※1 ロックを解除するには、正規のUSIMを挿入して、電源を入れ直してください。

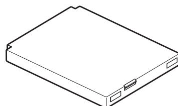
  ※2 ロックを解除するには、電源を切り、本体から電池パックをいったん取り外し、再度取り付けてから、電源を入れ直してください。

お買い上げ品の確認

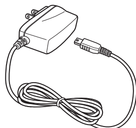
■X03HT本体



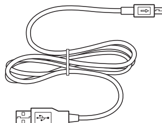
■電池パック（HTBAB1）



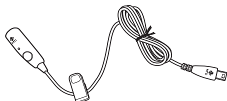
■急速充電器（HTCAC1）



■USBケーブル（HTDAA1）



■マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル（HTLAC1）



■取扱説明書（1部）

■First Step Guide（1部）

■お使いになる前にディスク※

※ 付属の「お使いになる前にディスク」は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、「お使いになる前にディスク」に収録されているソフトウェアの最新版のダウンロードについては、当社Webサイト「http://www.softbank.jp/」よりご確認いただけます。

補足

- 付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。
- X03HTは、microSD™/microSDHC™カードに対応しております。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™/microSDHC™カードをお買い求めください。

目次

1 ご利用になる前に

2 電話機能の使いかた

3 文字入力

4 連絡先／PIM機能

5 メール

6 インターネット

7 情報／データの同期

8 オフィスアプリケーション

9 外部接続／通信

10 データ管理

11 カメラ

12 エンタテイメント

13 セキュリティ

14 設定と管理

15 その他の機能

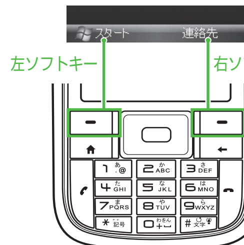
16 付録

本書の見かた

操作手順の表記について

■ソフトキー

以下の例のように画面下部の左右に表示される名称で説明しています。



例：左ソフトキー「スタート」を押す場合

1. スタート ＞ … ＞ …

例：右ソフトキー「連絡先」を押す場合

1. 連絡先 ＞ … ＞ …

■項目選択

以下の例のように選択する項目名やソフトキーの名称などは色分けして示しています。

例：**1.** スタート ＞ ツール ＞ 仕事 ＞ 対象の仕事を選択

特に説明がない場合は、ホーム（P.1-16）からの操作手順を記載しています。

項目を反転表示し、決定ボタンを押すことを示しています。

■ボタン

以下の例のように名称とイラストで説明しています。

例：**1.** 通話が終了したら終了ボタン（）

- 以降、本書において「SoftBank X03HT」は「本端末」、「microSD™/microSDHC™カード」は「メモリカード」と記載させていただきます。
- 本書に記載されている画面表示はあくまで例であり、実際とは異なる場合があります。

安全に関するご注意

- ご使用になる前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。
- 以降で説明する注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されています。よくお読みの上、記載内容を必ず厳守してください。
- 本製品の故障、誤作動、不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者の方が損害を受けられたとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示の説明

本書では次のような絵表示をしています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

⚠危険	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」内容を示しています。
⚠警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性および物損を伴う可能性がある」内容を示しています。
(禁止マーク)	してはいけないこと（禁止）を表しています。
(指示マーク)	しなければならないこと（指示）を表しています。
⚠	気を付ける必要があることを表しています。

⚠危険

■本端末、電池パック、充電器、USIMカード、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル、USBケーブルの取り扱いについて
<共通>

本端末に使用する電池パックおよび充電器は、指定のオプション品のみを使用する

指定のオプション品以外のものを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火などによって、本端末や電池パック、その他の機器の故障の原因となります。指定のオプション品については、お問い合わせください（P.16-19）。

分解や改造をしない

本端末および充電器、電池パックの本体は、絶対に分解しないでください。けがや感電などの傷害や火災が発生する恐れがあります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。本体内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口（P.16-19）にご依頼ください。本端末および充電器は、絶対に改造しないでください。感電や火災の発生の原因となります。

水にぬらさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。水や海水、ペットの尿などの液体が機器の本体に入ると、発熱・感電・火災などの発生により故障やけがの原因となります。また、電池パックの破損や性能の劣化、寿命の低下を引き起こす原因となります。

■電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに電池の種類が記載されています。お使いの電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオンポリマー電池

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷・変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 電池パックを本端末に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。

高温になる場所で使用したり放置したりしない

火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所、炎天下の車内など、高温になる場所での使用や放置は避けてください。機器の変形や故障、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の発生、および性能の劣化や寿命の低下の原因となります。また、機器のケースの一部が高温となり、やけどの原因となることがあります。

	**端子に針金などの金属類を接触させたり、端子どうしを接続したりしない** 充電用端子に金属製のストラップやボールペンのような筆記用具などを接触させないでください。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管したりすると、端子に接触する可能性がありますので避けてください。端子に金属製のものが接触すると、電池パックの漏液・発熱・発火・感電の恐れがあり、やけどやけがの原因となります。
	**電池パックの中の液体が目に入った場合、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受けてください。** そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

⚠警告

■本端末、電池パック、充電器、USIMカード、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル、USBケーブルの取り扱いについて
<共通>

水などの入った容器を近くに置かない

本端末や充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。液体がこぼれて本端末にかかったり、液体が本端末の中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パックや本端末、充電器、USIMカードを入れない

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火、および本端末や充電器の発熱・発煙・発火の恐れがあり、回路部品を破壊する原因となります。

USIMカードを乳幼児の手の届かない場所に保管する

乳幼児が飲み込んだりする事故の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火物がある場所では使用しない

ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にソフトバンク携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

本端末や充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。万一、本端末や充電器を落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口（P.16-19）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

内部に異物などが入ったときは

本端末の電源を切って電池パックを取り外した後、急速充電器はACプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器（オプション品）はプラグをシガーライターソケットから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口（P.16-19）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

使用中や充電中、または保管しているときに、異臭・発熱・変色・変形などの異常に気づいたときは、直ちに次のような処置をとってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜いてください。
2. 本端末の電源を切ってください。
3. 電池パックを本端末から取り外してください。
4. ソフトバンクの故障受付窓口（P.16-19）に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、発熱・破裂・発火の恐れや、電池パックの漏液の原因となります。

■本端末の取り扱いについて

禁止	**車の運転中に使用しない** 2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となり、本端末もこれに該当します。付属のマイク付ステレオイヤホン変換ケーブルをご利用の場合でも、安全な場所に車を止めてからご使用ください。
注意	**歩行中の使用** 歩行中の使用は注意力が散漫になるため周囲にはご注意ください。特に、横断歩道や踏切などでは十分に気を付けてください。交通事故の原因となります。
禁止	**車のダッシュボードの上など、エアバックが開いたときに影響を受けそうな場所に本端末を置かない** エアバックが開いたとき、本端末がご本人や同乗者に当たる恐れがあり、けがや事故、および故障や破損の原因となります。
指示	**航空機内では、本端末の電源を切る** 電波の影響で、航空機に搭載されている電子精密機器誤作動の原因、および安全運行に支障をきたす恐れがあります。航空機内では原則的に本端末の電源をお切りください。本端末をフライトモードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。
指示	**心臓の弱い方は、着信音量やバイブレータ（振動）の設定に気を付ける** 大きすぎる着信音や突然の振動は、心臓に悪影響を及ぼす可能性があります。
指示	**屋外で使用中、雷が鳴り出したら、直ちに本端末の電源を切って安全な場所に移動する** 落雷や感電の恐れがあります。

■充電器の取り扱いについて

禁止	**市販の「変圧器」は使用しない** 急速充電器を、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手でプラグの抜き差しをしない** 感電の原因となります。
禁止	**タコ足配線はしない** 発熱により火災の原因となります。
禁止	**コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせない** 端子に金属を接触させてショートさせたり、指先や手など身体の一部を接触させないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら急速充電器には触れない** 落雷・感電の原因となります。

(禁止)	**指定以外の電源、電圧で使用しない** 指定範囲外の電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。 急速充電器：AC100～240V（家庭用コンセントでのみ使用） シガーライター充電器（オプション品）：DC12V／24V
(禁止)	**シガーライター充電器（オプション品）はプラスアース車には使用しない** シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。
(指示)	**急速充電器の電源コードやシガーライター充電器（オプション品）のコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）** 直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
(指示)	**事故防止のために、シガーライター充電器（オプション品）は、運転に支障がない位置に取り付ける** 取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

■電池パックの取り扱いについて

(指示)	**所定の充電時間（P.16-17）を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する** 電池パックが漏液・発熱・破壊・発火する原因となります。
(指示)	**電池パックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用を中止して火気から遠ざける** 漏液した液体に引火する恐れがあり、発火・破裂の原因となります。
(指示)	**電池パックの中の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用を中止してきれいな水で洗い流す** 皮膚に傷害を引き起こす恐れがあります。
(指示)	**電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱や変色・変形など、今までとは異なる状態に気づいたときには、使用を中止して本端末から取り外す** そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

■医療電気機器の近くでのご使用上の注意

「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準じた内容について記載しています。

	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器をご使用されている場合、機器の装着部から本端末を22cm以上離して携行および使用してください。 本端末から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
	満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性があります。このような場所では本端末の電源を切るようにしてください。 本端末から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
	医療機関の屋内では次のことを守ってください。 ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）の中には、本端末を持ち込まない。 ・病棟内では本端末の電源を切る。 ・ロビーや待合室などでも付近で医用電気機器が使用されている場合は、本端末の電源を切る。 ・医療機関内で、使用および持ち込みなどが禁止されている場所については、その医療機関の指示に従う。
	**自宅療養など医療機関以外の場所で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用されている場合は、電波による影響について各医用電気機器のメーカーや販売元にご確認ください。** 本端末から発せられる電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

⚠注意

■本端末、電池パック、充電器、USIMカード、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル、USBケーブルの取り扱いについて
<共通>

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かない

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しない

故障の原因となります。

冷気が直接吹きつける場所に長時間放置しない

露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

極端に寒い場所に長時間放置しない

故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい場所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消失することがあります。

お子さまが本端末を使用する場合は、保護者から取り扱いの内容を教える

使用中においても、指示どおりに使用しているかどうかを常にご注意ください。けがなどの原因となります。

■本端末の取り扱いについて

本端末のキーボードを開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようにご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

本端末の温度（発熱）について

充電、動画の撮影・再生の最中や、長時間連続で使用した場合、本端末の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れているとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。本端末を充電器に接続した状態で長時間連続使用する場合には特にご注意ください。

音量設定については十分気を付ける

思わぬ大音量により耳に悪影響を及ぼす場合があります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

スピーカーフォンがオンになっているときは、必ず本端末を耳から離す

スピーカーフォンは、本端末を耳から離しても十分聞こえる音量になっています。耳を近づけていると音量が大きすぎるため、耳に悪影響を及ぼす場合があります。

自動車内で本端末を使用したとき、車載電子機器に影響を与える場合は使用しない

車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあり、安全を損なう恐れがあります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
ナビゲーションボタン中央キー	ABS	クロムメッキ仕上げ
前面プレート	ステンレススチール	該当なし
カメラリング	ABS	クロムメッキ仕上げ
ミラー	ABS	クロムメッキ仕上げ
ネジ	鉄	銅メッキ、ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
ミニUSBコネクタ	ステンレススチール／つや消し錫	該当なし
電池パック	ステンレススチール	該当なし
マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル（ミニUSBプラグ）	鉄	錫メッキ仕上げ
急速充電器（ACプラグ）	銅	ニッケルメッキ仕上げ
急速充電器（ミニUSBプラグ）	鉄	ニッケルメッキ仕上げ
USBケーブル（USBプラグ、ミニUSBプラグ）	鉄	ニッケルメッキ仕上げ

■充電器の取り扱いについて

急速充電器の電源コードやシガーライター充電器（オプション品）のコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。充電器のプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC コンセントやシガーライターソケットの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

	急速充電器の電源コードやシガーライター充電器（オプション品）のコードの上に重いものをのせない 感電・火災の原因となります。
	風通しの悪い場所では使用しない 充電中は、充電器を安定した風通しのよい場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。本端末が充電器から外れたり、熱がこもり、火災・事故の原因となります。
	エンジンが切れた状態では使用しない シガーライター充電器（オプション品）をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。
	長期間ご使用にならないときは、急速充電器はACプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器（オプション品）はシガーライターソケットから抜いて、本端末を取り外す 感電・火災・故障の原因となります。
	お手入れの際は、急速充電器はACプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器（オプション品）はシガーライターソケットから抜いてから行う 感電やけがの原因となることがあります。
	シガーライター充電器（オプション品）のケーブル類の配線について ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

■電池パックの取り扱いについて

	衝撃を与えたり、投げつけたりしない 発熱・破裂・発火の原因となることがあります。
	電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしない 発熱・発火の原因となることがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる場合があります。
	一般のゴミと一緒に捨てない 不要となった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップ窓口へお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
	その他 ・電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内（5℃～35℃）の場所以外では行わないでください。 ・電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。

■USIMカードの取り扱いについて

	USIMカードを取り外したり、取り付けたりする際は 手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本端末やメモリカードに登録したデータ（連絡先、画像、音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本端末は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話や通信が困難になることがあります。また、通話中に電波状態が悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本端末は電波法に定められた無線局です。電波法に基づく検査を受けていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本端末を使用すると、雑音の発生などの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 傍受にご注意ください。
  本端末はデジタル信号を利用しているため、傍受されにくくなっていますが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法によって第三者が故意に傍受するようなこともまったくないとは限りません。この点をご理解いただいた上でご使用ください。
  - 傍受（ぼうじゅ）とは
    無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- 本端末をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本端末を車内で使用したとき、自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機内での携帯電話による通話や通信は法律で禁止されています。
- 航空機内では原則的に本端末の電源をお切りください。本端末をフライトモードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。

お取り扱いについて

- 本端末の電池パックを長い間外したままにしていたり、電池残量のない状態で放置したりしていると、お客様が本端末に登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、内容の消失・変化に関して発生した損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は、本端末や電池パックの温度がやや高くなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。
- 本端末を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。

● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
● お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、本端末に印字されている文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
● 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
● 本端末は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
● 本端末のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
● イヤホンをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。
● 本端末は防水仕様でありません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
  ・雨の日は、バッグの外側のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  ・エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  ・洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れたまま身体をかがめると、洗面所に落としたり、水にぬらしたりする原因となります。
  ・海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり、直射日光が当たったりしないように、バッグなどに入れてください。
  ・汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本端末の内部に入り、故障の原因となることがあります。
● 本端末に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  ・本端末をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  ・荷物のつまったバッグなどに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。
● 電池パックを取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから取り出してください。
  ・充電器を接続して充電しているときは、必ず充電器を取り外し、本端末の電源を切ってから取り出してください。
  ・データを登録している最中や、メールの送受信中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
● 本端末の外部接続端子（USB ポート）には、指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本端末が破損したりすることがあります。

著作権などについて

音楽、静止画、動画、コンピュータ・プログラム、データベースなどは、その著作物および著作権者の権利が著作権法により保護されています。このような著作物の複製は、個人的にまたは家庭内での使用を目的とした場合のみ行うことができます。上記以外の目的で、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の対象となることがあります。本製品を使用して複製などを行うときは、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本端末にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

商標について

- microSD™とそのロゴ、microSDHC™とそのロゴは、SDアソシエーションの商標です。



- Bluetooth®とそのロゴは、Bluetooth® SIG、INCの登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。



- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mobile、ActiveSync、Outlook、PowerPoint、Windows Media、Internet Explorer、Windows Live、Microsoft Excel、およびMicrosoft OneNoteは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Microsoft® Word は、米国 Microsoft Corporationの商品名称です。
- Adobe®、Acrobat®、Reader®とそれぞれのロゴは、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- S!メールはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされています。これは、お客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生
  - MPEG-LA からライセンスされた提供者による MPEG-4 ビデオの再生
  - 詳細な情報については、米国法人MPEG LA. LLCまでお問い合わせください。

Bluetooth® /ワイヤレスLAN(無線LAN)機器に関するご注意

本端末の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」）が利用しています。

- 本端末を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことを確認してください。
- 万一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、直ちに使用場所を変更するか、電源を切るなどして電波干渉を解消するように対処してください。
- テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。
- 電子レンジ、AV機器、OA機器、デジタルコードレス電話機、ファックスなどの電気製品の近くで使用すると接続しにくくなる場合があります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。
- 強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。
- 接続する機器どうしの間に障害物があると、接続距離は短くなります。
- Bluetooth®機器とワイヤレスLAN（IEEE 802.11b/g）は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、同じ場所で両方の無線通信を利用すると電波干渉が発生する場合があります。どちらかの無線通信のみを使用するか、10m以上離れてご使用ください。
- その他不明な点やお困りのことが起きたときには、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。

周波数帯域について

Bluetooth®およびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、本端末の電池パック格納スペースのラベルに記載されています。ラベルの周波数の記載は以下のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

- 周波数帯：2.4GHz
- 変調方式：FH-SS、DSSS、OF-DM
- 想定される与干渉距離
  FH1：10m以下
  DS4, OF4：40m以下
- 2.4GHz～2.4835GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

携帯電話の比吸収率（SAR）について

本端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本端末のSARは、0.394W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、右記のWebサイトをご参照ください。

総務省
電波利用Webサイト
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人 電波産業会 電磁環境委員会
くらしの中の電波
http://www.arib-emf.org/index02.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

ソフトバンクでは、ボディ SARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのWebサイトからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は、1.58W/kgです。

身体装着の場合：本端末では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のWebサイトを参照してください。

Cellular Telecommunication & Internet Association (CTIA)
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本端末は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.659W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のWebサイトをご参照ください。
http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs193/en/（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

- Before using handset, read Safety Precautions carefully, and keep this manual in a safe place for future reference.
- Safety Precautions contain information intended to prevent bodily injury to user and others, as well as damage to property. Observe these guidelines.
- Handset malfunction or failure may hinder voice or data transmissions; SoftBank is not liable for damages to the user or third parties.

Before Using Handset

Symbols

DANGER	**Great risk of death or serious injury from improper use**
WARNING	**Risk of death or serious injury from improper use**
CAUTION	**Risk of injury or damage to property from improper use**
	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
	Cautionary Actions



Handset, Battery, Charger, USIM Card, Stereo Earphone Microphone, USB Cable

	Use only specified accessories. Non-specified accessories use may result in leakage, overheating, rupture or fire, or cause handset, battery or other device failure. Contact SoftBank for accessory-related information.
	Do not disassemble or modify. Do not disassemble handset, Charger or battery. May result in injury, electric shock, damage or fire, or cause leakage, overheating, rupture or fire. Contact SoftBank for testing, adjustment or repair. Do not modify handset or Charger. May result in electric shock or fire.
	Keep away from water. Do not expose handset to liquids. May result in overheating, electric shock, or fire, or cause damage or injury. Exposing battery to liquid may damage it, hinder performance or shorten battery life.

Battery

See battery label for battery type.

Label	Battery Type
Li-ion	Lithium ion polymer battery

Refrain from these actions when using battery. May result in leakage, overheating, rupture or fire.

- Do not puncture, subject to strong impacts or solder.
- Do not use a damaged or warped battery.
- If battery does not insert smoothly, do not apply force.

Do not use or leave in extreme temperatures.

Avoid using or leaving handset near fire, heat source, in direct sunlight or cars exposed to sunlight. May cause warping, failure, leakage, overheating, rupture or fire; may reduce performance or shorten battery life. Handling a hot handset may cause burns.

Do not expose terminals to metal or connect them.

Avoid carrying or storing with metal straps, pens, jewelry or pins, etc. that may touch terminals. Doing so may result in leakage, overheating, fire or electric shock causing burns or injuries.

If battery fluid gets in eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.

Failure to do so may cause blindness.



Handset, Battery, Charger, USIM Card, Stereo Earphone Microphone, USB Cable

Do not place near liquid-filled containers, etc.

Keep handset and Charger away from vases, cups, cosmetics, chemicals, etc. Spilled liquids may cause fire or electric shock.

Do not put battery, handset, Charger or USIM Card in cooking appliances like microwaves or pressure cookers.

May result in battery leakage, overheating, rupture or fire; or handset or Charger heat, smoke or fire damage to circuitry.

Keep USIM Card out of children's reach.

Small parts may be swallowed.

Keep handset off and charger disconnected in filling stations or places with fire/explosion risk.

Use may lead to fire.

Do not drop or subject handset to impacts.

Do not subject handset or Charger to sudden impacts. If there is damage, remove battery and contact SoftBank Customer Service. Use may cause fire or shock.

When foreign matter gets inside handset

Turn handset power off, remove battery and contact SoftBank Customer Service. Use may cause fire or shock.

	**When abnormalities occur** If you detect abnormal smells, heat, discoloration, warping, etc. while using, charging or storing handset, take these actions immediately: 1. Unplug Charger. 2. Turn handset power off. 3. Remove battery from handset. 4. Contact SoftBank Customer Service. Use may cause over-heating, rupture, fire or battery leakage.

Handset

	**Do not use while driving.** As of November 1, 2004, handset use while driving is illegal. Stop vehicle in a safe place to use handset, even with hands-free device.
	**Take care while walking.** Use while walking distracts your attention. Take extra care at crosswalks or railroad crossings. Use may cause accidents.
	**Do not place handset in the path of vehicle airbags.** Handset may strike a person causing injury, damage or loss.
	**Turn handset power off aboard aircraft.** Handset transmissions may affect aircraft electronics. Turn handset power off aboard aircraft to prevent transmissions. Alternatively, activate Flight Mode to disable all handset transmissions without powering off the handset.
	**Users with a heart condition should reduce ringer volume and turn vibration off.**

	**During thunderstorms, turn power off immediately and find shelter.** Lightning strikes or electric shock may occur.

Charger

	**Do not use power converters.** Using AC Charger with step-up/down converter may cause fire, electric shock or malfunctions.
	**Do not plug/unplug Charger with wet hands.** May cause electric shock.
	**Do not use power strips.** May cause overheating resulting in fire.
	**Do not short-circuit Charger terminals.** Avoid touching or exposing terminals to metal. May cause fire, malfunction, electric shock or injury.
	**Do not handle AC Charger during thunderstorms.** May cause lightning strike or shock.
	**Use specified voltage only.** Non-specified voltages may cause fire or malfunctions. AC Charger: 100 to 240V AC (household outlet) In-car Charger: 12V/24V DC

⊘	**Do not use In-car Charger in positive ground vehicle.** In-car Charger is dedicated to negative ground vehicles. Use in positive ground vehicle may cause fire.
!	**If Charger cord is damaged (wire exposed, etc.)** Stop use immediately. Continuing use may cause fire or shock.
!	**Put In-car Charger not to affect your driving.** May cause injury or accidents depending on where it is.

Battery

!	**Stop charging if not complete within Charging Time.** May cause leakage, overheating, rupture or fire.
!	**If battery emits fluid or abnormal smell, stop use immediately and avoid fire sources.** Battery fluid may ignite causing fire or damage.
!	**If battery fluid gets on skin or clothing, stop use immediately and rinse with clean water.** May harm skin.
!	**If you detect an abnormal smell during use, charging or storage, or overheating, discoloration or warping, stop use and remove battery from handset.** Use may cause battery to leak, overheat, rupture or catch fire.

Cautions on Use Near Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment Such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference Japan).

!	**Persons with implanted pacemaker or defibrillator should keep handset 22 cm away from device.** Handset radio waves may affect such devices.
!	**Turn handset off in crowded places like trains. Person with implanted pacemaker or defibrillator may be near.** Handset radio waves may affect such devices.
!	**Inside medical facilities:** • Do not take handset into operating rooms, intensive or coronary care units. • Keep handset off in hospitals. • Keep handset off in lobby; medical equipment may be near. • Follow medical facility rules on handset use.
!	**When using electronic medical equipment outside medical facilities, check with equipment vendor or distributor for the effects of radio waves.** Handset radio waves may affect electronic medical equipment.



Handset, Battery, Charger, USIM Card, Stereo Earphone Microphone, USB Cable

Do not place handset on unstable/uneven surfaces.

Doing so may lead to handset damage, injuries or accidents.

Do not store in high temperatures, humidity or dust.

Doing so may cause malfunctions.

Do not place handset under air conditioners.

Doing so may cause condensation, leakage or burnouts.

Do not leave handset in extreme cold.

Doing so may cause malfunctions or accidents.

Usage environment

- Do not use in sandy locations (beaches or sandlots). Doing so may cause malfunctions or accidents.
- Keep handset away from magnetic cards. Data may be erased from debit/credit cards, telephone cards, floppy disks, etc.

Parent/Guardian should supervise use by children and insure handset is used as instructed.

Failure to do so may lead to injuries.

Handset

Handset temperature (overheating)

Handset may feel warm when recording or playing video, or during long, continuous use with Charger. Extended contact may cause redness, itching or irritation depending on user's physical condition. Take care during extended use with Charger.

Be aware of volume settings.

Unexpectedly high volume may affect hearing. Set appropriately.

Hold handset away from ears for Speaker Phone.

Speaker Phone volume should be sufficiently high to hear without placing Speaker to ear. Placing Speaker to ear may cause injuries.

Do not use inside vehicles if handset use may affect electronics or be unsafe.

Handset use may cause itchiness, irritation or eczema depending on user's physical condition. If abnormality occurs, stop use and consult a medical professional.

Metal is used in the following parts:

Part	Material	Surfacing
Navigation center key	ABS	Chrome plated finish
Front plate	Stainless steel	n/a
Camera ring	ABS	Chrome plated finish
Mirror	ABS	Chrome plated finish
Screw	Iron	Copper plated, chrome plated finish on nickel plated base
Mini USB connector	Stainless steel/Matte tin	n/a
Battery	Stainless steel	n/a
Stereo Earphone Conversion Cable with Microphone (Mini USB plug)	Iron	Tin plated finish
AC Charger (AC plug)	Copper	Nickel plated finish
AC Charger (Mini USB plug)	Iron	Nickel plated finish
USB cable(USB plug/ Mini USB plug)	Iron	Nickel plated finish

Charger



Handling Charger cord

- Do not pull cord when removing plug. Pulling cord may stretch it resulting in fire or electric shock. Remove from plug.
- Do not place cord close to thermal appliances. Doing so may melt the cord sheathing resulting in fire or electric shock.
- Stop use if AC outlet plug or Cigarette Lighter socket plug is loose, or cord or plug is hot. Use may cause fire or electric shock.
- Keep clean in Cigarette Lighter socket. Plugging when it is dirty with ash, etc. may cause overheating and burns.



Do not place heavy objects on Charger cord.

May cause shock or fire.



Do not use in locations with poor ventilation.

Use Charger in locations with good ventilation. Do not cover or wrap. Observe precautions to avoid overheating, fire or accidents.



Keep engine on when using In-car Charger.

Use with engine off may cause car battery to drain.



Unplug Charger, then disconnect it from handset during long periods of disuse.

Failure to do so may lead to malfunctions, electric shock or fire.



Unplug Charger, then disconnect it from handset before device care.

Failure to do so may lead to electric shock or injury.

	**In-car Charger cable connection** Take care about cable connection when driving or getting in/out vehicle. May cause injury or accidents.

Battery

	**Do not throw or subject to impacts.** Doing so may cause overheating, rupture or fire.
	**Do not use or leave battery in direct sunlight or high temperatures such as inside a vehicle in the sun.** Doing so may cause overheating or fire, or lower performance or battery life.
	**Do not dispose of battery with ordinary refuse.** Always tape over the terminal before disposal. Take exhausted battery to a SoftBank shop, or follow the local disposal regulations.
	**Other** ・ Charge battery between 5°C and 35°C. ・ Avoid storing handset with an exhausted battery installed.

USIM Card

	**Take care when inserting or removing USIM Card** Take care not to pinch fingers between parts.

Handling Precautions

- SoftBank is not liable for damages from data (contacts, images, music, etc.) lost or altered due to accidents or malfunctions. Back up important information.
- Handset transmissions may disrupted indoors, underground, in tunnels, or when moving into or out of poor signal conditions.
- Take care not to disturb others around you when using handset in public.
- Handset is a transceiver under the Radio Law and may be tested as such.
- Handset use near landlines, televisions or radios may cause noise or other interference.
- Be aware of the possibility of eavesdropping.
  Handset employs digital signal technology making eavesdropping difficult but not impossible. Be aware that handset transmissions may be intercepted and decrypted.
  - Eavesdropping
    Monitoring communications without communicating parties' knowledge. Unauthorized access to communications, including radio transmissions.

In Vehicles

- Mobile phone use while driving is prohibited by law.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect electronics of some vehicle models.

Aboard Aircraft

- Mobile phone transmissions aboard aircraft are prohibited by law.
- Turn power off, or use Flight Mode to disable transmissions.

Care

- Using an old battery or leaving handset without power may lead to altered or lost information. SoftBank is not liable for information-related losses.
- Use handset between 5°C - 35°C and 35% - 85% humidity.
- Avoid using or storing in extreme temperatures, or in direct sunlight.
- Handset (battery) temperature normally rises during use/charging.
- Continuous direct sunlight on camera lens may damage color filter.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Debris on battery terminals may hinder charging or cause power to fail. Remove debris with a dry cloth or swab.
- Clean handset with a dry, clean cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene, etc. that may cause color to fade or dull printed characters.
- Take care to keep handset away from liquids, rain, snow or high humidity.
- Handset is a precision device; do not disassemble or modify.
- Take care not to scratch Display with hard objects.
- Take care to prevent sound bleed when using the earphone.
- Handset is not waterproof. Avoid water or high humidity.
  - Do not place in an exposed pocket or carry outside on rainy days.
  - Do not place under air conditioners. Condensation may cause corrosion.
  - Avoid bathrooms, etc. where possibility of water exposure is high.
  - At beaches, etc., keep it in a bag, etc. Avoid seawater or direct sunlight.
  - Do not touch with wet hands, or place in wet clothes pockets.
- Do not place under heavy objects. May cause malfunctions or injuries.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - In bags, etc. do not place it underneath heavy objects.
- Turn handset power off before removing battery.
  - If charging, disconnect Charger then turn off before removing battery.
  - Battery removal during file saving or transmission may alter or delete files.
- Do not attach non-specified devices. May cause malfunctions or damage.

Copyrights

The rights of literary works or copyright holders of music, still images, video, computer programs, databases, etc. are protected by copyright laws. You may copy these materials for private use only. Copying these without the consent of the rights holder for purposes other than the above (including data format conversion), modifying, transferring copies, delivery on networks, etc. are subject to requests for compensation for losses or prosecution for "copyright infringement" or "copyright holder rights infringement." When copied, etc. using this product, observe copyright laws and take care to use them appropriately.

Also, although camera functions are installed to X03HT, take care in appropriate use of items recorded using these camera functions similar to above.

Trademarks

- microSD™, microSDHC™, the microSD logo and microSDHC logo are trademarks.



- Bluetooth® and its logo are registered trademarks of Bluetooth® SIG, INC and are used under license.



- Wi-Fi Certified® and its logo are registered trademarks of the Wi-Fi Alliance.



- Microsoft, Windows, Windows Vista, Windows Mobile, ActiveSync, Outlook, PowerPoint, Windows Media, Internet Explorer, Windows Live , Microsoft Excel and Microsoft OneNote are trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- Windows stands for Microsoft Windows operating system.
- Microsoft® Word is a product name of Microsoft Corporation of the United States.
- Adobe®, Acrobat®, Reader® and their logos are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- S! Mail is a trademark of SOFTBANK MOBILE Corp.
- SOFTBANK name and logo are trademarks or registered trademarks of SOFTBANK MOBILE Corp. in Japan and other countries.
- "Yahoo!" and the "Yahoo" and "Y!" logos are trademarks or registered trademarks of Yahoo! Inc. of the United States.
- Other trademarks or names are attributable to their respective owners.
- This product is licensed based on the MPEG-4 Patent Portfolio License. This refers to a license only for the following applications for individual or personal use by the customer, and other applications are not authorized.
  - When recording video conforming to the MPEG-4 Visual standards (hereafter referred to as MPEG-4 video)
  - Playback of MPEG-4 video recorded by the consumer for individual and/or personal activities.
  - Playback of MPEG-4 video by provider licensed by MPEG-LA.
  - Contact MPEG LA. LLC in the United States for more information.

Specific Absorption Rate (SAR)

X03HT conforms to technical standards related to the body's absorption of radio waves set forth by country.

These technical standards are prescribed according to a scientific basis to prevent radio waves transmitted from radio equipment such as mobile phones used near a person's head from affecting their health, and the Specific Absorption Rate (SAR) expressing the average energy volume of radio waves absorbed by a person's head shall not exceed the permissible value of 2 W/kg*. This permissible value has a sufficient safety margin regardless of age or body size of the user, and is identical to the international guidelines indicated by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) in partnership with the World Health Organization (WHO).

The SAR for X03HT is 0.394 W/kg. This is the maximum value measuring the maximum transmission power of mobile phones according to the method specified by country. Although SAR differs depending on the product, they all satisfy the permissible value. Also, the mobile phones are designed for the minimum transmission power required for communicating with mobile phone base stations; therefore, normal SAR is an even smaller value while talking.

For those who would like to learn more about SAR, see the following Websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications Radio Wave Utilization

http://www.tele.soumu.go.jp/e/ele/index.htm

Radio Industries and Businesses

http://www.arib-emf.org/index02.html

* Technical standards prescribed by relevant directives of the Radio Law (Radio Equipment Regulations Article 14.2)

SoftBank Body SAR Policy

*Body SAR refers to the Specific Absorption Rate (SAR) at maximum transmission power with an earphone/microphone attached to the mobile phone and continuously talking while the mobile phone unit is placed to the body.

**Specific Absorption Rate (SAR): Notes values measured while talking continuously for 6 minutes.

For technical standards on body SAR, SoftBank lists information from Europe. See "Information on the Effects of Radio Wave Exposure from the Federal Communications Commission (FCC)" and "Information on the Effects of Radio Wave Exposure from Europe" for details.

***When placed to the body: As the method for placing ordinary mobile phones, measurement test are conducted from a position where the rear face of the mobile phone is turned toward the body at a distance of 1.5 cm from the body. In order to satisfy the radio wave exposure requirements, use an accessory to set the mobile phone at a distance of 1.5 cm from the body then select whether metallic parts are contained in the belt clip or holster, etc.

For more information, access this site:

http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html

Effects of Radio Wave Exposure per the FCC

The guidelines of the United States Federal Communications Commission are based on standards developed from results of regular and careful scientific research conducted by independent scientific institutions. These permissible values are sufficiently safe values regardless of the age or health of the user.

For the effect of radio waves transmitted by mobile phones on the human body, Specific Absorption Rate (SAR) units are used for measurements. The permissible value of SAR prescribed by the FCC is 1.6 W/kg.

Measurement tests are conducted using standards set forth by the FCC for each model, and when placed to the human body according to the descriptions in this Instructions Manual as shown in the following, the permissible value of SAR is 1.58 W/kg.

When placed to the body: As the method for placing ordinary mobile phones, measurement test are conducted with X03HT from a position where the rear face of the mobile phone is turned toward the body at a distance of 1.5 cm from the body. In order to satisfy the radio wave exposure requirements of the FCC, use an accessory to set the mobile phone at a distance of 1.5 cm from the body then select whether metallic parts are contained in the belt clip or holster, etc.

Radio wave exposure requirements of the FCC may not be satisfied with accessories that do not fulfill the above conditions. Avoid use in this instance.

For those who would like to learn more about the Specific Absorption Rate (SAR), see the following Website.

Cellular Telecommunication & Internet Association (CTIA)

http://www.phonefacts.net

Effects of Radio Wave Exposure per the EU

X03HT is a radio transmitting/receiving device. Verify that this product does not exceed the permissible value of radio waves recommended by international guidelines. These guidelines are developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific institution, and this permissible value is a sufficiently safe value regardless of the age or health of the user.

For the effect of radio waves transmitted by mobile phones on the human body, Specific Absorption Rate (SAR) units are used for measurements. The SAR permissible value for mobile devices is 2 W/kg, and the maximum value for SAR when placed to the body is 0.659 W/kg*.

SAR measurements are conducted at maximum transmission power; therefore, the normal SAR is even smaller in actual talking conditions. This is because mobile phones are designed for the minimum transmission power required for communicating with base stations.

The World Health Organization (WHO) states that adverse effects on the human body have not been confirmed from current scientific data on the use of mobile devices. The WHO also recommends shortening the talk time or the use of a hands-free device for using mobile phones away from the head or body to contain the effects of radio waves. To learn more information, see the WHO Website.

http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs193/en/

* Measurement tests when placed to the human body are conducted according to standards prescribed by the FCC. Values are based on conditions in Europe.

Declaration of Conformity

I hereby declare that the product

Type: Smartphone; Model: WING200

(Name of product, type or model, batch or serial number)

satisfies all the technical regulations applicable to the product within the scope of Council Directives 73/23/EEC, 89/336/EEC and 1999/5/EC:

ETSI EN 301 511 v9.0.2 and ETSI EN 300 328 v1.6.1
ETSI EN 301 489-7 v1.2.1 and ETSI EN 301 489-17 v1.2.1 and ETSI EN 301 489-24
EN 60950-1
EN 50360 and EN 50361
EN 301908-1 and EN 301908-2

(Title(s) of regulations, standards, etc.)

All essential radio test suites have been carried out.

NOTIFIED BODY: EMCCert Dr. Rasek

– **Address**:

Boelwiese 5
91320 Ebermannstadt
Germany
Identification Number: 0678

MANUFACTURER or **AUTHORISED REPRESENTATIVE**:

– **Address**:

High Tech Computer Corp.
No. 23 Xinghua Rd., Taoyuan 330, Taiwan

This declaration is issued under the sole responsibility of the manufacturer and, if applicable, his authorised representative.

– **Point of contact:**

Cherry Lee / 886-3-3753252 / 886-3-3755530

(Name, telephone and fax number)

Taiwan / August 9, 2007

(Place, date of issue)

Cherry Lee 8/9

(Signature)

Cherry Lee /Project Manager

(Name and title in block letters)

Bluetooth® /Wireless LAN Precautions

This handset communicates with wireless devices on Industrial, Scientific & Medical (ISM) radio bands, used by electrical appliances (microwave ovens), as well as license-free, error-tolerant communications applications, cordless phones, amateur radio stations, etc. (hereafter “other radio stations”).

- Before handset use, be sure “other radio stations” are not in use nearby.
- When radio interference occurs, change location or turn handset off.
- Use near TVs or radios may cause noise or connection failure.
- Electrical appliances, especially microwave ovens may hamper connections.
- Strong RF emissions may hamper connections.
- Objects placed between devices may affect connections.
- Bluetooth® and WLAN (IEEE 802.11b/g) connections using the same 2.4 GHz frequency band may interfere with each other if simultaneous connections are established in close proximity. Connect one at a time, or separate devices by more than 10 meters.
- For further information, contact Customer Service.

Wireless Frequencies & Modulations

Bluetooth® and WLAN frequency information appears on battery cavity label:

2.4FH1/DS4/OF4

- Frequency Band: 2.4GHz
- Modulations: FHSS, DSSS, OFDM
  Frequency Hopping Spread Spectrum (802.11b)
  Direct Sequence Spread Spectrum (802.11b)
  Orthogonal Frequency Division Multiplexing (802.11g)
- Estimated Range of Radio Frequency Interference
  FH1: FHSS RFI up to 10 m
  DS4: DSSS RFI up to 40 m
  OF4: OFDM RFI up to 40 m
- Utilizes 2.4 - 2.4835 GHz band with mobile device bandwidth differentiation

ご利用になる前に

代表的な機能

■世界対応ケータイ（P.2-8）
ソフトバンクが提携している通信事業者（GSMやW-CDMAネットワーク）に接続することで、海外でもご利用いただけます。

■Bluetooth®（P.9-5）
Bluetooth®対応のパソコンやヘッドセットなどの機器と接続します。

■ディスプレイ設定（P.14-3）
ホームの表示方法や背景の画像を変更することができます。

■カメラ（P.11-1）
200万画素のカメラを搭載。静止画／動画の撮影ができます。

■Webブラウザ（P.6-2）
Internet Explorer® Mobileによってパソコン向けのWebページを閲覧できます。

■ワイヤレスLAN（P.9-3）
自宅や会社、公衆のアクセスポイントからネットワークにアクセスできます。

■言語設定（P.14-6）
メニュー表示を英語に切り替えることができます。

■Windows Media® Player Mobile（P.12-7）
音楽や動画を再生できます。著作権保護付ファイル（OMA DRM1.0）の再生にも対応しています。

■電子メール（P.5-1）
SMS／S!メール／インターネットメールに対応しています。会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することもできます。

■ボイスメモ（P.4-12）
音声を録音し、保存／再生することができます。録音した音声を着信音として利用することもできます。

■ファイルエクスプローラ（P.10-2）
フォルダやファイルのコピー·移動·削除などを行うことができます。

■オフィスアプリケーション（P.8-1）
Word／Excel／PowerPoint®／OneNote／Adobe Reader LEを搭載し、各種ファイルを開くことができます。

■PIM機能（P.4-1）
連絡先／予定表／仕事などを管理できます。アラームで予定や仕事完了をお知らせすることもできます。

■キーロック（P.1-18）
カバンの中に入れて持ち運ぶときなど、誤ってボタンを押さないように設定できます。

■メモリカード（P.14-10）
静止画や動画、音楽などの各種ファイルを保存することができます。

■スピードダイヤル（P.2-5 、P.15-5）
登録した数字キーや音声によって、電話をかけたり、プログラムを起動することができます。

■パソコンとのデータ同期（P.7-1）
ActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターを使用して、パソコンとの間でメール／連絡先／予定表／仕事／ファイルなどを同期することができます。

■マナーモード（P.2-10）
周囲に迷惑がかからないよう、着信音やボタン確認音などの音をスピーカーから出さないように設定することができます。

■QWERTYキーボード（P.3-2）
パソコンと同じQWERTYキーボードを搭載し、文字入力もダイレクトに行うことができます。

■ゲーム（P.12-15）
気軽に遊べるBubble Breaker／ソリティアが用意されています。

オプションサービス

■転送電話サービス（P.2-11）
かかってきた電話を設定した番号へ転送します。

■留守番電話サービス（P.2-12）
電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

■割込通話サービス（P.2-12）
通話中にかかってきた電話を受けることができます（別途お申し込みが必要です）。

■多者通話サービス（P.2-13）
複数の相手と同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます（別途お申し込みが必要です）。

■発着信規制サービス（P.2-13）
電話をかけたり、受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。

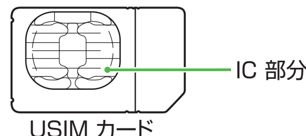
■発信者番号通知サービス（P.2-14）
お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下「USIMカード」と記載）は、お客様の電話番号や連絡先などの情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応ソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIM カードに使用する機器はソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 他社製品の IC カードリーダーなどに、USIM カードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。



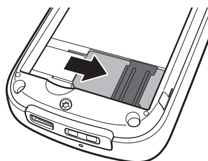
その他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- USIM カードや本端末を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。
- お客様ご自身で USIM カードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされています。

USIMカードを取り付ける／取り外す

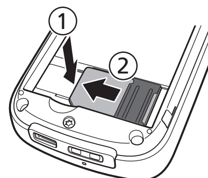
USIMカードの取り付けや取り外しは、電池パックを取り外してから行います（P.1-12）。

■USIMカードの取り付け



1. USIMカードのIC部分を下にして、留め具で固定されるまでUSIMカードをゆっくりと差し込む

■USIMカードの取り外し



1. ①の方向に留め具を押しながら、USIMカードを②の方向にゆっくりと取り出す

注意

- 無理な取り付け／取り外しを行うと、USIMカードや本端末が破損することがありますので、ご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PIN1コード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- ●お買い上げ時には「9999」に設定されています。
- ●PIN1コードは変更できます（P.13-3）。
- ●USIMカードを本端末に取り付けて電源を入れたときに、PIN1コードを入力しないと本端末を使用できないようにすることができます（P.13-2）。

PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

- ●お買い上げ時には「9999」に設定されています。
- ●PIN2コードは変更できます（P.13-3）。

PINロック解除コード（PUKコード）

PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PIN1ロックまたはPIN2ロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

- ●PUKコードとロック解除方法については、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。

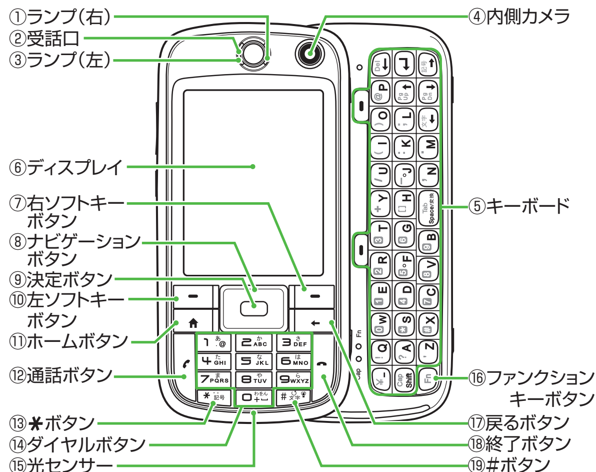
注意

- PUKコードの入力を10回連続して間違えると、USIMカードがロックされ、本端末が使用できなくなります。
- PUKコードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。

各部の名称と機能

本体

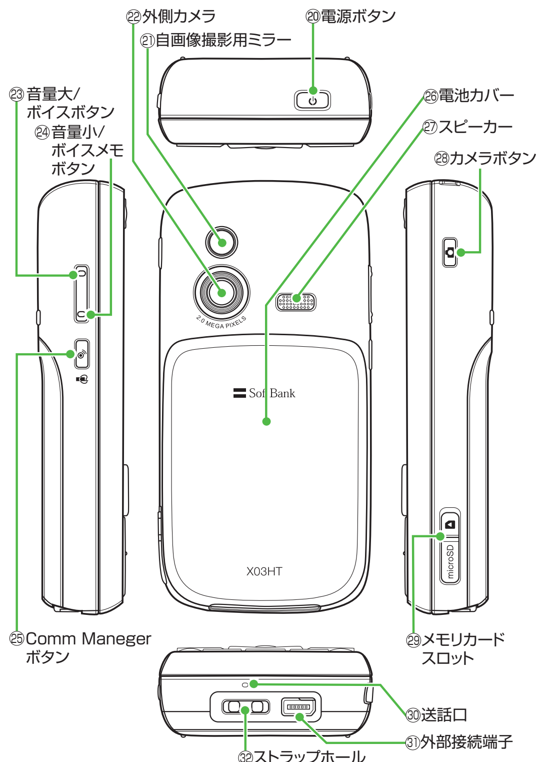
■正面



名　称	説　明
① ランプ（右）	・緑色点灯：充電完了 ・緑色点滅：ネットワーク接続中 ・オレンジ点灯：充電中、またはパソコンと同期中 ・オレンジ点滅：温度異常により充電停止中 ・赤色点灯：電池パックの端子が接触不良、または過放電状態 ・赤色点滅：電池残量が残り少ない ・オレンジ／緑色が交互に点灯：電池異常
② 受話口	相手の声がここから聞こえます。
③ ランプ（左）	・青色点滅：Bluetooth® 通信機能がオン、またはBluetooth®検出可能状態 ・緑色点滅：ワイヤレスLANに接続中
④ 内側カメラ	自分を撮影するときに使用します。
⑤ キーボード	電話番号や文字を入力します（P.3-2）。
⑥ ディスプレイ	この画面を見て操作します。
⑦ 右ソフトキーボタン（[ー]）	画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。
⑧ ナビゲーションボタン	カーソルの移動や画面のスクロールなどを行います。
⑨ 決定ボタン	選択した項目や内容を決定します。
⑩ 左ソフトキーボタン（[ー]）	画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。
⑪ ホームボタン（[ホーム]）	現在の画面表示からホームに戻ります。

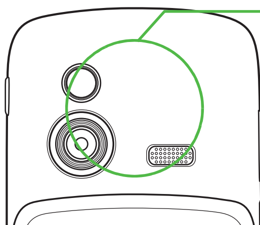
名　称	説　明
⑫ 通話ボタン（[通話]）	・電話をかけたり、受けたりします。 ・通話中に保留／保留解除を切り替えます。 ・通話中に 1 秒以上押してスピーカーフォンのオン／オフを切り替えます。
⑬ ＊ボタン（[＊記号]）	・「＊」を入力します。 ・文字入力中は、記号／顔文字／絵文字一覧を表示します。
⑭ ダイヤルボタン（[0わをん+]～[9らwxyz]）	電話番号や文字を入力します。
⑮ 光センサー	周囲の明るさを検知します。周囲が暗い場合はキーボードのバックライトが点灯します。
⑯ ファンクションキーボタン（[Fn]）	このボタンを押すとFnランプが点灯し、キーボードの青い文字の機能を使用できます。
⑰ 戻るボタン（[←]）	前画面に戻ります。
⑱ 終了ボタン（[終了]）	通話を終了します。
⑲ ＃ボタン（[＃文字]）	・「＃」を入力します。 ・文字入力中は、入力モードを切り替えます。 ・文字入力中に 1 秒以上押して入力モード一覧から入力モードを選択できます。

■背面



名　称		説　明
⑳	**電源ボタン** **（ ⏻ ）**	・１秒以上押して電源のオン／オフを行います。 ・クイックリストを表示します（P.1-18）。
㉑	**自画像撮影用ミラー**	自分を撮影するときの鏡として使用します。
㉒	**外側カメラ**	静止画や動画の撮影を行います(P.11-2)。
㉓	**音量大／** **ボイスボタン**	・音量を上げます。 ・ボイスタグの認識を起動します。
㉔	**音量小／** **ボイスメモボタン**	・音量を下げます。 ・ボイスメモを起動します。
㉕	**Comm Manager** **ボタン（ ）**	Comm Managerを起動します。
㉖	**電池カバー**	ここを開けて電池パックの取り付けや取り外しをします(P.1-12)。
㉗	**スピーカー**	着信音やスピーカーフォン通話中の相手の声などが聞こえます。
㉘	**カメラボタン** **（ ）**	カメラを起動します(P.11-1)。
㉙	**メモリカードスロット**	メモリカードを挿入します（P.10-8）。
㉚	**送話口**	自分の声をここから伝えます。録音するときはマイクになります。
㉛	**外部接続端子**	充電器やUSBケーブル、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルを接続します。
㉜	**ストラップホール**	ストラップを取り付けます。

内蔵アンテナに関するご注意



注意

- アンテナは本体上部に内蔵されており、アンテナ付近を手で覆うと、通話品質に影響を及ぼす場合があります。

ディスプレイ



※上記はホーム（P.1-16）の表示例です。

■状態を示すアイコンについて

	未読SMS、S! メールあり		発着信中、通話中
	未読インターネットメールあり		留守番電話・自動転送設定中
	不在着信あり		保留中
	GPRS（General Packet Radio Service）使用可		ワイヤレスLAN機能が有効（未接続）
	GPRS接続確認中		ワイヤレスLAN接続中
	GPRS使用中		ワイヤレスLAN接続で通信中

伝言メッセージあり
3Gネットワーク使用可
3Gネットワークの接続確認中
3Gネットワーク使用中
着信通知がバイブレーション
着信通知がサイレント
スピーカーフォンがオン
ローミング中
USIMカード未挿入
ワイヤレスLANでデータ同期中
パソコンとの同期エラー
Bluetooth® 通信機能がオン、または検出可能モード
充電中
電池レベル（P.1-12）
電池充電切れ
電池パック異常
電波の受信レベル
圏外

電池パックのお取り扱い

ご利用になる前に

はじめてお使いになる場合や、長時間ご使用にならなかった場合は、ご使用になる前に必ず充電してください。

充電時間と利用可能時間の目安

項目	3Gモード	GSMモード
充電時間※	約180分	
連続待受時間	約330時間	約230時間
連続通話時間	約210分	約240分

※ 急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を使用して充電した場合の時間です。

- 上記は、電池パック（HTBAB1）装着時の数値です。
- 充電時間は、電源を切った状態で充電した場合の目安です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波を正常に送受信できる状態で算出した時間の目安です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、ご利用可能時間が変動することがあります。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。5℃～35℃の温度範囲でご使用ください。
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。電池パックを劣化させるだけでなく、発火や発熱などの原因となります。また、完全に充電できない、電源が入らないなどの原因になることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 電池パック単体で充電することはできません。本端末に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れた状態でも充電できますが、充電時間は長くなります。
- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると、発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電中に充電器や電池パック、本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

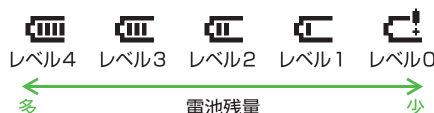
- 電池パックや本端末、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃してからご利用ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、端子がショートしないように袋などに入れてください。

電池パックの持ちについて

- 次のような場合は、電池パックの消耗が早まり、電池パックの利用可能時間が短くなります。
  - ・極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき
  - ・本端末や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
  - ・電波の弱い場所での通話や、圏外で待ち受けしているとき
  - ・音楽や動画を再生しているとき
  - ・カメラ撮影を行っているとき
  - ・プッシュメールの受信（Microsoft Direct Push）をオンにしているとき（P.9-2）
- ディスプレイのバックライトの点灯時間を短くしたり、不要な通信機能をオフにしておくことで電池パックの消耗を抑えることができます（P.9-2、P.14-5）。

電池レベル表示の確認

● 電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。ディスプレイの電池レベル表示をご確認の上、充電または電池パック交換の目安にしてください。



※ レベル1になったら充電することをおすすめします。

電池が切れたら

● 電池が残り少なくなると、電池残量が不足している旨のメッセージが表示されます。
● 数回、電池残量不足のメッセージが表示された後、電源が切れます。

不要になった電池パックは

● 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップ窓口へお持ちください。
● 電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

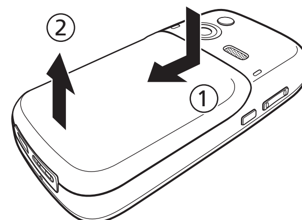
電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切った状態で行ってください。

■電池パックの取り付け

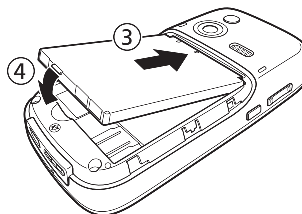
1. 電池カバーを取り外す

電池カバーの上端を押しながら①の方向にスライドさせ、②の方向に持ち上げて取り外します。



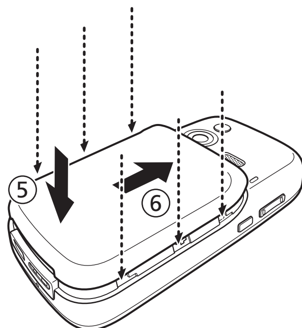
2. 電池パックを取り付ける

電池パックの印字面を上にし、電池パックと本端末の金属端子が合うように③の方向に差し込んでから、④の方向にはめ込みます。



3. 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメが本体の溝に合うように⑤の方向に置き、「カチッ」という音がするまで⑥の方向へ押し込みます。

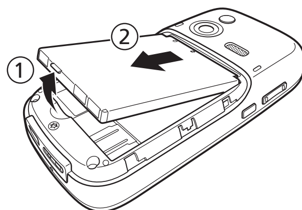


■電池パックの取り外し

1. 電池カバーを取り外す

2. 電池パックを取り外す

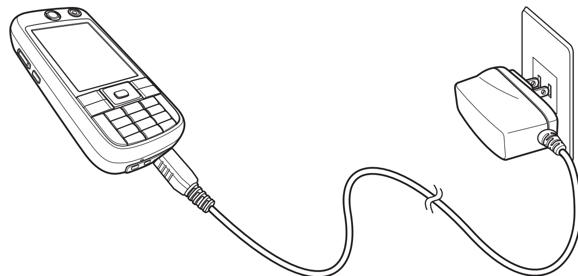
電池パックを①の方向に持ち上げ、②の方向に取り外します。



3. 電池カバーを取り付ける

充電する

急速充電器を使用して充電する



1. 外部接続端子に急速充電器のミニ USB プラグを差し込む

2. 急速充電器のACプラグをAC100Vコンセントに差し込む

充電中はランプ（右）がオレンジ色に点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。

3. 充電が完了したら急速充電器を外す

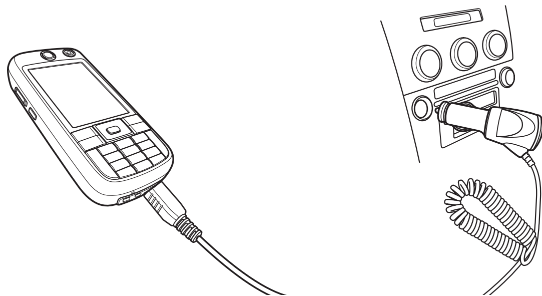
ACプラグをACコンセントから抜き、コードを本端末から抜きます。



補足

- パソコンと本端末を付属のUSBケーブルで接続して、本端末を充電することができます。その場合、以下のことにご注意ください。
  ・パソコンや本端末の電源を切った状態では充電できません。
  ・パソコンとの接続環境によっては、充電できない場合があります。
  ・急速充電器を使用した場合より、充電に時間がかかることがあります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。

シガーライター充電器(オプション品)を使用して充電する



1. 外部接続端子にシガーライター充電器のミニ USBプラグを差し込む

2. シガーライター充電器のプラグをシガーライターソケットに差し込む

3. 車のエンジンをかける

充電中は本端末のランプ（右）がオレンジ色に点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。

4. 充電が完了したらシガーライター充電器を外す

プラグをシガーライターソケットから抜き、コードを本端末から抜きます。

注意

- オプション品のシガーライター充電器はマイナスアース車専用です（12V／24V両用）。
- 炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。
- 車から離れる際はシガーライター充電器を外してください。キーを抜いてもシガーライターが使える車（キーを抜いても充電ランプが点灯する車）で使用した場合、車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 自動車を運転するときは、本端末を絶対にお使いにならないでください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. **電源ボタン（⏻）を1秒以上押す**

   ホーム（P.1-16）が表示されます。



補足

- 電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定することができます（P.13-2）。
- はじめて電源を入れたときは、日付と時刻を設定してください（P.1-15）。

電源を切る

1. **電源ボタン（⏻）を1秒以上押す**



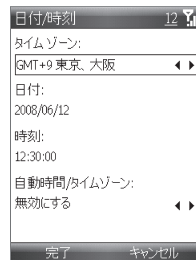
補足

- 電源ボタン（⏻）を押し、クイックリストから電源オフを選択しても電源を切ることができます（P.1-18）。

日付／時刻の設定

画面に表示される日付や時刻を設定します。

1. **スタート ＞ 設定 ＞ 時計とアラーム ＞ 日付／時刻**



2. **タイムゾーンおよび日付、時刻などを設定する**

   タイムゾーン：都市名を選択します。
   日付：年、月、日を入力します。
   時刻：時、分、秒を入力します。
   自動時間／タイムゾーン：自動的に時刻とタイムゾーンを設定する機能の有効／無効を選択します。日本国内では使用できません。

3. **完了**

基本的な使いかた

ホーム

電源を入れると基本画面であるホームが表示され、以下の操作を行うことができます。

・ソフトキーボタンを押して、スタートメニューや連絡先一覧を表示することができます。
・ナビゲーションボタンを押して、表示されるアイコンや表示項目を選択すると、プログラムを起動することができます。




補足

• ホームのレイアウトや背景イメージを変更することができます（P.14-3）。
• 表示中の画面からホームに戻るには、ホームボタン（[⌂]）を押します。
• ホームの詳細については、P.15-2をご覧ください。

プログラムの起動

本端末にはあらかじめさまざまなプログラムが登録されており、ホームのスタートメニューから起動できます。

● スタートメニューから起動できるプログラムについては、「機能一覧」（P.16-2）を参照してください。

＜例：仕事を起動する場合＞

1. **左ソフトキーボタン（スタート）を押す**
プログラム一覧が表示されます。

2. **ナビゲーションボタン（上下左右）でツールを選んで、決定ボタンを押す**
ツール内のプログラム一覧が表示されます。

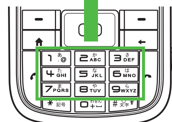
3. **ナビゲーションボタン（上下左右）で仕事を選んで、決定ボタンを押す**
仕事が起動します。

プログラムをショートカットキーで起動する

スタートメニューのプログラムは、対応するそれぞれのボタンを押すことで起動することもできます。

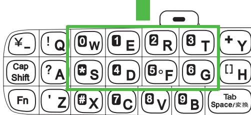
■縦表示の場合





■横表示の場合





プログラムを終了する

プログラム表示中に終了ボタン（）を押すとホームに戻りますが、ほとんどの場合プログラムは終了していません。プログラムを終了するには、タスクマネージャからプログラムを終了する必要があります（P.14-8）。



補足

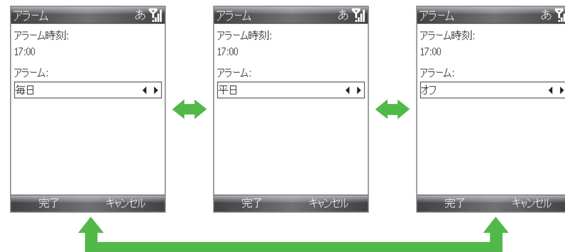
- プログラムを起動したままでは、プログラム実行用メモリが不足し、動作が遅くなることがあります。

設定値の選択

複数の項目から設定値を選択できるときは、右端に「◀ ▶」が表示されます。操作方法は以下の2通りがあります。

■設定値を順に表示

ナビゲーションボタン（左右）を押すごとに、項目が順に表示されます。



■設定値を一覧で表示

決定ボタンを押すと設定値の一覧が表示されます。



クイックリスト

電源ボタン（⏻）を押すだけで、以下の機能にすばやくアクセスすることができます。

- 電源オフ（P.1-15）
- Comm Manager（P.9-2）
- ロック（以下の補足参照）



補足

- クイックリストの機能は変更できません。
- ロックを選択した場合、「デバイスのロック」（P.13-2）が設定されているときはデバイスのロックがかかり、それ以外のときはキーロック（P.1-18）がかかります。

オーナー情報

本端末の所有者の名前や電話番号、電子メールアドレスなどを設定します。

1. スタート ＞ 通話 ＞ オーナー情報

2. 各項目を入力 ＞ 完了

ボタンの誤操作を防止する

カバンの中に入れて持ち運ぶときなど、誤ってボタンを押さないように設定できます。

1. ✱ボタン（✱記号）を1秒以上押す

キーロックがかかり左ソフトキーに「ロックの解除」の文字が表示されます。





補足

- キーロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
- クイックリスト（P.1-18）よりロックを選択しても、キーロックをかけることができます。
- 「デバイスのロック」（P.13-2）が設定されているときにキーロックをかけると、デバイスのロックがかかります。

キーロックを解除する

1. キーロック設定中の画面で**ロックの解除**
2. ✱ボタン（）を押す

補足

- デバイスのロックがかかっている場合は、**ロックの解除**を押して、入力欄にお客様ご自身が設定したパスワードを入力し、再び**ロックの解除**を押してください。
- キーボードを開くとキーロックが解除されるように設定したい場合は、**スタート** > **設定** > **ボタンロック**を選択し、「キーパッドが開いたときにデバイスのロックを解除する」にチェックを付けてください。

暗証番号

交換機用暗証番号

ご契約時の４桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作するときや、ウェブの有料情報の申し込みの際に使用します。

- 交換機用暗証番号は本端末の操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の４桁の暗証番号で、本端末で発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。

- 入力を３回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。
- 発着信規制用暗証番号は、本端末の操作で変更できます（P.14-4）。

注意

- 交換機用暗証番号や発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。
- 交換機用暗証番号や発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話機能の使いかた

自分の電話番号を確認する

1. スタート ＞ 0ボタン（0）

オーナー情報画面が表示され、自分の電話番号を確認できます。

オーナー情報
名前:
電話番号:
090XXXXXXXX
電子メール アドレス:
メモ:
完了　キャンセル

自分の電話番号

補足

- スタートメニューで他のボタンを押したり、他の画面からスタートメニューに戻ったりした場合は、0ボタン（0）を押してもオーナー情報画面は表示されません。連続して操作してください。
- 本端末をスライドさせた状態では、オーナー情報画面は表示されません。
- スタート ＞ 通話 ＞ USIMマネージャを選択してUSIMマネージャを起動させても、自分の電話番号を確認できます。

通話中の音量を調整する

音量大ボタン／音量小ボタンを利用して、通話中の音量を調整することができます。

1. 通話中 ＞ 音量大ボタン／音量小ボタン

音量大ボタン：音量が大きくなります。
音量小ボタン：音量が小さくなります。

2. 完了



補足

- 音量を最小にした場合でも、消音にはなりません。
- ホーム画面などで音量大ボタン／音量小ボタンを押すと、Windows Media Playerの音量を調整できます。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1. 相手の電話番号を入力
2. 通話ボタン（☐）
   入力した電話番号に発信され、相手が応答すると通話できます。
3. 通話が終了したら終了ボタン（☐）



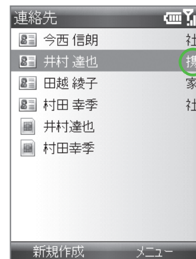
補足

- 電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴から該当する相手が表示されます。

連絡先から電話をかける

電話をかける相手を連絡先に登録しておくと、簡単に電話をかけることができます（P.4-2）。

1. 連絡先
   連絡先一覧画面が表示されます。
2. 対象の連絡先を反転表示



連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、ナビゲーションボタン（左右）により、発信先を選択することができます。
発信先に対応する表示については、「連絡先一覧画面の見かた」（P.4-3）を参照してください。

3. 通話ボタン（☐）
   表示されている発信先に発信されます。



4. 通話が終了したら終了ボタン（）

■連絡先詳細画面から発信先を選択してかける場合

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. 対象の発信先を反転表示 ＞ ダイヤル

USIMカードに登録された連絡先から電話をかける

1. 連絡先
2. メニュー ＞ USIMマネージャ
3. 対象の連絡先を反転表示
4. メニュー ＞ ダイヤル
5. 通話が終了したら終了ボタン（）

通話履歴から電話をかける

不在着信履歴・着信履歴・発信履歴から電話をかけることができます。

1. スタート ＞ 通話 ＞ 通話履歴

通話履歴の一覧が表示されます。

：不在着信履歴
：着信履歴
：発信履歴

2. 対象の通話履歴を選択

選択した通話履歴の通話先との履歴一覧が表示されます。
通話先が連絡先に登録されている場合、その連絡先に登録されているすべての電話番号との通話履歴が一覧で表示されます。

3. ダイヤル

反転表示された通話履歴の通話先に発信されます。

4. 通話が終了したら（）

■通話履歴を連絡先に登録する場合

＞ 通話履歴 ＞ 保存 ＞ 新しい連絡先または追加する対象の連絡先を選択

■通話履歴から連絡先に登録されている情報を参照する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 連絡先の検索

■通話履歴からメールやSMSを送信する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 電子メール／S!メール（電話番号）送信／SMS送信

■通話時間を表示する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 通話時間の表示

■通話履歴を削除する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 削除または履歴をすべて削除 ＞ はい

通話履歴の表示方法を変更する

不在着信履歴・着信履歴・発信履歴をそれぞれ個別に表示させることができます。

1. スタート ＞ 通話 ＞ 通話履歴
2. メニュー ＞ フィルタ ＞ 項目を選択



補足

- フィルタ機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、メニュー ＞ フィルタ ＞ フィルタなしを選択します。

スピードダイヤルで電話をかける

キーボードの数字キーにあらかじめ電話番号を割り当てておくと、その数字キーを長く押すだけで電話をかけることができます。

電話番号をスピードダイヤルに登録する

連絡先に登録されている電話番号をスピードダイヤルに登録します。

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
   連絡先詳細画面が表示されます。
3. 対象の項目（電話番号）を反転表示
4. メニュー > スピードダイヤルに追加
   スピードダイヤル登録画面が表示されます。
5. 数字キーやボイスタグを割り当てる
   数字キーを割り当てるときは、キーパッドの割り当てで割り当てる数字キーを選択します。
   音声を割り当てるときは、ボイスタグの追加を選択し、音声を録音します。
6. 完了

■音声の割り当てのみを行う場合

連絡先詳細画面で、メニュー > ボイスタグの追加を選択しても、音声を割り当てることができます。

スピードダイヤルで電話をかける

1. 電話番号が割り当てられている数字キーを1秒以上押す



スピードダイヤルに登録されている内容

例：数字キー「2」に割り当てられている電話番号に電話をかける場合

上記のような画面が表示され、数字キーに割り当てられている電話番号に電話がかかります。

■音声で電話をかける場合

音声に電話番号が割り当てられている場合は、ボイスボタンを1秒以上押し、登録した音声を発声することで、電話をかけることができます。

スピードダイヤルに登録した内容を確認する

スピードダイヤルに登録した内容の確認や変更を行うことができます（P.15-6）。

日本国内から国際電話をかける

国際電話をご利用になるには、別途お申し込みが必要です。サービスの詳細については当社Webサイト「http://www.softbank.jp/」をご覧ください。

1. **国際コード→国番号→相手先番号（先頭の「0」を除く※）の順に入力**

※イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。

2. **通話ボタン（）**

国際電話がかかります。

3. **通話が終了したら終了ボタン（）**

緊急電話（110／119／118）をかける

本端末では発信の制限などを設定しているときでも、以下の操作で緊急電話をかけることができます。

機能	操作
発信規制（P.2-13）	緊急電話番号入力 ＞ 通話ボタン（）
発信先固定（P.14-2）	緊急電話番号入力 ＞ 通話ボタン（）

注意

- 以下の場合、緊急電話をかけることができません。
  - ・キーロックをかけているとき（P.1-18）
  - ・デバイスのロックをかけているとき（P.13-2）
  - ・電話機能をオフにしているとき（P.2-10）
  - ・フライトモードをオンにしているとき（P.9-2）
  - ・PIN認証中のとき（PINコード入力画面が表示されているとき）（P.13-2）
  - ・PINロックがかかっているとき（PINロック解除コード入力画面が表示されているとき）（P.1-5）
- 海外で現地の緊急電話をかける場合、無線ネットワークや無線信号、本端末の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本端末から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

● 本端末では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

補足

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数 100m ～ 10km 程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

電話を受ける

1. 電話がかかってきたら通話ボタン（）または応答
2. 通話が終了したら終了ボタン（）

補足

- 電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を設定できます（P.14-2）。また、連絡先に登録されているデータに個別に着信音を設定することもできます（P.4-2）。
- 着信時のパターン（プロファイル）ごとに着信音量を設定できます（P.14-2）。
- マナーモードに設定すると着信を振動でお知らせします（P.2-10）。

通話中の操作

通話中は、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
保留	通話を保留にします。
ミュート	こちらの音声を相手に聞こえないようにします。
スピーカーフォンをオン	スピーカーを使って通話します。
三者通話	複数で同時に通話できます（P.2-13）。
ハンズフリーをオンにする	ハンズフリー対応Bluetooth®ヘッドセット利用時に選択します。
連絡先	連絡先を表示します。
連絡先に保存	通話している相手を連絡先に登録します。
連絡先の表示	通話している相手の連絡先を表示します。
予定表の表示	予定表を表示します。
通話履歴	通話履歴を表示します。

補足

- 通話中にナビゲーションボタン（上下）を利用して音量調整を行うことができます（P.2-2）。
- 通話中に通話ボタン（ ）を押しても、通話を保留にできます。
- 通話中に通話ボタン（ ）を1秒以上押しても、スピーカーフォンをオンにできます。

海外で利用する

世界対応ケータイ

世界対応ケータイをご利用になるには別途お申し込みが必要です。サービスの詳細については当社Webサイト「http://www.softbank.jp/」をご覧ください。また、使用できる機能や制限などについては、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。

ネットワークの種類を設定する

必要に応じて海外の通信事業者のネットワークや帯域を選択してください。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話 ＞ 帯域選択
2. ネットワークの種類を選択
   Auto：自動的にGSMまたはW-CDMAネットワーク対応の通信事業者間で切り替わります。
   GSM：GSMネットワーク対応の通信事業者間でのみ切り替わります。
   WCDMA：W-CDMAネットワーク対応の通信事業者間でのみ切り替わります。
3. 帯域の種類を選択
   Auto：お使いのエリアに応じて、自動的に帯域が切り替わります。
   Euro band：ヨーロッパやアジアなどの地域の場合に選択します。
   US band：北米などの地域の場合に選択します。
   Japan band：日本国内の場合に選択します。
4. OK

通信事業者を設定する

ひとつの地域で複数の通信事業者とサービスを提携している場合、本端末は自動的に適切な通信事業者に接続します。また、特定の通信事業者を利用したい場合は、手動を選択することもできます。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話 ＞ チャネル
2. 自動または手動 ＞ 完了

■手動を選択した場合

＞ メニュー ＞ ネットワークの選択より通信事業者を選択することができます。

■優先するネットワークを設定する場合

＞ メニュー ＞ 優先するネットワーク

海外で電話をかける

- お客様のいる国や地域によってはネットワークの種類や帯域を切り替える必要があります（P.2-8）。

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

1. 数字キーの「0」を１秒以上押す

「+」が入力されます。

2. 国番号→相手先番号（先頭の「0」を除く※）の順に入力

※イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。

3. 通話ボタン（）

電話がかかります。

滞在国内の一般電話／携帯電話に電話をかける

日本国内にいるときと同様に、相手の電話番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の先頭の「0」を除いたりする必要はありません。

1. 相手先番号を入力
2. 通話ボタン（）

電話がかかります。

マナーモード

周囲に迷惑がかからないよう、ボタン１つの操作で着信音やボタン確認音などの音をスピーカーから出さないように設定することができます。

1. **Comm Managerボタン（ ）を１秒以上押す**

マナーモードに設定され、ディスプレイの上部にマナーモードのアイコンが表示されます。マナーモードを解除するには、もう一度Comm Managerボタン（ ）を１秒以上押してください。

注意

- Comm Managerボタン（ ）を１秒以上押すと、プロファイル（P.14-2）のマナーモードが選択されます。このマナーモードのプロファイルを着信音が鳴るように変更すると、マナーモードに設定されなくなりますのでご注意ください。
- マナーモードに設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

補足

- ＃ボタン（ ）を１秒以上押しても、マナーモードに設定できます。
- マナーモード設定中でも、以下については動作音が鳴ります。
  - ・カメラのシャッター音
  - ・ゲームの音
  - ・ボイスタグの認識音
- Comm Manager（P.9-2）やプロファイル（P.14-2）からマナーモードを設定することもできます。また、プロファイルでは設定値を変更することができます。

電話機能をオフにする

インターネット接続をワイヤレスLANで行う場合などは、以下の方法で電話機能をオフにしてください。

1. **スタート ＞ ツール ＞ Comm Manager**

2. **通話を選んで決定ボタンを押す**

電話機能がオフになります。
もう一度決定ボタンを押すとオンに戻ります。

補足

- Comm Managerの詳細については、P.9-2を参照してください。

オプションサービス

サービス名称	内容
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を設定した番号へ転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けることができます。また、通話相手を切り替えることもできます。
多者通話サービス※	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人まで同時に通話できます。相手を切り替えながら交互に通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

注意

- 電波の届かない場所では、本端末から操作できません。

補足

- サービスの詳細については当社Webサイト「http://www.softbank.jp/」をご覧ください。

転送電話サービス

転送電話サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 電話 > 留守番電話／転送 > 転送設定

2. 以下の項目を設定

転送条件	説明
転送設定	電話がかかってきたときに呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。
転送先	転送先の電話番号を入力します。
呼出時間設定	呼び出し音を鳴らす時間を設定します。

3. 完了 > OK

■転送電話サービスを解除する場合

> 留守番電話／転送 > 留守番／転送全てOFF



補足

- 転送先の入力時に連絡先を押すと、連絡先に登録されている電話番号を入力できます。

留守番電話サービス

留守番電話サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 電話 > 留守番電話／転送 > 留守番電話設定 > ON
2. 以下の項目を設定

転送条件	説明
留守番電話設定	電話がかかってきたときに呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。
呼出時間設定	呼び出し音を鳴らす時間を設定します。

3. 完了 > OK

■留守番電話サービスを解除する場合

> 留守番電話／転送 > 留守番／転送全てOFF


補足

- 圏外または電源オフのときは、呼び出すことなく留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

メッセージを確認する

1. 新しい伝言メッセージが録音されたことを示す「 」アイコンがディスプレイに表示される
2. 「1416」をダイヤルして留守番電話センターに接続する

この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを確認してください。


補足

- スタート > 設定 > 電話 > 留守番電話／転送 >留守番電話設定 >留守番再生を選択しても、メッセージを確認できます。

割込通話サービス

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

割込通話サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 電話 > 割込通話
2. 設定する内容を選択 > 完了

割込通話に応答する

1. 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が鳴る
2. 通話ボタン（ ）または応答

後からかけてきた相手と通話することができます。
最初に通話していた相手は保留状態になります。
切り替えを押すたびに通話の相手が切り替わります。


補足

- 終了ボタン（ ）を押すと、通話中の相手との通話が切れ、保留中の相手との通話が開始されます。

多者通話サービス

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

通話中に別の相手に電話をかける

1. 通話中 ＞ メニュー ＞ 保留

2. 電話番号を入力 ＞ 通話ボタン（）

連絡先を呼び出してから通話ボタン（）を押して別の相手に電話をかけることもできます。

3. 相手が応答したらメニュー ＞ 三者通話

3人目以降の相手に電話をかけるには操作1～3を繰り返します。

■他の相手を保留にして1人の相手とだけ通話する場合

1. 多者通話中にメニュー ＞ プライベート
2. 通話したい相手を選ぶ ＞ OK

メニュー ＞ 三者通話で多者通話に戻ります。



補足

- 多者通話中に終了ボタン（）を押すと、すべての通話が切れます。

発着信規制サービス

制限項目		規制内容
着信規制	国際着信規制	海外での使用時に、すべての電話着信やSMSの受信ができません。
	全着信規制	すべての電話着信やSMSの受信ができません。
発信規制	日本／滞在国以外発信規制	日本国内または滞在国以外への発信ができません。
	国際発信規制	すべての国際電話の発信ができません。
	全発信規制	緊急電話（110／119／118）を除く、すべての電話発信、SMSの送信ができません。



注意

- 発着信規制サービスの操作には、「発着信規制用暗証番号」(P.1-19) が必要になります。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。

補足

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

発着信規制サービスを設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話 ＞ 発着信規制
2. 着信規制および発信規制を設定 ＞ 完了
3. 発着信規制用暗証番号を入力 ＞ 完了

発信者番号通知サービス

発信者番号通知サービスを設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話 ＞ 発信者番号通知
2. 通知する内容を選択 ＞ 完了


補足

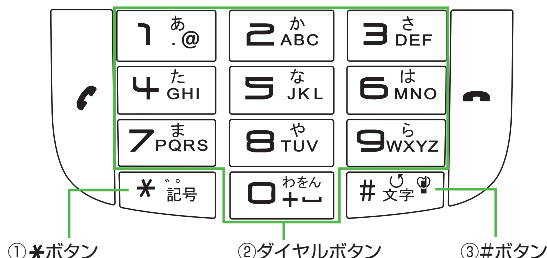
- 本設定の内容にかかわらず、電話番号の前に以下の数字を付けてダイヤルすることで、発信者番号を通知する／しないを設定できます。
  ・相手にお客様の番号を通知する場合：相手の電話番号の前に「186」を付ける
  ・相手にお客様の番号を通知しない場合：相手の電話番号の前に「184」を付ける

文字入力

文字入力について

キーボードについて

ダイヤルボタン



①✱ボタン（✱記号）**（P.3-6）**

記号／顔文字／絵文字の一覧画面を表示します。

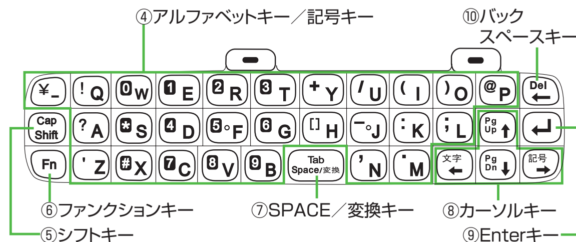
②ダイヤルボタン（0〜9）

ボタンに印字されている文字を入力します。

③#ボタン（#文字）

- 入力モードを切り替えます。
- 1秒以上押すと、文字入力メニューを表示します（P.3-7）。

スライドキー



④アルファベットキー／記号キー



キーを押すと、右下に印字されている文字が入力されます。アルファベットの場合は小文字が入力されます。大文字を入力するときは、⑤シフトキー（Cap Shift）を使います（P.3-4）。

左上に印字されている数字や記号を入力するときは、⑥ファンクションキー（Fn）を使います（P.3-4）。

⑤シフトキー（Cap Shift）**（P.3-4）**

⑥ファンクションキー（Fn）**（P.3-4）**

⑦SPACE／変換キー（Tab Space/変換）（P.3-5）

- 空白を入力します。
- ひらがな入力中は、漢字に変換します。
- ⑥ファンクションキー（Fn）を押しながらこのボタンを押すと、次の項目に移動したり半角4文字分の空白を入力したりします（アプリケーションによって動作が異なります）。

⑧カーソルキー（Pg Up↑、Pg Dn↓、文字←、記号→）

カーソルを上下左右に移動させます。

⑨Enterキー（↵）

項目の選択、値の入力、改行などを行います。

⑩バックスペースキー（Del）

- 直前の文字を削除します。
- 漢字変換中は、元の読み（入力）に戻します。

入力モードを切り替える

1. 文字入力中 ＞ ＃ボタン（＃文字）

＃ボタン（＃文字）を押すたびに、入力モードが順番に切り替わります。



入力モード	説明
あ	漢字ひらがな入力モード
ｶﾅ	半角カタカナ入力モード
ab	半角英字入力モード
12	半角数字入力モード

英大文字を入力する

スライドキーでの文字入力時は、英大文字入力モードに切り替えることができます。

1. **「全角英字入力モード」または「半角英字入力モード」で文字入力中 > シフトキー（Cap Shift）**

各モードの大文字入力モードに切り替わり、大文字を入力できます。
1文字入力すると、切り替え前の入力モードに戻ります。
大文字入力モードの表示は以下のようになります。

入力モード	説明
A	全角英数大文字入力モード
AB	半角英数大文字入力モード

「数字／記号入力モード」に切り替える

スライドキーでの文字入力時は、#ボタンを押して数字入力モードに切り替えずに数字や記号を入力することができます。

1. **文字入力中 > ファンクションキー（Fn）**

「数字／記号入力モード」に切り替わり、各アルファベットキー／記号キーの左上に印字されている数字や記号を入力できます。
1文字入力すると、切り替え前の入力モードに戻ります。
「数字／記号入力モード」の表示は以下のようになります。

入力モード	説明
1	全角数字／記号入力モード
12	半角数字／記号入力モード

補足

- 全角の入力モード（「漢字ひらがな入力モード」や「全角カタカナ入力モード」など）のときにファンクションキー（Fn）を押した場合は、「全角数字／記号入力モード」に切り替わり、半角の入力モード（「半角カタカナ入力モード」など）のときにファンクションキー（Fn）を押した場合は、「半角数字／記号入力モード」に切り替わります。

連続して数字／記号または大文字を入力する

スライドキーでの文字入力時は、#ボタンを押して数字入力モードに切り替えずに数字や記号を連続して入力することができます。

1. **ファンクションキー（Fn）またはシフトキー（Cap Shift）を押しながら文字入力**

ファンクションキー（Fn）またはシフトキー（Cap Shift）を押している間は、連続して数字／記号または大文字を入力できます。

■「数字／記号入力モード」または「大文字入力モード」をロックする場合

> 文字入力中 > ファンクションキー（Fn）またはシフトキー（Cap Shift）を2回連続して押す

「数字／記号ロックモード」または「大文字ロックモード」に切り替わり、連続して数字／記号または大文字を入力できます。
「数字／記号ロックモード」、「大文字ロックモード」の表示は以下のようになります。

入力モード	説明
1	全角数字／記号ロックモード
12	半角数字／記号ロックモード
A	全角大文字ロックモード
AB	半角大文字ロックモード

文字の入力方法

ひらがな／漢字を入力する

ダイヤルボタンで入力する

漢字を入力するには、入力したい文字が表示されるまでダイヤルボタンを押してひらがなを入力し、漢字に変換します。

- ダイヤルボタンに割り当てられている文字については、P.16-11 を参照してください。

<例：「携帯」と入力する場合>

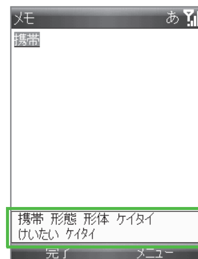
1. 「漢字ひらがな入力モード」になっていることを確認

2. ダイヤルボタンで「けいたい」と入力

2（4回）け　1（2回）い　4（1回）た　1（2回）い

3. 変換

「携帯」に変換されます。



他の変換候補を選ぶ場合は、ナビゲーションボタン（下）を押して変換候補エリアにカーソルを表示し、ナビゲーションボタン（上下左右）で対象の変換候補を反転表示します。カーソルを文字入力欄に戻す場合は、戻るボタン（←）を押します。

4. 決定ボタン

スライドキーで入力する

漢字を入力するには、ローマ字でひらがなを入力し、漢字に変換します。

● ローマ字でのひらがな入力については、P.16-11を参照してください。

＜例：「携帯」と入力する場合＞

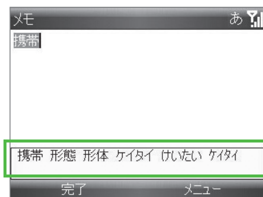
1. 「漢字ひらがな入力モード」になっていることを確認

2. アルファベットキー／記号キーで「けいたい」と入力

「K」「E」	「I」	「T」「A」	「I」
け	い	た	い

3. SPACE/変換キー（Tab Space/変換）

「携帯」に変換されます。



変換候補エリア

他の変換候補を選ぶ場合は、カーソルキー下（Pg Dn）を押して変換候補エリアにカーソルを表示し、カーソルキー上下左右（Pg Up）（Pg Dn）（文字）（記号）で対象の変換候補を反転表示します。カーソルを文字入力欄に戻す場合は、バックスペースキー（Del）を押します。

4. Enterキー（↵）

記号／絵文字／顔文字を入力する

登録されている記号／絵文字／顔文字の一覧から選択して入力できます。

● 利用できる記号や絵文字については、P.16-13を参照してください。

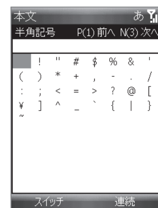
1. 文字入力中 ＞ ✱ボタン（✱ 記号）

最初に全角記号一覧画面が表示されます。

（✱ 記号）ボタンまたはスイッチを押すたびに、「全角記号一覧画面」→「半角記号一覧画面」→「顔文字一覧画面」→「絵文字一覧画面」の順に切り替わります。



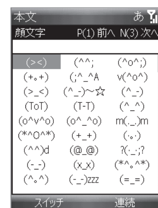
全角記号一覧画面



半角記号一覧画面



絵文字一覧画面



顔文字一覧画面

2. 入力する記号／絵文字／顔文字を選択

連続を押すと、連続して入力できます。

注意

- 絵文字はSMS、S!メールでのみ使用できます。クイックメモなど絵文字非対応の機能では、絵文字は表示されません。また、絵文字非対応ソフトバンク携帯電話では、絵文字は表示されません。

補足

- スライドキーのファンクションキー（Fn）を押してカーソルキー右（記号→）を押しても全角記号一覧画面を表示できます。

文字入力メニューを利用する

文字入力メニューを利用して、入力モードを切り替えたり、記号／絵文字／顔文字などを入力したりできます。

1. 文字入力中 > #ボタン（#）を1秒以上押す

文字入力メニューが表示されます。

2. 以下の項目を選択

項目	説明	
漢かな	漢字ひらがな入力モードになります。	
カ	全角カタカナ入力モードになります。	
ｶﾅ	半角カタカナ入力モードになります。	
ａ	全角英字入力モードになります。	
ab	半角英字入力モードになります。	
１	全角数字入力モードになります。	
12	半角数字入力モードになります。	
絵文字	絵文字一覧画面が表示されます。	
！＠＃	全角記号一覧画面が表示されます。	
!@#	半角記号一覧画面が表示されます。	
顔文字	顔文字一覧画面が表示されます。	
オプション	以下の項目から選択します。	
	辞書	よく使う単語を辞書に登録します（P.3-9）。
	設定	予測変換機能のオン／オフを設定します。
	バージョン情報	文字入力のバージョン情報を表示します。

補足

- スライドキーのファンクションキー（Fn）を押してカーソルキー左（文字←）を押しても文字入力メニューを表示できます。

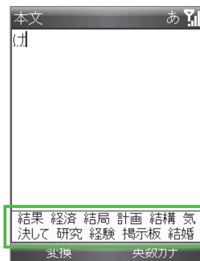
予測変換機能を使用する

予測変換機能をオンにしている場合、入力した文字から予測される変換候補が予測変換候補エリアに表示されます。

- 予測変換機能のオン／オフの切り替えについては、「文字入力メニューを利用する」（P.3-7）の「オプション」を参照してください。

1. 文字を入力

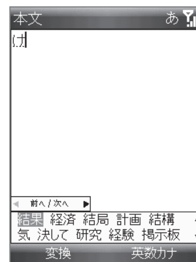
予測変換候補エリアに変換候補が表示されます。



予測変換候補エリア

2. ナビゲーションボタン（下）

予測変換候補エリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。



カーソルを文字入力欄に戻す場合は、戻るボタン（）を押します。

英数カナを押すと、入力した文字に応じた英数およびカタカナの変換候補が表示されます。

変換を押すと、入力した文字の変換候補が表示されます。

3. ナビゲーションボタン（上下左右）で変換候補を選択

選択した変換候補が入力されます。

選択した文字によっては、さらに変換候補を選択することが可能です。

補足

- 一度入力した文字列は自動的に記憶され、変換時に使用頻度が高い文字列が優先的に表示されます（学習辞書）。

学習辞書をリセットする

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時に使用頻度が高い文字列を優先的に表示する機能（学習辞書）をリセットします。

1. 文字入力中 > #ボタン（# 文字）を１秒以上押す
2. オプション > 辞書
3. メニュー > 学習辞書をリセット
4. OK > OK

よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語をお好きな読みで辞書に登録しておくと、その読みで入力して変換したときに登録した単語が表示されます。

新しい単語を登録する

1. 文字入力中 > #ボタン（# 文字）を１秒以上押す
2. オプション > 辞書

辞書画面が表示されます。



3. メニュー > エントリを追加
4. 読み方と候補を入力
5. OK

辞書のメニュー

辞書画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
エントリを追加	新しい単語を登録します（P.3-9）。
エントリを削除	反転表示されている単語を削除します。
ユーザー辞書をリセット	登録されているすべての単語を削除します。
学習辞書をリセット	学習辞書をリセットします（P.3-9）。

連絡先／PIM機能

連絡先

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

● 本端末に登録できる連絡先の件数は、本体メモリの空き容量によって異なります。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードの種別によって異なります。
● 連絡先に登録できる内容は以下のとおりです。

登録内容	説明
姓名	姓と名、フリガナをそれぞれ登録できます。
電話番号	勤務先、携帯電話、自宅電話、会社代表電話、自動車電話、秘書、PHSの番号をそれぞれ登録できます。
画像	着信時や通話中に表示される画像を登録できます。
着信音	着信音を個別に設定できます。
電子メール	電子メールのアドレスを登録できます。
IM	インスタントメッセージの宛先を登録できます。
分類項目	連絡先の分類を選択できます。
ポケットベル	ポケットベルの番号を登録できます。
FAX番号	勤務先、自宅の番号をそれぞれ登録できます。
Webページ	WebサイトのURLなどを登録できます。
表題	登録した連絡先の表示のしかたを設定できます。
勤務先	勤務先、フリガナ、部署、役職、事業所、住所などの情報を登録できます。
自宅住所	自宅の住所を登録できます。
その他のデータ	その他の住所、メモ、ニックネーム、誕生日、記念日、上司、ID番号、アカウント名、カスタマーID、配偶者、子供、秘書の情報を登録できます。


補足

• 連絡先から、USIMカードに連絡先を登録したりUSIMカードの連絡先を参照する場合は、**スタート** > **設定** > **電話** > **通話オプション**を選択し、「SIMカード連絡先の表示」にチェックを付けてください。

新しい連絡先を登録する

1. 連絡先 > 新規作成

2. 登録先を選択

Outlook連絡先：本体メモリに登録します。
SIMカード連絡先：USIMカードに登録します。

3. 各項目を入力 > 完了

■個別に着信音を登録する場合

「着信音」を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたとき、個別に着信音を鳴らすことができます。

■電話番号に「p」（ポーズ）や「w」（ウェイト）を挿入する場合

> 電話番号入力時 > メニュー > ポーズの挿入またはウェイトの挿入

電話番号に「p」（ポーズ）や「w」（ウェイト）を挿入すると、電話をかけるときに、間に約1秒のポーズや一時停止（ウェイト）を入れることができます。ウェイトで一時停止したときは、通話ボタン（ ）を押すとダイヤルを再開します。

連絡先の内容を確認する

連絡先の表示方法を変更する

1. 連絡先

連絡先一覧画面が表示されます。

2. メニュー > 表示方法 > 表示方法を選択

名前：連絡先の一覧が表示されます。

勤務先：勤務先の一覧が表示されます。対象の勤務先を選択すると、その勤務先に登録されている連絡先の一覧が表示されます。

■条件を指定して表示する場合

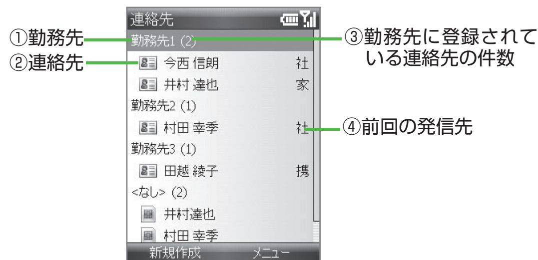
> メニュー > フィルタ > 項目を選択



補足

- フィルタ機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、メニュー > フィルタ > すべての連絡先を選択します。

連絡先一覧画面の見かた



勤務先表示の場合

① 勤務先

② 連絡先

:本体メモリに登録されている連絡先

:USIMカードに登録されている連絡先

③ 勤務先に登録されている連絡先の件数

④ 前回の発信先（ナビゲーションボタン（左右）により入れ替えることができます。）

携：携帯電話に登録されている番号

社、社2：勤務先電話に登録されている番号

家、家2：自宅電話に登録されている番号

代：会社代表電話に登録されている番号

ポ：ポケットベルに登録されている番号

車：自動車電話に登録されている番号

PHS：PHSに登録されている番号

秘：秘書の電話に登録されている番号

sms：携帯電話に登録されている番号へのSMS

E、E2、E3：電子メールに登録されているアドレス

im、im2、im3：IMに登録されているアドレス

Web：Webページに登録されているURL

連絡先を検索する

連絡先をすばやく検索することができます。
連絡先の表示方法により検索の対象が異なります。

1. 連絡先
2. メニュー > 表示方法 > 名前または勤務先
3. 検索する名前（姓／名）、または勤務先の最初の文字を入力

   表示方法が名前の場合は、名前（姓／名）が検索の対象、表示方法が勤務先の場合は、勤務先が検索の対象となります。
   続けて文字を入力すると、さらに絞り込むことができます。

■例：表示方法が名前のときに「K」を入力した場合

姓または名のフリガナが「か行」または「K」ではじまる連絡先が表示されます。

■例：表示方法が勤務先のときに「K」を入力した場合

勤務先のフリガナが「か行」または「K」ではじまる連絡先が表示されます。



補足

- 絞り込んだ内容を元に戻す場合は、戻るボタン（[←]）を押してください。
- フィルタ機能を併用することができます。

連絡先の詳細内容を確認する

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を選択

   連絡先詳細画面が表示されます。

連絡先の内容を変更する

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を反転表示
3. メニュー > 編集
4. それぞれの値を編集 > 完了

連絡先を削除する

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を反転表示
3. メニュー > 連絡先の削除 > はい

連絡先からメールを作成する

SMS／S! メールを作成する

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニュー ＞ SMS送信／S! メール（電話番号）送信／S! メール（メール）送信

   SMS送信：「携帯電話」に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。

   S! メール（電話番号）送信：「携帯電話」に登録されている電話番号を宛先にしたS! メールを作成します。

   S! メール（メール）送信：「電子メール」に登録されている電子メールアドレスを宛先にしたS! メールを作成します。
4. 本文などを入力しメール送信

   詳細については、「SMS／S! メールを作成する」（P.5-4）を参照してください。


補足

- 連絡先一覧画面からメニューを押しても、SMS／S! メールを作成することができます。
- 「携帯電話」に電話番号が登録されていない場合は、SMS送信、S! メール（電話番号）送信は表示されません。
- 「電子メール」に電子メールアドレスが登録されていない場合は、S! メール（メール）送信は表示されません。
- USIMカードに登録された連絡先を選択した場合、S! メール（メール）送信は表示されません。

インターネットメールを作成する

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. 対象の項目を反転表示 ＞ 電子メール
4. インターネットメールのアカウントを選択
5. 件名や本文などを入力しメール送信

   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-20）を参照してください。

連絡先を送信する

連絡先をBluetooth®通信で送信する

● Bluetooth®通信機能の設定についてはP.9-5を参照してください。

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を反転表示
3. メニュー ＞ 連絡先の送信 ＞ ビーム

   送信先の検索がはじまります。

   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

連絡先をS!メールで送信する

1. 連絡先
2. 対象の連絡先を反転表示
3. メニュー > vCardとして送信
4. 宛先や件名、本文などを入力しメール送信
   詳細については、「SMS／S!メールを作成する」(P.5-4) を参照してください。

USIMマネージャを使う

USIMカードに連絡先を登録することができます。

USIMカードに連絡先を追加する

1. スタート > 通話 > USIMマネージャ
2. 新規作成
3. 各項目を入力 > 保存


補足

- 連絡先 > メニュー > USIMマネージャを選択してもUSIMマネージャを起動できます。
- 電話番号2、電子メールに入力した内容は、USIMマネージャからのみ参照できます。連絡先一覧画面（P.4-3）などからは参照できません。

USIMマネージャのメニュー

USIMマネージャでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
編集	USIMカードの連絡先を編集します。	
削除	USIMカードの連絡先を削除します。	
ダイヤル	USIMカードの連絡先に電話をかけます。	
送信	USIMカードの連絡先にメールを送信します。	
連絡先の削除	本体メモリの連絡先を削除します。	
連絡先に保存	USIMカードの連絡先を本体メモリに保存します(P.4-7)。	
USIMに保存する連絡先	本体メモリの連絡先をUSIMカードに保存します(P.4-7)。	
すべて選択	USIMカードの連絡先をすべて選択します。	
最新情報に更新	現在の表示を更新します。	
ツール	USIM情報	USIMカードに関する情報を表示します。
バージョン情報	USIMマネージャのバージョン情報を表示します。	

本体メモリの連絡先をUSIMカードに保存する

1. スタート > 通話 > USIMマネージャ
2. メニュー > USIMに保存する連絡先

   名前と電話の組み合わせの一覧が表示されます。USIMカードに保存しない項目がある場合は、チェックを外してください。
3. 保存

■本体メモリから特定の電話番号を選んでUSIMカードにコピーする場合

> 連絡先 > 対象の連絡先を選択 > 対象の項目を反転表示 > メニュー > SIMカードに保存 > 名前と電話番号を確認（必要であれば修正）> 完了

USIMカードの連絡先を本体メモリに保存する

1. スタート > 通話 > USIMマネージャ
2. 対象の連絡先を反転表示 > メニュー > 連絡先に保存
3. OK

予定表

予定を登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、登録した内容をお知らせします。

予定表を表示する

表示する単位を切り替える

1. スタート > ツール > 予定表
2. 週／月／予定一覧

   ボタンを押すたびに週単位→月単位→日単位の順に切り替わります。



補足

- メニューより表示する単位を切り替えることもできます。
- 月単位の表示で日付を選択すると、予定一覧の表示に切り替わります。

指定した日の予定を表示する

1. スタート > ツール > 予定表
2. メニュー > 指定の日付へ移動 > 日付の入力 > 完了

予定表のオプション設定

予定表の表示形式やアラームのパターンなど予定表に関する設定を行います。

1. スタート > ツール > 予定表
2. メニュー > ツール > オプション
3. 以下の項目を設定

項目	説明
既定の画面	予定表を起動したときの表示方法を設定します。
週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日にするか月曜日にするかを設定します。
週単位の表示	週単位の表示にて、1週間のうち何日表示するかを設定します。
月単位の表示	月単位の表示にて、左端に週番号を表示するかどうかを設定します。
アラームの設定	予定登録時のアラームの初期値を設定します。
会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

4. 完了

予定を登録する

1. スタート > ツール > 予定表
2. メニュー > 新しい予定
3. 以下の項目を設定

項目	説明
件名	予定の名称を入力します。
開始日	予定の開始日を設定します。
開始時刻	予定の開始時刻を設定します。
終了日	予定の終了日を設定します。
終了時刻	予定の終了時刻を設定します。
終日イベント	チェックを付けると開始日から終了日まで終日の予定として登録されます。
場所	予定（会議やその他イベント）の場所などを入力できます。
出席者	出席者を連絡先から設定できます。出席者を設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。
アラーム	事前通知（開始日時からどのくらい前に通知するか）を設定します。
パターン	1回だけの予定か定期的（毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。
公開方法	予定の種類を設定します。
秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	メモを入力できます。

4. 完了

予定を変更する

1. スタート > ツール > 予定表
   月単位の表示の場合は、変更する予定が登録されている日付を選択して予定一覧の表示にしてください。
2. 変更する予定を選択
3. メニュー > 編集
   定期的な予定の場合は、すべての予定を編集するかどうかの確認メッセージが表示されます。
4. それぞれの項目を編集 > 完了
   出席者を登録している場合は、予定を変更したことを出席者に通知するかどうかの確認メッセージが表示されます。

予定を削除する

1. スタート > ツール > 予定表
   月単位の表示の場合は、削除する予定が登録されている日付を選択して予定一覧の表示にしてください。
2. 対象の予定を反転表示
3. メニュー > 予定の削除 > はい
   定期的な予定の場合は、すべての予定を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
   出席者を登録している場合は、予定を削除したことを出席者に通知するかどうかの確認メッセージが表示されます。

予定を送信する

予定をS!メールで送信する

1. スタート > ツール > 予定表
   月単位の表示の場合は、送信する予定が登録されている日付を選択して予定一覧の表示にしてください。
2. 対象の予定を反転表示
3. メニュー > vCalendarとして送信
4. 宛先や件名、本文などを入力しメール送信
   詳細については、「SMS／S!メールを作成する」（P.5-4）を参照してください。

予定をBluetooth®通信で送信する

- Bluetooth®通信機能の設定についてはP.9-5を参照してください。

1. スタート > ツール > 予定表
2. 対象の予定を選択
3. メニュー > 予定をビームする
   送信先の検索がはじまります。
   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

仕事

大事な用件や仕事の進捗状況を管理することができます。仕事には優先度やアラームなどを設定できます。

新しい仕事を登録する

1. スタート ＞ ツール ＞ 仕事
2. メニュー ＞ 新しい仕事
3. 以下の項目を設定

項目	説明
件名	仕事の名称を入力します。
優先度	仕事の優先度を設定します。
状態	チェックを付けると、作業の終了した仕事として登録されます。
開始日	チェックを付けると、仕事の開始日を設定できます。
期限	チェックを付けると、仕事の期限を設定できます。
パターン	1回だけの仕事か定期的（毎週、毎月、毎年）な仕事かを設定します。
アラーム	チェックを付けると、アラーム通知する日時を設定できます。
分類項目	仕事の分類を設定できます。分類を設定すると、フィルタ機能の条件として指定できます。
秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	メモを入力できます。

4. 完了

■件名のみの仕事を登録する場合

＞「ここに新しい仕事を入力します」と表示されている枠を選択 ＞ 件名を入力 ＞ 決定ボタン

仕事の内容を編集する

1. スタート ＞ ツール ＞ 仕事
2. 対象の仕事を選択
3. 編集 ＞ それぞれの値を編集 ＞ 完了

登録した仕事を削除する

1. スタート ＞ ツール ＞ 仕事
2. 対象の仕事を反転表示
3. メニュー ＞ 仕事の削除 ＞ はい

仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

1. スタート > ツール > 仕事
2. メニュー > オプションの表示
3. 以下の項目を設定

項目	説明
新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したときに、自動的にアラームを設定するかどうかを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示するかどうかを設定します。

4. 完了

仕事内容を確認する

仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルタ機能を利用することができます。

1. スタート > ツール > 仕事
2. メニュー > 並べ替え > 項目を選択

■フィルタ機能で条件を指定して表示する場合

> メニュー > フィルタ > 項目を選択



補足

- フィルタ機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、メニュー > フィルタ > すべての仕事を選択します。ただし、作業中のタスクまたは終了したタスクで絞り込んでいる場合は、絞り込んでいる条件（チェックが入っている項目）を再度選択します。
- 並べ替えとフィルタは併用できます。

仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

1. スタート > ツール > 仕事
2. 対象の仕事を反転表示
3. 作業の終了／作業中

   ボタンを押すたびに表示が切り替わります。
   作業の終了を押すと、自動的にチェックボックスにチェックが付きます。



補足

- 仕事を登録するときに、作業の終了した仕事として登録することもできます。

仕事を送信する

仕事をBluetooth®通信で送信する

● Bluetooth®通信機能の設定についてはP.9-5を参照してください。

1. スタート > ツール > 仕事
2. 対象の仕事を反転表示
3. メニュー > 仕事をビームする

 送信先の検索がはじまります。
 以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

ボイスメモ

ボイスメモを録音する

1. スタート > オフィス > ボイスメモ
2. 録音

 録音が開始され、画面に録音時間が表示されます。
3. 停止

 録音が停止します。

ボイスメモを再生する

1. スタート > オフィス > ボイスメモ
2. 対象のボイスメモを選択

 録音されている内容が再生されます。
 途中で再生を停止する場合は、停止を押してください。

ボイスメモの名前を変更する

1. スタート > オフィス > ボイスメモ
2. 対象のボイスメモを反転表示
3. メニュー > 名前の変更
4. 名前を入力 > 完了

ボイスメモを着信音に設定する

ボイスメモとして保存した内容を電話の着信音に設定できます。

1. スタート > オフィス > ボイスメモ
2. 対象のボイスメモを反転表示
3. メニュー > 着信音に設定 > OK

ボイスメモを削除する

1. スタート > オフィス > ボイスメモ
2. 対象のボイスメモを反転表示
3. メニュー > 削除 > はい

クイックメモ

クイックメモを作成する

1. スタート > オフィス > クイックメモ

   クイックメモ画面が表示されます。
2. 新規作成

   クイックメモ入力画面が表示されます。
3. 内容を入力
4. 完了

   入力した内容の1行目がタイトルとなります。

クイックメモのメニュー

クイックメモでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

■クイックメモ画面

項目	説明
新規作成	クイックメモを新規作成します。
削除	クイックメモを削除します。
送信	クイックメモを利用してメールを送信します(P.4-14)。
プロパティ	クイックメモの情報を表示します。

項目	説明
並べ替え	指定した条件でクイックメモを並べ替えます。
オプション	既定の保存場所や既定の文字の大きさを設定します。
バージョン情報	クイックメモのバージョン情報を表示します。

■クイックメモ入力画面

項目	説明
送信	クイックメモを利用してメールを送信します（P.4-14）。
“()”	「()」を入力します。
“@”	「@」を入力します。
“http://”	「http://」を入力します。
コピー／切り取り	本文の内容をコピーしたり、移動したりします。
貼り付け	
フォントサイズ	文字の大きさを設定します。
キャンセル	入力をキャンセルし、クイックメモ画面に戻ります。

クイックメモを編集する

1. スタート > オフィス > クイックメモ
2. 対象のクイックメモを選択
   クイックメモ入力画面が表示されます。
3. 内容を編集
4. 完了

■編集内容を取り消す場合
> 編集中 > メニュー > キャンセル

クイックメモを利用してメールを送信する

1. スタート > オフィス > クイックメモ
2. 対象のクイックメモを反転表示
3. メニュー > 送信
4. インターネットメールのアカウントを選択
   クイックメモの内容が自動的にメールの本文に貼り付けられます。
5. 宛先や件名などを入力しメール送信
   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-20）を参照してください。

メール

メールの種類について

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしで、短いメッセージを送受信できます。



補足

- メッセージは全角または半角で70文字（すべて半角英数で入力した場合は160文字）まで入力できます。ファイルを添付することはできません。

S! メール

ソフトバンク携帯電話やパソコン、インターネットメールに対応している携帯電話などとの間で、画像や音楽を添付したメッセージを送受信できます。

● メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）は変更することができます（P.5-18）。



補足

- 件名、本文、メールアドレス、添付ファイルを合わせて最大300Kバイトまで送受信できます。添付ファイルは最大で20件まで添付することができます。

インターネットメール（POP3／IMAP4）

パソコンで使用されているインターネットメール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。また、パソコンと同じように添付ファイルにも対応しています。

● インターネットメールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります（P.5-19）。

● 本端末のインターネットメールで送受信を行うと、本端末とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーを同じ状態に保つように動作します。

注意

- インターネットメールは、SMSやS! メールとは異なり、自動的にメールは受信されません。メールサーバーとの同期を行う（ActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターの同期とは異なります）ことによって、メールの受信が行われます。
- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Exchange Serverでメール機能を使用する場合には、自動的にメールを受信できます（P.5-2）。
- インターネットメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。

Exchange Serverによるメール

会社のExchange Serverのメールを使用する場合、ActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターにて設定を行います。設定方法については社内システム管理者にご確認ください。

パソコンとの同期によるOutlookメール

お手持ちのパソコンとActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターで同期すると、本端末に「Outlookメール」というアカウントが自動的に作成されます。「Outlookメール」はActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターを使ってパソコンと同期するためのアカウントですので、このアカウントでメールを受信することはできません。
また、このアカウントから送信したメールは、パソコンと同期したときにパソコン側のOutlookの送信トレイに移動されます。

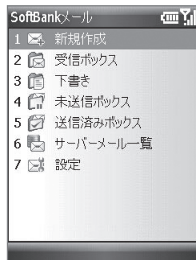
- パソコンとの同期対象の初期値は受信トレイのみですが、パソコン側のOutlookで作成したフォルダなどを、本端末からの操作により同期対象に設定することができます（スタート ＞ メッセージ ＞ Outlook ＞ Outlookメール ＞ メニュー ＞ フォルダ ＞ メニュー ＞ フォルダの管理 ＞ 対象のフォルダを選んで同期）。

SMS／S!メールを作成する

SMS／S!メールを新規に作成して送信します。

1. スタート ＞ SoftBank メール

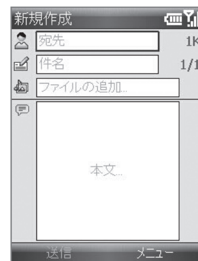
フォルダ一覧画面が表示されます。



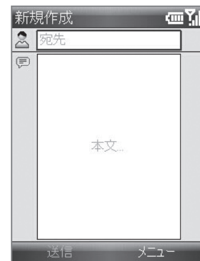
2. 新規作成

3. メールの種類（S!メール／SMS）を選択

メール作成画面が表示されます。



S!メール



SMS

4. 「宛先」（宛先入力欄）を選択

宛先画面が表示されます。

5. 宛先の入力方法を選択

連絡先：連絡先から宛先を選びます。

送信履歴：送信履歴から宛先を選びます。

宛先直接入力：宛先を直接入力します。入力モードを「半角数字／記号ロックモード」から変更した場合、元に戻すときは、半角モードのときにファンクションキー（Fn）を2回連続して押します。

通話履歴：通話履歴から宛先を選びます。

S!メールで、宛先をCcやBccに設定したい場合は、宛先画面で対象の宛先を反転表示 ＞ メニュー ＞ Ccに変更またはBccに変更を選択してください。

6. 「件名」（件名入力欄）を選択 ＞ 件名を入力 ＞ OK

SMSの場合は、件名を入力できません。

7. 「本文」（本文入力欄）を選択 ＞ 本文を入力 ＞ OK

本文を装飾したり、本文に情報を貼り付ける操作については、P.5-5を参照してください。

8. 送信

メールが送信されます。

9. OK

■SMSとS!メールを切り替える場合

＞ メール作成画面 ＞ メニュー ＞ S!メールで送信またはSMSで送信

SMSを作成している場合は、S!メールのメール作成画面が、S!メールを作成している場合は、SMSのメール作成画面が表示されます。

■メールの作成を中止する場合

＞ メール作成画面 ＞ メニュー ＞ 編集をキャンセル

作成途中の場合は、下書きフォルダに保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。



補足

- 宛先のCc、Bccには、参考に送信したい相手を設定します。なお、Bccに設定したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

本文を装飾したり、情報を貼り付ける

本文の内容を装飾したり、本文や件名に、定型文（よく使うテキストをあらかじめ登録しておく機能）やお気に入りのURL、連絡先の情報などを貼り付けることができます。

1. メール作成画面 ＞「件名」（件名入力欄）または「本文」（本文入力欄）を選択

2. メニュー ＞ 以下の項目から選択

項目	説明
定型文	定型文に登録されている内容を貼り付けます。定型文の内容を編集したり、新規に作成することもできます。
定型文として保存	本文の内容を定型文に保存します。
お気に入りを挿入	お気に入りに登録されているWebページのアドレス（URL）を貼り付けます。
連絡先を挿入	連絡先の情報を貼り付けます。
予定を挿入	予定や仕事の情報を貼り付けます。
文字サイズ※	文字サイズを変更します。
文字色※	文字色を変更します。
文字背景※	文字の背景色を変更します。
コピー／切り取り	本文の内容をコピーしたり、移動したりします。
貼り付け	
キャンセル	入力した内容を破棄し、メール作成画面に戻ります。

※ SMS作成時または件名入力時には表示されません。

ファイルを添付する

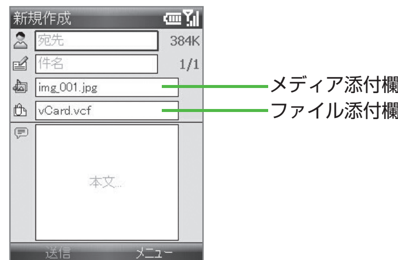
S!メールに、動画や静止画などを添付して送信することができます。

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー > 追加
3. 以下の項目から選択し、ファイルを添付

項目	説明
ビデオ	動画を添付します。
フォト	静止画を添付します。
オーディオ	音楽を添付します。
ビデオをキャプチャ	カメラを起動し、その場で撮影した動画／静止画を添付します。
静止画をキャプチャ	
録音する	その場で録音した音声を添付します。
vCard	連絡先を添付します。
vCalendar	予定表を添付します。
ファイルを選択	その他のファイルを添付します。

4. メール作成画面に添付されたファイルが表示される

動画／静止画／音楽ファイルを添付した場合は、メディア添付欄に表示されます。
vCard／vCalendar／ファイルを選択を選択してファイルを添付した場合は、ファイル添付欄に表示されます（ファイル添付欄はvCard／vCalendar／ファイルを選択を選択した場合に表示されます）。





補足

- ファイルによっては、メールに添付できない場合があります。
- 動画／静止画／音楽ファイルは、S!メールのメール作成画面で「ファイルの追加」（メディア添付欄）を選択しても添付できます。

添付ファイルを削除する

1. S!メールのメール作成画面
2. メディア添付欄またはファイル添付欄を選択
   動画/静止画/音楽ファイルを削除する場合はメディア添付欄、それ以外はファイル添付欄を選択してください。
3. 対象のファイルを反転表示
4. メニュー > 削除

テンプレートを利用する

S!メールでは、テンプレートを利用し、簡単にメールを作成することができます。

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー > テンプレート > テンプレートから新規作成
3. OK
   テンプレートを利用すると、現在の入力内容は破棄されます。破棄したくない場合は、キャンセルを選択してください(キャンセルを選択すると、メール作成画面に戻ります)。
4. テンプレートを選択
   テンプレートが適用されたメール作成画面が表示されます。

テンプレートを保存する

作成中のS!メールや受信したS!メールの内容を、テンプレートとして保存することができます。

<例:作成中のS!メールをテンプレートとして保存する場合>

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー > テンプレート > テンプレートとして保存
   現在入力されている内容がテンプレートとして保存されます。
   件名入力欄に入力されている内容が、テンプレートのタイトルとなります。
3. OK


補足

• 宛先入力欄の内容は、テンプレートとして保存されません。

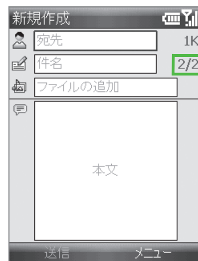
スライドを利用する

スライドとは、メールの本文と画像／動画などの添付ファイルを1つにまとめたものです。S!メールでは複数のスライドを作成して送信することができます。

スライドを作成する

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー ＞ オプション ＞ スライド ＞ 追加

   新規のスライドが作成されます。



3. 本文や添付ファイルを追加

スライドについて設定する

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー ＞ オプション ＞ スライド ＞ 古いアイテムの整理

   スライドの設定画面が表示されます。
3. メニュー ＞ 以下の項目から選択

項目	説明
挿入	スライドを挿入します。
選択	スライドを選択します。
持続時間の自動調整	スライドの持続時間（次のスライドに移行するまでの時間）を自動調整します。
持続時間	スライドの持続時間を手動で設定します。
削除	スライドを削除します。

■スライドを並べ替える場合

1. スライドの設定画面 ＞ 移動するスライドを選択
2. 決定ボタン

   選択したスライドが赤く囲まれます。
3. ナビゲーションボタン（上下左右）で、移動先に移動
4. 決定ボタン

作成したS!メールを確認する

S!メールでは、作成したメールの内容を確認（プレビュー）できます。

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー ＞ メールのプレビュー

   メール確認画面が表示され、本文の内容や添付ファイルの内容を確認できます。

■スライドを作成している場合

＞ メール確認画面 ＞ 再生

スライドが再生されます。

■添付ファイルや本文情報を確認する場合

＞ メール確認画面 ＞ メニュー ＞ 添付表示 ＞ 開く／再生

添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりすることができます。

その他の設定

メール送信時の設定を行うことができます。

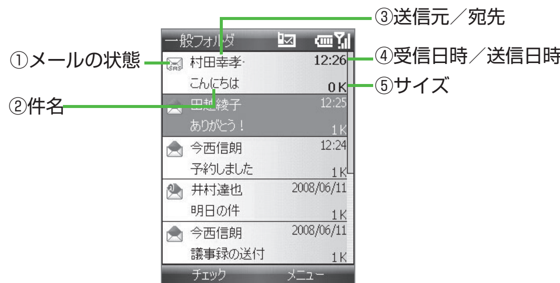
1. メール作成画面
2. メニュー ＞ オプション ＞ 送信オプション

   SMSの場合は、メニュー ＞ 送信オプションを選択してください。
3. それぞれの値を設定 ＞ OK

SMS／S!メールを受信する

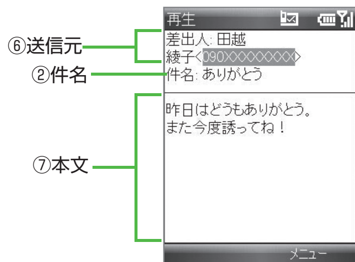
SMS／S!メール画面の見かた

■SMS／S!メール一覧画面



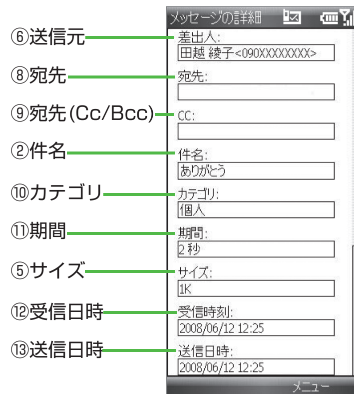
受信ボックスの場合

■SMS／S!メール詳細画面



受信メールの場合

■S!メールのメッセージ詳細画面



受信メールの場合

① メールの状態

アイコン	説明
／ ／	未読メール
／ ／	既読メール
／ ／	返信済メール
／ ／	転送済メール
／ ／ ／	サーバーメールボックスに一時保存のS!メール（未読／既読／返信済み／転送済み）（P.5-14）
	送信待ちS!メール
	送信エラー S!メール

アイコン	説明
(配信確認済みSMSアイコン)	配信確認済みSMS
(USIMアイコン)	USIMカードに保存されているSMS

SMS：SMSの場合に表示されます。
：添付ファイルが存在する場合に表示されます。

② 件名
SMSの場合は本文

③ 送信元／宛先
受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

④ 受信日時／送信日時
受信メールの場合は受信日時、送信メールの場合は送信日時

⑤ サイズ

⑥ 送信元
送信メールの場合は非表示

⑦ 本文

⑧ 宛先
受信メールの場合は送信元の送信先、送信メールの場合は送信先
受信メールの場合は宛先が複数人いるときのみ表示

⑨ 宛先（Cc／Bcc）
送信メールの場合はBccも表示

⑩ カテゴリ

⑪ 期間
スライドの再生時間

⑫ 受信日時
送信メールの場合は非表示

⑬ 送信日時
受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時



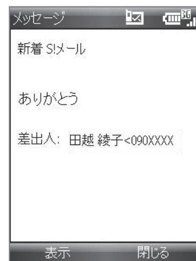
補足

- SMS の場合、受信日時、送信日時には本端末で設定した日付と時刻が表示されます。

SMS／S!メールを読む

新着メールを確認する

1. メールを受信すると、メールを受信したことを示す画面が表示される



2. 表示

SMS／S!メール詳細画面が表示されます。

メールの内容を確認する

1. スタート ＞ SoftBank メール

2. 受信ボックス ＞ フォルダを選択

SMS／S!メール一覧画面が表示されます。

3. 対象のメールを選択

SMS／S!メール詳細画面が表示されます。

メール一覧画面のメニュー

SMS／S!メール一覧画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

■SMS／S!メール一覧画面（受信ボックス）

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>全文受信</td><td colspan="2">サーバーメールボックスに一時保存されているメールを受信します（P.5-14）。</td></tr>
<tr><td>返信</td><td colspan="2" rowspan="3">メールを返信／転送します（P.5-14）。</td></tr>
<tr><td>全員に返信</td></tr>
<tr><td>転送</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">メールを削除します（P.5-17）。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">その他</td><td colspan="2">以下の項目から選択します。</td></tr>
<tr><td>フォルダへ移動</td><td>メールを他のフォルダに移動します（P.5-17）。</td></tr>
<tr><td>開封済みにする／未開封にする</td><td>メールの未開封／開封済みを変更します。</td></tr>
<tr><td>送信者に電話する</td><td>送信元に電話番号をかけます。</td></tr>
<tr><td>アドレスの保存</td><td>送信元のアドレスを利用して、連絡先として保存したり、インターネットメールを作成したりできます。</td></tr>
<tr><td>SIMにコピー</td><td>SMSをUSIMカードにコピーします（P.5-17）。</td></tr>
<tr><td>すべて削除</td><td>フォルダ内のメールをすべて削除します（P.5-17）。</td></tr>
<tr><td>フォルダの表示</td><td colspan="2">受信ボックス内のフォルダを表示します（P.5-16）。</td></tr>
<tr><td>詳細表示</td><td colspan="2">S!メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。</td></tr>
</table>

■SMS／S!メール一覧画面（送信済みボックス）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>編集＆再送信</td><td>メールを再編集します。</td></tr>
<tr><td>アドレスの保存</td><td>宛先のアドレスを利用して、連絡先として保存したり、インターネットメールを作成したりできます。</td></tr>
<tr><td>詳細表示</td><td>S!メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td rowspan="2">メールを削除します（P.5-17）。</td></tr>
<tr><td>すべて削除</td></tr>
</table>

メール詳細画面のメニュー

SMS／S!メール詳細画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

■SMS／S!メール詳細画面（受信ボックス）

項目	説明	
添付表示※1	添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりすることができます。	
返信	メールを返信します（P.5-14）。	
文字サイズ	文字サイズを変更します。	
表示※2	以下の項目から選択します。	
	メッセージの詳細※1	S!メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
	連絡先の詳細※2	送信元や宛先の詳細情報を確認します（SMSの場合は送信元の情報のみ）。

※1 S!メールのときのみ表示されます。
※2 SMSのときは、表示は表示されず、連絡先の詳細が表示されます。

■SMS／S!メール詳細画面（送信済みボックス）

項目	説明	
停止※1	音楽ファイルの再生を停止します。	
編集※2	メールを再編集します。	
添付表示※2	添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりすることができます。	
文字サイズ	文字サイズを変更します。	
表示※3	以下の項目から選択します。	
	添付ファイル※2	ファイル添付欄に添付したファイルの情報を確認します。
	メッセージの詳細※2	S!メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
	連絡先の詳細※3	宛先の詳細情報を確認します。
ステータス表示※4	SMSの送信状況を確認します。	

※1 S! メールに音楽ファイルを添付しているときや、スライドを作成しているときに表示されます。
※2 S!メールのときのみ表示されます。
※3 SMSのときは、表示は表示されず、連絡先の詳細が表示されます。
※4 SMSのときのみ表示されます。



補足

- 文字サイズで設定した内容は、詳細画面を終了するとお買い上げ時の設定に戻ります。

添付ファイルを確認／保存する

1. S! メール詳細画面
2. メニュー ＞ 添付表示
3. 対象の添付ファイルを反転表示 ＞ 開くまたは再生

■添付ファイルを保存する場合

＞ 対象の添付ファイルを反転表示 ＞ メニュー ＞ 保存またはファイルを保存

■静止画や音楽ファイルを連絡先に割り当てる場合

＞ 対象の添付ファイルを反転表示 ＞ メニュー ＞ 連絡先に割り当て

SMS ／ S! メールを返信／転送する

1. SMS ／ S! メール一覧画面（受信ボックス）＞ 対象のメールを反転表示
2. メニュー ＞ 返信
3. 返信の種類を選択

S! メール：S! メールとして返信します。
引用付き S! メール：S! メールとして、元のメールの内容を引用して返信します（元のメールが S! メールのときのみ選択可能です）。
SMS：SMS として返信します。
引用付き SMS：SMS として、元のメールの内容を引用して返信します（元のメールが SMS のときのみ選択可能です）。

4. 件名や本文などを入力しメール送信

■メールの送信元および Cc に入っている人全員に返信する場合

＞ SMS ／ S! メール一覧画面（受信ボックス）＞ メニュー ＞ 全員に返信 ＞ S! メール／引用付き S! メール／SMS

■転送する場合

＞ SMS ／ S! メール一覧画面（受信ボックス）＞ メニュー ＞ 転送



補足

• 受信メールのメール詳細画面でもメールを返信することができます。

S! メールの続きを受信する

以下のいずれかに当てはまる場合、送られてきた S! メールはサーバーメールボックスに一時保存され、メッセージの一部がお客様のソフトバンク携帯電話に送信されます。

・送受信モード（P.5-18）を「手動」に設定しているとき
・送受信モードを「電話番号のみ自動（ホームのみ）」に設定している場合に、宛先がメールアドレスのメールが送られてきたとき
・世界対応ケータイを利用しているとき

1. SMS ／ S! メール一覧画面（受信ボックス）＞ 対象のメールを反転表示
2. メニュー ＞ 全文受信

メールの受信がはじまります。
受信が終わると、メールを受信したことを示す画面が表示されます。

メールリストを取得する

サーバーメールボックスに一時保存されているメールの一覧（メールリスト）を取得することができます。

1. フォルダ一覧画面

2. サーバーメール一覧 > はい

メールリストの取得がはじまります。

3. OK

メールリスト画面が表示され、サーバーメールボックスに一時保存されているメールを一覧で確認できます。

メールリストを利用する

取得したメールリストを利用して、サーバーメールボックス内のメールの受信、転送、削除などを行うことができます。

1. メールリスト画面

2. メニュー > 以下の項目から選択

項目	説明
メールリストの読み込み	メールリストを更新します。
全文受信	反転表示したメールを受信します。
すべてをダウンロード	すべてのメールを受信します。
削除	反転表示したメールを削除します。
すべて削除	すべてのメールを削除します。
転送	反転表示したメールを他の宛先に転送します。
詳細表示	反転表示したメールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
メールボックス容量	サーバーメールボックスの使用状況を確認します。

■複数のメールを受信または削除する場合

1. メールリスト画面
2. 対象のメールを反転表示 > チェック
   チェックの数だけ同様の操作を繰り返します。
3. メニュー > 全文受信または削除

SMS／S!メールを管理する

フォルダの表示

受信ボックスでは、相手や内容などによってフォルダに分類したり、アドレスや件名をもとに自動的にメールを振り分けることができます。

1. フォルダ一覧画面 ＞ 受信ボックス ＞ フォルダを選択
2. メニュー ＞ フォルダ表示
   受信ボックスフォルダ一覧画面が表示されます。

フォルダを追加する

1. 受信ボックスフォルダ一覧画面
2. フォルダ作成
   フォルダが作成されます。

フォルダの名前を変更する

1. 受信ボックスフォルダ一覧画面
2. 対象のフォルダを反転表示
3. メニュー ＞ 名前の変更
4. 名前を入力 ＞ OK



補足

- 「一般」フォルダの名前は変更できません。

自動振り分けを設定する

受信時に、あらかじめ指定した条件で、指定したフォルダにメールを自動的に振り分けることができます。

1. 受信ボックスフォルダ一覧画面
2. 対象のフォルダを反転表示
3. メニュー ＞ メール振り分け設定
4. 自動振り分けのルールを設定
   連絡先からの新規アドレス：自動振り分けをするアドレスを連絡先から選択します。
   新しいアドレス：自動振り分けをするアドレスを手動で入力します。
   新しい件名：自動振り分けをするメールの件名を手動で入力します。
5. OK



補足

- 「一般」フォルダには、自動振り分けのルールは設定できません。

メールを他のフォルダに移動する

1. フォルダ一覧画面 ＞ 受信ボックス ＞ フォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示
3. メニュー ＞ その他 ＞ フォルダへ移動
4. 移動先のフォルダを反転表示 ＞ OK

■複数のメールを移動する場合
1. 受信ボックス ＞ フォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示 ＞ チェック
チェックの数だけ同様の操作を繰り返します。
3. メニュー ＞ フォルダへ移動
4. 移動先のフォルダを反転表示 ＞ OK

SMS／S!メールを削除する

1. フォルダ一覧画面 ＞ フォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示
3. メニュー ＞ 削除 ＞ はい

■複数のメールを削除する場合
1. フォルダ一覧画面 ＞ フォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示 ＞ チェック
対象のメールの数だけ同様の操作を繰り返します。
3. メニュー ＞ 削除 ＞ はい

■フォルダ内のメールをすべて削除する場合
1. フォルダ一覧画面 ＞ フォルダを選択
2. メニュー ＞ すべて削除
受信ボックスの場合は、メニュー ＞ その他 ＞ すべて削除となります。
3. 表示されている文字列を入力欄に入力 ＞ はい

SMSをUSIMカードにコピーする

受信したSMSをUSIMカードにコピーすることができます。

1. フォルダ一覧画面 ＞ 受信ボックス ＞ フォルダを選択
2. 対象のSMSを反転表示
3. メニュー ＞ その他 ＞ SIMにコピー
4. OK

■USIMカードから本体メモリにコピーする場合
＞ 対象のSMSを反転表示 ＞ メニュー ＞ その他 ＞ 携帯にコピー ＞ OK

SMS／S!メールのオプション設定

SMS／S!メールに関する全般的な設定を行います。

1. フォルダ一覧画面 > 設定

2. 以下の項目を設定

項目	説明
メール・アドレス設定	メールアドレスの変更を行います。
一般設定	並び順や署名など、SMS、S!メールに共通な設定を行います。
S!メールの設定	送受信モード、送受信の試行回数など、S!メールに関する設定を行います。
SMSの設定	配信レポートなどSMSに関する設定を行います。
バージョン情報	SoftBank メールのバージョン情報を表示します。

メールアドレスの変更

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。

（例：変更前）
□□□□□□□□□□□□@softbank.ne.jp

（例：変更後）
「お好みのアカウント名」@softbank.ne.jp

● ご契約時には、ランダムな英数字が設定されています。

1. フォルダ一覧画面 > 設定 > メール・アドレス設定

インターネットに接続します。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

インターネットメールアカウントの設定

メールアカウントの設定

インターネットメールのアカウントや社内メールのアカウントを設定します。

● 会社のExchange Serverのメールについては、ActiveSyncにて設定を行います。設定方法については、社内システム管理者にご確認ください。

メールアカウントの設定の準備

設定するメールアカウントについて、以下の情報を事前に確認しておいてください。

・メールアドレス
・ユーザー名（ユーザー ID）
・パスワード
・受信メールサーバーの種類（POP3またはIMAP4）
・受信メールサーバー名（POP／IMAP）
・送信サーバー名（SMTP）
・日付／時刻
　※日付／時刻が正しく設定されていない場合、メールを受信できないことがあります。

新しいアカウントを追加する

1. スタート > メッセージ > Outlook
2. 新しい電子メールアカウント
3. 以下の情報を入力し、次へ

電子メールアドレス：
　アカウントのメールアドレスを入力します。
インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する：
　チェックを付けているときは、次へを押すと、操作3の情報で電子メールの情報を自動的に取得します。取得できた場合は、以降の設定は自動的に設定されます。

4. 以下の情報を入力し、次へ

電子メールプロバイダ：
　インターネット電子メールまたはExchangeサーバーを選択します。

5. 以下の情報を入力し、次へ

名前：
　メールアカウントの利用者の名前（任意の名前）を入力します。
アカウントの表示名：
　メールアカウント名（任意の名前）を入力します。

6. 以下の情報を入力し、次へ

受信メールサーバー：
　受信メールサーバー名（POP／IMAP）を入力します。
アカウントの種類：
　受信メールサーバーをPOP3／IMAP4から選択します。

7. 以下の情報を入力し、次へ

ユーザー名：
　プロバイダや社内システム管理者から提供されたユーザー名（またはユーザー ID）を入力します。
パスワード：
　プロバイダや社内システム管理者から提供されたパスワードを入力します。
パスワードの保存：
　メールサーバーにアクセスするたびにパスワードを入力したくない場合にチェックを付けます。

8. **以下の情報を入力し、次へ**

送信（SMTP）メールサーバー：
送信メールサーバー名（SMTP）を入力します。

送信サーバーで認証を要求する：
プロバイダや社内システム管理者から指定がある場合のみチェックを付けます。

電子メールの送信に同じ名前とパスワードを使用：
送信サーバーで認証を要求するにチェックを付けた場合のみ設定できます。

サーバーの詳細設定：
サーバーに関する詳細設定を行います。

9. **以下の情報を設定**

自動送受信：
設定した時間間隔で受信メールサーバーに新しいメールが到着しているかどうかを確認します。

すべてのダウンロード設定の確認：
過去何日分のメールをダウンロードするか（メッセージのダウンロード）や、メール送信時に送信を押したとき、すぐにメールの送受信を実行するか（[送信]をクリックしたとき送受信を実行する）など、メールのダウンロードに関する詳細設定を行います。

10. **完了**

設定した内容で、受信サーバーに接続し、メールのダウンロードを行います。

注意

- 操作 9 で**自動送受信**を「手動実行」以外に設定した場合、メッセージを確認するたびにインターネットに接続するため、高額な接続料金になる可能性があります。

インターネットメールを作成する

インターネットメールを新規に作成して送信します。

1. **スタート ＞ メッセージ ＞ Outlook**

2. **インターネットメールのアカウントを選択**

3. **メニュー ＞ 新規**

メール作成画面が表示されます。



4. **宛先入力欄を選び、宛先を入力**

宛先入力欄を選び決定ボタンを押すと、連絡先から選択することができます。
Cc、Bccを利用する場合は、ナビゲーションボタンで上方向にスクロールするとCc、Bcc入力欄が表示されます。

5. **件名入力欄を選び、件名を入力**

6. **本文入力欄を選び、本文を入力**

7. 送信

アカウントの設定で［送信］をクリックしたときに送受信を実行するにチェックを付けている場合は、送信と同時に送受信が行われます。チェックを外している場合は、メールは送信トレイに保存され、次に送受信を行うまでは送信されません。

■ファイルを添付する場合

> メール作成画面 > メニュー > 挿入 > 画像／ボイスメモ／ファイル

■マイ テキスト(よく使うテキストをあらかじめ登録しておく機能)を利用する場合

> メール作成画面 > 件名入力欄または本文入力欄を選ぶ > メニュー > マイテキスト > 入力するテキストを反転表示 > 挿入

あらかじめ登録されているテキストを編集することもできます。

■メールの作成を中止する場合

> メール作成画面 > メニュー > メッセージの取り消し

作成途中の場合は、下書きフォルダに保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

■メールの作成途中で保存する場合

> メール作成画面 > メニュー > 下書きに保存

下書きフォルダに保存されます。



補足

- 宛先のCc、Bcc入力欄には、参考に送信したい相手のアドレスを入力します。なお、Bcc入力欄に入力したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

メールのオプション

1. メール作成画面

2. メニュー > メッセージのオプション

3. 以下の項目を設定

項目	説明
優先度	メールの優先度（低／標準／高）を設定します。
セキュリティ	デジタル署名を登録しているとき、暗号化や署名を設定します。
アクセス許可	アクセス制限（アクセス制限なし／転送禁止／ユーザーの選択）を設定します。
言語	言語（文字コード）を設定します。

インターネットメールを受信する

インターネットメールを送受信する

インターネットメールは、自動的に受信されないため、手動で送受信を行う必要があります。

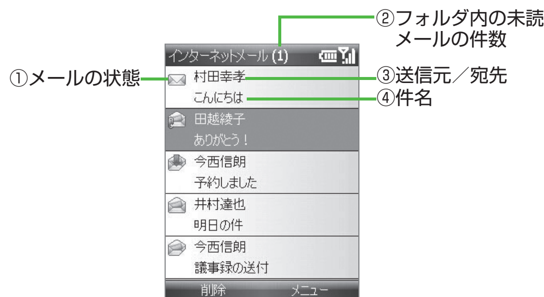
● 送受信を行うと、以下のように動作します。
- 本端末とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーが同じ状態になります。
- 「送信トレイ」に保存されたメールが送信されます。

1. スタート > メッセージ > Outlook
2. インターネットメールのアカウントを選択
3. メニュー > 送受信

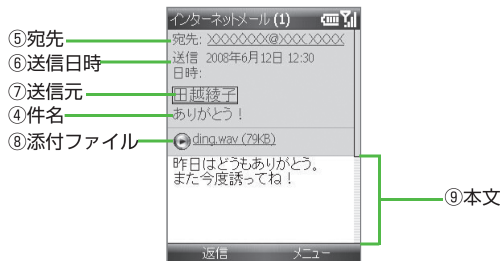
   メールの送信および受信を行います。
   受信したメールは受信トレイに入ります。
   送信トレイの中のメールが送信されます。

インターネットメール画面の見かた

■インターネットメール一覧画面



■インターネットメール詳細画面



① メールの状態

：未読メール

：未読メール（受信していないメッセージや添付ファイルあり）

：未読メール（添付ファイルあり）

：既読メール

：既読メール（受信していないメッセージや添付ファイルあり）

：既読メール（添付ファイルあり）

／ ：受信していないメッセージや添付ファイルを次回送受信時にダウンロード（未読／既読）（P.5-24）

② フォルダ内の未読メールの件数

③ 送信元／宛先

受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

送信メールで宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示

④ 件名

⑤ 宛先

受信メールの場合は送信元の送信先、送信メールの場合は送信先

宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示

⑥ 送信日時

受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時

⑦ 送信元

⑧ 添付ファイル

添付ファイルがある場合には、ファイル名と容量を表示

⑨ 本文

インターネットメールを読む

1. スタート ＞ メッセージ ＞ Outlook

2. **インターネットメールのアカウントを選択**

インターネットメール一覧画面が表示されます。

フォルダを変更する場合は、メニュー ＞ フォルダを選択し、対象のフォルダを選択してください。



3. **対象のメールを選択**

インターネットメール詳細画面が表示されます。

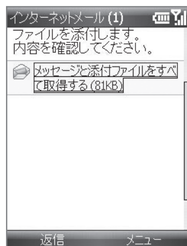
■未読／開封済みを変更する場合

＞ インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを反転表示 ＞ メニュー ＞ 開封済みにする／未読にする

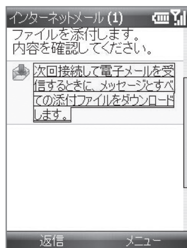
メールのすべての内容／添付ファイルを受信する

インターネットメール詳細画面に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信していないメッセージや添付ファイルが存在しています。すべてを受信するためには、手動で設定する必要があります。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを選択



2. メニュー ＞ メッセージのダウンロード



インターネットメール詳細画面の「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」という表示が、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変わります。

3. メニュー ＞ 送受信

操作1、2を実行したメールのすべてのメッセージ／添付ファイルを受信します。

文字の大きさを変更する

受信したメールの文字の大きさを変更できます。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ メールを選択
2. メニュー ＞ 表示 ＞ 文字サイズ ＞ 文字サイズを選択

メールの言語（文字コード）を変更する

文字化けなどが発生している場合、言語（文字コード）を変更できます。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ メールを選択
2. メニュー ＞ 表示 ＞ 言語
3. 対象の言語を選択 ＞ 完了

添付ファイルを確認／保存する

1. 対象のメールを表示
2. 添付ファイルを選択

   添付ファイルのアイコンは、ファイルの種類により異なります。
3. 処理方法についての確認メッセージが表示
4. メニュー > 名前を付けて保存

   ファイルの内容を確認（表示や再生）する場合は、開くを押してください。
5. 名前や保存先を設定 > 保存

   ファイルの保存先が表示されます。
6. OK

インターネットメールを返信／転送する

1. 対象のメールを表示 > メニュー > 返信
2. 返信の種類を選択

   返信：メールの送信元に返信します。
   全員へ返信：メールの送信元およびCcに入っている人全員にメールを返信します。
   転送：受信したメールを他の人に転送します。
3. 件名や本文を入力しメール送信



補足

- 返信メールの作成画面で**送信者のメッセージの編集**を選択すると、元のメッセージを編集しながらメールを作成できます。元のメッセージを引用しながら返事を書く場合に便利です。

本端末とパソコンで同じメールを受信したとき

本端末とパソコンなどで同じメールを受信したときは、本端末の「受信トレイ」からメールが削除されます。

1. 本端末でインターネットメールを受信
2. パソコンなどで同じメールを受信

   メールサーバーからメールが削除されます（パソコンなどで、メール受信時にメールサーバーからメールを削除するよう設定している場合）。
3. 本端末のインターネットメールで送受信を行う

   メールサーバーと本端末とで同期が行われ、メールサーバーから削除されたメールが、本端末の「受信トレイ」からも削除されます。



補足

- 本端末で受信する前にパソコンなどでメールを受信したときなど、既にメールサーバーからメールが削除されている場合は、本端末ではそのメールを受信できません。

インターネットメールを管理する

フォルダの表示

1. インターネットメール一覧画面 > メニュー > フォルダ
   フォルダ一覧画面が表示されます。

インターネットメールを他のフォルダに移動する

1. インターネットメール一覧画面 > 対象のメールを反転表示
2. メニュー > 移動
3. 移動先のフォルダを選択

インターネットメールを削除する

1. インターネットメール一覧画面 > 対象のメールを反転表示
2. 削除 > はい
   削除したメールは「削除済みアイテム」に移動されます。ただし、「下書き」フォルダのメールを削除した場合は、完全に削除されます。

メールサーバーからもメールを削除する

インターネットメールは、本端末でメールを受信してもメールサーバーにはメールが残っています。パソコンで同じメールを受信したときはメールサーバーからも削除されます（P.5-25）が、本端末からメールサーバーのメールを削除するには、「削除済みアイテム」からメールを削除する必要があります。

1. 本端末でインターネットメールを受信
2. 受信したメールを削除し「削除済みアイテム」に移動
3. インターネットメール一覧画面 > メニュー > ツール > ［削除済みアイテム］を空に > はい
   メールが「削除済みアイテム」から削除されます。
4. 本端末のインターネットメールで送受信を行う
   メールサーバーと本端末とで同期が行われ、「削除済みアイテム」から削除されたメールが、メールサーバーからも削除されます。

インターネットメールのオプション設定

メールに関する全般的な設定を行います。

1. インターネットメール一覧画面 > メニュー > ツール > オプション

2. 以下の項目を設定

項目	説明
表示設定	インターネットメール一覧画面に日付と時刻を表示するかどうかや、メッセージの並び順、メッセージを移動/削除した後の動作を設定します。
送信設定	返信時の元のメッセージの扱いや、送信済みアイテムのコピーについて設定します。
署名	メールの種類(アカウント)ごとに署名の設定をします。
アカウントの設定	メールアカウントについての設定をします。
新しい電子メールアカウント	新しいアカウントを追加します(P.5-19)。
セキュリティ設定	デバイス外部のURLまたはリンク先に移動する前に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。
その他	Outlookを起動する際にアカウントを選択するかどうかや、インターネットメール一覧画面からメールを削除するときに警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

インターネット

Internet Explorer® Mobile

Internet Explorer® Mobileを起動する

1. スタート > Internet Explorer

   Yahoo! Japanのトップ画面が表示され、インターネット上の検索、お気に入り、または履歴を利用できます。

注意

- Internet Explorer® Mobileは、パソコン上のInternet Explorer®とは表示が異なる場合があります。

補足

- 戻るボタン（[←]）を押すと1つ前のページに戻ります。
- メニューより次へを選択すると、戻るボタン（[←]）の操作を行う前のページに移動します。
- メニューより最新の情報に更新を選択すると、表示中のWebページを新しい情報に更新します。

インターネットの接続方法の選択

● インターネット接続の設定については、P.9-3を参照してください。

1. スタート > Internet Explorer
2. メニュー > ツール > オプション > 接続
3. ネットワークを選択 > 完了

   ネットワークを自動的に検出するときは、「設定を自動的に検出する」にチェックを付けます。

URLを入力してWebページを表示する

1. スタート > Internet Explorer
2. メニュー > アドレスバー
3. アドレスバーにURLを入力
4. アドレスバーを選んでいる状態で移動

履歴を利用してWebページを表示する

1. スタート > Internet Explorer
2. メニュー > 履歴
3. 対象の履歴を反転表示 > 移動

Webページの表示方法を設定する

限られた画面サイズでパソコン向けWebページを表示するために、閲覧するページに合った表示方法を設定します。

1. スタート > Internet Explorer
2. メニュー > 表示

3. 以下の項目を設定

項目	説明
文字サイズ	文字の大きさを設定します。
一列に表示する	Webページのカラムを縦一列に並べ替えて表示する、またはWebページをディスプレイの幅に合わせて表示する、Webページを調整せず元のまま表示する、のどれか1つを選択します。
画面に合わせる	
表示調整しない	
全画面表示	ディスプレイすべてを使って表示するかどうかを設定します。
画像を表示する	画像の表示のオン／オフを設定します。

お気に入りを使用する

Webページをお気に入りに追加する

1. Webページ表示中 > メニュー > お気に入りに追加
2. 名前やアドレス（URL）などを確認 > 追加
   お気に入りに追加されます。

お気に入りからWebページを表示する

1. スタート > Internet Explorer
2. お気に入り > 表示したいタイトルを反転表示 > 移動

お気に入りを整理する

1. スタート > Internet Explorer
2. お気に入り > メニュー
3. 以下の項目を設定

項目	説明
アドレスバー	お気に入りのURLを表示します。
お気に入りの追加	お気に入りを追加します。
フォルダの追加	フォルダを追加します。
編集	お気に入りを編集します。
削除	お気に入りを削除します。
オプション	Internet Explorer® Mobileの各種設定を行います（P.6-4）。

表示中のWebページのURLを送信する

1. Webページ表示中 > メニュー > ツール > リンクを送る
2. インターネットメールのアカウントを選択
   表示中のWebページのURLが、自動的にメールの本文に貼り付けられます。
3. 宛先や件名などを入力しメール送信
   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-20）を参照してください。

Internet Explorer® Mobileの設定

エンコードする文字コードを設定する

1. Webページ表示中 > メニュー > ツール > オプション > 全般
2. エンコードを設定 > 完了

履歴やWebページキャッシュ、Cookieをクリアする

1. Webページ表示中 > メニュー > ツール > オプション > メモリ

   一時ファイル、Cookie、履歴のメモリ使用量が表示されます。
2. 対象の項目を反転表示 > クリア > はい

セキュリティ設定

1. Webページ表示中 > メニュー > ツール > オプション > 全般
2. それぞれの値を設定 > 完了



補足

- Internet Explorer® Mobileの使いかたやヒントについては、以下のWebサイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

Windows Live™

Windows Live™は、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。オンラインでチャットをしたり、Windows Live™ メール（Hotmail）を利用したりすることができます。

Windows Live™のアカウントについて

Windows Live™のアカウント（ID）は、パソコンからWindows Live™のWebサイトにアクセスし、あらかじめ取得しておく必要があります。

● 取得方法については、以下のWebサイトを参照してください。
http://www.microsoft.com/japan/mscorp/passport/passport02.mspx

Windows Live™にサインインする

はじめてWindows Live™を使用するときは、アカウントとパスワードを設定する必要があります。

1. スタート > メッセージ > Windows Live

   Windows Live™画面が表示されます。
2. 「クリックしてサインインします。」を選択
3. 画面の指示に従って、アカウントとパスワードの設定などを行う

Windows Live™のメニュー

Windows Live™画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目		説明
オプション		以下の項目から選択します。
	ホーム画面のオプション	ホームにWindows Live™を表示するかどうかを設定します。
	同期オプション	Windows Live™のオンラインに登録された連絡先を、本端末の連絡先と同期するかどうかを設定します。
	同期スケジュール	同期を行う頻度を設定します。
	同期の状態	同期の履歴を表示します。
	電子メール	メッセージのサイズ、送信について設定します。
	Messenger	Messengerの通知方法、チャットに使用するフォントなどを設定します。

項目		説明
アカウントオプション		以下の項目から選択します。
	パスワードのリセット	パスワードを入力し直します。
	Windows Live IDの切り替え	他のアカウントに切り替えます。
	使用条件	マイクロソフト社による使用条件を表示します。
	プライバシーに関する声明	マイクロソフト社によるプライバシーに関する声明を表示します。
バージョン情報		Windows Live™のバージョン情報を表示します。

Messengerを利用する

Windows Live™メッセンジャーを使用すると、パソコンなどからWindows Live™メッセンジャーにアクセスしている人とチャットをすることができます。

1. スタート > メッセージ > Messenger

2. 画面の指示に従って、操作を行う



補足

- Windows Live™メッセンジャーの詳細については、以下のWebサイトを参照してください。
  http://messenger.live.jp/

Messengerのメニュー

Messengerでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	機能
オンライン状態の変更	オンラインにおける現在の状態を切り替えます。
個人設定の変更	個人の表示名、表示メッセージ、表示アイコンを設定します。
並べ替え	指定した条件でチャットに参加しているメンバーを並べ替えます。
新しいメンバーの追加	チャットに参加するメンバーを追加します。
メンバーオプション	チャットに参加するメンバーの情報の表示、スペースの表示、禁止、削除を行います。
オプション	Messengerの通知方法、チャットに使用するフォントなどを設定します。
サインアウト	Messengerをサインアウトします。
Windows Live	Windows Live™画面を表示します。

Windows Live™ メールを利用する

Windows Live™にサインインすると、Outlookに「Windows Live」が表示され、Windows Live™ メール（Hotmail）をメールアカウントの1つとして使用することができます。

1. スタート > メッセージ > Outlook

2. Windows Live

3. メールの操作を行う

メール機能の詳細については「インターネットメールを作成する」（P.5-20）を参照してください。



補足

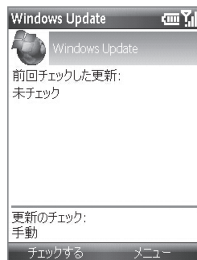
- Hotmailのサービスの詳細については、以下のWebサイトを参照してください。
  http://www.hotmail.co.jp/

Windows Update

システムファイルを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合は最新の状態に更新します。

更新をチェックする

1. スタート > 設定 > Windows Update > はい



2. チェックする

■はじめてWindows Updateを実行する場合

> 次へ > 更新をチェックする方法を選択 > 次へ > 完了

Windows Updateの設定

以下のメニューを利用し、Windows Updateの設定を行うことができます。

1. スタート > 設定 > Windows Update > メニュー

項目	説明
詳細の表示	更新内容の詳細を表示します。
接続	データプランを使用して更新をチェックするかどうかを選択します。
スケジュールの変更	更新の確認方法を自動または手動から選択します。
プライバシー	プライバシーに関する声明を表示します。

情報／データの同期

ActiveSyncについて

ActiveSyncを使用して、本端末とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

パソコンの動作環境について

ActiveSyncを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

Windows® XP Service Pack 2 など

Outlookとの同期

Microsoft® Outlook® 2003 (推奨)
Microsoft® Outlook® XP
Microsoft® Outlook® 2007

お気に入りの同期

Internet Explorer® 6.0以上

パソコンとの接続/通信方法

USBケーブル
Bluetooth®


補足

- ActiveSyncの動作環境の詳細についてはP.16-16を参照してください。
- 詳しい使用方法については、マイクロソフト社のWebサイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx

ActiveSyncで同期できる情報

Outlookとの同期

メール
連絡先
予定表
仕事

お気に入りの同期

Internet Explorer®のお気に入り

ファイルの同期

パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Playerのファイルの同期

楽曲（著作権情報含む）/動画（著作権情報含む）/静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 10より前のバージョンでは同期できません。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本端末とExchange Serverとを直接同期するときは、ActiveSyncのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

ActiveSyncを設定する

パソコンにActiveSyncをインストールする

- ウィルスチェックソフトウェアやセキュリティソフトウェアなどをインストールしている場合は、あらかじめそれらの動作を停止／無効にしてください。
- 他のファイル同期用ソフトウェアがインストールされているときは、あらかじめアンインストールしてください。

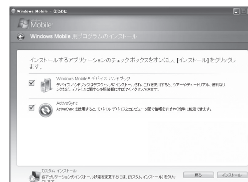
1. **付属の「お使いになる前にディスク」をパソコンにセット**

自動的にWindows Mobileデバイス画面が表示されます。

2. **「セットアップとインストール」をクリック**

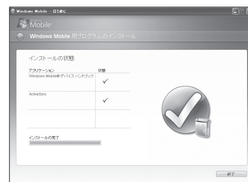


3. **インストールするアプリケーションにチェックを付ける ＞「インストール」をクリック**



4. **画面の指示に従って、インストールを行う**

5. **ActiveSyncのインストール完了のメッセージが表示されたら「終了」をクリック ＞ 「閉じる」をクリック**



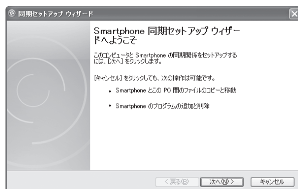
インストールが完了すると、ActiveSyncが起動します。
「完了」をクリック後、パソコンの再起動を行う画面が表示された場合は、「はい」をクリックし再起動を行ってください。

パソコンと接続する／同期する情報を設定する

パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

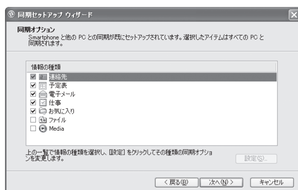
1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続する**

はじめてパソコンと本端末を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。



2. **同期に関する設定を行う**

同期する情報の選択などを行います。



チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

3. **画面の指示に従って、セットアップを行う**

4. **同期の設定の完了メッセージが表示されたら「完了」をクリック**



自動的に情報の同期が開始されます。

同期の設定を変更する

パソコン側のActiveSync画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1. パソコン側のActiveSync画面で、「ツール」→「オプション」の順に開く

2. 同期の設定 ＞「OK」をクリック

   チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

補足

- ActiveSyncの詳細な使用方法については、パソコン側のActiveSync画面のヘルプを参照してください。

ActiveSyncで情報を同期する

USBケーブルを接続して同期する

同期の設定を行った後、USBケーブルを使用してパソコンと本端末を接続すると、情報を同期することができます。

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続する

   自動的に情報の同期が開始されます。

   同期の設定を行っていない場合は、同期セットアップウィザードが表示されます（P.7-4）。

自動的に同期を開始しないようにするには

USBケーブルを使用して本端末とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1. パソコン側のActiveSync画面で、「ファイル」→「接続の設定」の順に開く

2. 「デバイスとの接続時にActiveSyncを開く」のチェックを外す ＞「OK」をクリック

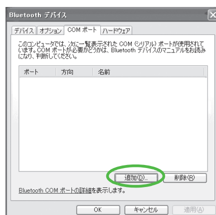
Bluetooth® で同期する

Bluetooth® を利用して、情報やデータを同期することができます。

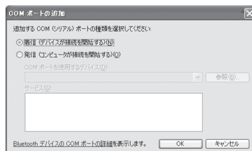
- Bluetooth® による本端末とパソコンとの通信設定（ペアリング）については、P.9-6を参照してください。

パソコン側のBluetooth® 設定にCOMポートを追加する

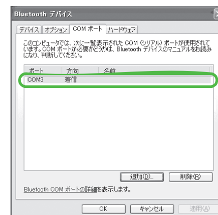
1. パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く
2. 「COMポート」タブを選択 ＞「追加」をクリック



3. 「着信（デバイスが接続を開始する）」を選択 ＞「OK」をクリック

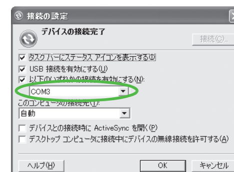


4. 追加されたCOMポートを確認



パソコン側のActiveSyncでCOMポートの接続を有効にする

1. パソコン側のActiveSyncの画面で、「ファイル」→「接続の設定」の順に開く
2. 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックを付ける ＞ プルダウンメニューから「パソコン側のBluetooth® 設定にCOMポートを追加する」(P.7-6) で追加したCOMポートを選択 ＞「OK」をクリック

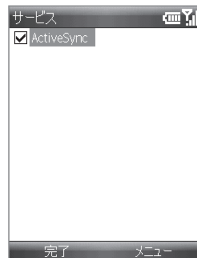


本端末側のBluetooth®設定で、パソコン側のサービスを選択する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続 ＞ Bluetooth
2. Bluetooth



3. Bluetooth® デバイスの中から接続しているパソコンを選択 ＞ 次へ
4. サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックを付ける



5. 完了


補足

- Bluetooth®で同期するための設定の詳細については、パソコン側のActiveSync画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth®で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth®でパソコンと本端末を接続すると、情報を同期することができます。

● あらかじめ本端末とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります（P.9-6）。

1. スタート ＞ ツール ＞ ActiveSync
2. メニュー ＞ Bluetoothから接続

   パソコン側のActiveSyncが自動的に起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルを本端末にコピーしたり、本端末からパソコン側にコピーしたりすることができます。

● あらかじめパソコン側で ActiveSync の設定を行っておく必要があります（P.7-3）。

1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続する**

2. **パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「モバイル デバイス」を選択**

本端末の中のファイルを直接操作することができるようになります。

3. **パソコン上のファイルや本端末のファイルのコピーを行う**

■パソコン上のファイルと本端末のメモリカード内のファイルをやりとりする場合

1. パソコン側で「マイコンピュータ」を開き、「モバイル デバイス」を選択
2. 「マイ Windows Mobile デバイス」を選択
3. 「Storage Card」を選択
4. ファイルのやりとりを行う

Windows Mobileデバイスセンターについて

Windows Mobileデバイスセンターを使用して、本端末とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

● Windows Vistaを搭載したパソコンには、あらかじめWindows Mobileデバイスセンターがインストールされているものがあります。デバイスセンターがインストールされていない場合は、「お使いになる前にディスク」からインストールしてください。

パソコンの動作環境について

Windows Mobileデバイスセンターを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

Windows Vista® Home Basic など

Outlookとの同期

Microsoft® Outlook® 2003
Microsoft® Outlook® XP
Microsoft® Outlook® 2007(推奨)

お気に入りの同期

Internet Explorer® 7

パソコンとの接続／通信方法

USBケーブル
Bluetooth®

補足

- Windows Mobileデバイスセンターの動作環境の詳細についてはP.16-16を参照してください。
- 詳しい使用方法については、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx

Windows Mobileデバイスセンターで同期できる情報

Outlookとの同期

メール
連絡先
予定表
仕事

お気に入りの同期

Internet Explorer®のお気に入り

ファイルの同期

パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Playerのファイルの同期

楽曲（著作権情報含む）／動画（著作権情報含む）／静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 11より前のバージョンでは同期できません。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本端末とExchange Serverとを直接同期するときは、Windows Mobileデバイスセンターのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

Windows Mobileデバイスセンターを設定する

パソコンと接続する／同期する情報を設定する

パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続する**

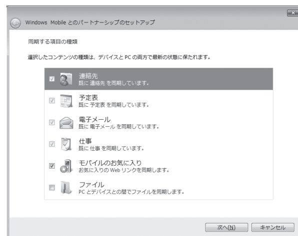
   はじめてパソコンと本端末を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。

2. **画面の指示に従ってセットアップを行う**

3. **Windows Mobileデバイスセンターのホーム画面が表示されたら、「デバイスのセットアップ」をクリック**



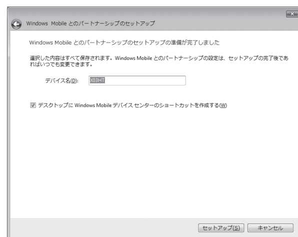
4. 同期する情報を選択



チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

5. 「次へ」をクリック

6. デバイス名を入力 ＞「セットアップ」をクリック



セットアップが完了すると、Windows Mobileデバイスセンターが起動します。

同期の設定を変更する

パソコン側のWindows Mobileデバイスセンター画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1. パソコン側のWindows Mobileデバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「コンテンツの同期の設定の変更」の順に開く

2. 同期の設定 ＞「保存」をクリック



チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。



補足

- Windows Mobileデバイスセンターの詳細な使用方法については、パソコン側のWindows Mobileデバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

Windows Mobileデバイスセンターで情報を同期する

USBケーブルを接続して同期する

同期の設定を行った後、USBケーブルを使用してパソコンと本端末を接続すると、情報を同期することができます。

1. **付属のUSBケーブルを使用して､パソコンと本端末を接続する**

自動的に情報の同期が開始されます。

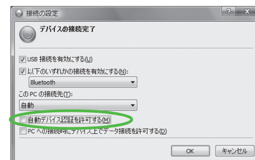
同期の設定を行っていない場合は、同期セットアップウィザードが表示されます（P.7-10）。

自動的に同期を開始しないようにするには

USBケーブルを使用して本端末とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1. **パソコン側のWindows Mobileデバイスセンターのホーム画面で「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」の順に開く**

2. **「自動デバイス認証を許可する」のチェックを外す＞「OK」をクリック**

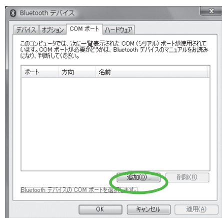


Bluetooth®で同期する

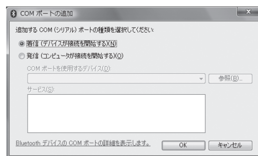
Bluetooth®を利用して、情報やデータを同期することができます。
● Bluetooth®による本端末とパソコンとの通信設定（ペアリング）については、P.9-6を参照してください。

パソコン側のBluetooth®の設定にCOMポートを追加する

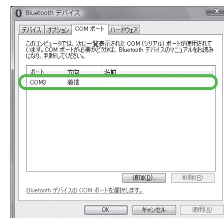
1. パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く
2. 「COMポート」タブを選択 ＞「追加」をクリック



3. 「着信（デバイスが接続を開始する）」を選択 ＞「OK」をクリック

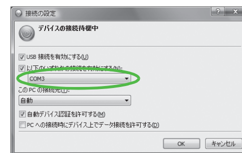


4. 追加されたCOMポートを確認



パソコン側のWindows MobileデバイスセンターでCOMポートの接続を有効にする

1. パソコン側のWindows Mobileデバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」の順に開く
2. 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックを付ける ＞ プルダウンメニューから「パソコン側のBluetooth®の設定にCOMポートを追加する」（P.7-13）で追加したCOMポートを選択 ＞「OK」をクリック

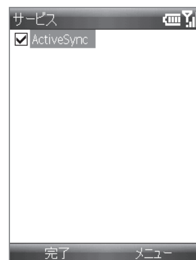


本端末側のBluetooth®の設定で、パソコン側のサービスを選択する

1. スタート > 設定 > 接続 > Bluetooth
2. Bluetooth



3. Bluetooth® デバイスの中から接続しているパソコンを選択 > 次へ
4. サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックを付ける



5. 完了


補足

• Bluetooth®で同期するための設定の詳細については、パソコン側のWindows Mobileデバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth®で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth®でパソコンと本端末を接続すると、情報を同期することができます。

● あらかじめ本端末とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります（P.9-6）。

1. スタート > ツール > ActiveSync
2. メニュー > Bluetoothから接続

   パソコン側のWindows Mobileデバイスセンターが起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルを本端末にコピーしたり、本端末からパソコン側にコピーしたりすることができます。

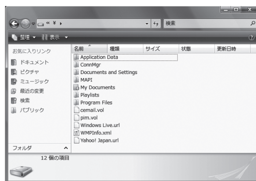
● あらかじめパソコン側でWindows Mobileデバイスセンターの設定を行っておく必要があります（P.7-10）。

1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続する**

2. **パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「Smart phone」を選択**

本端末およびメモリカードの中のファイルを直接操作することができるようになります。





3. **パソコン上のファイルや本端末のファイルのコピーを行う**

■パソコン上のファイルと本端末のメモリカード内のファイルをやりとりする場合

1. パソコン側で「マイコンピュータ」を開き、「モバイル デバイス」を選択
2. 「マイ Windows Mobile デバイス」を選択
3. 「Storage Card」を選択
4. ファイルのやりとりを行う

トラブルシューティング

■データ同期

症状	確認／処置
ActiveSync、Windows Mobileデバイスセンターのインストールができない	• パソコンにウィルスチェックソフトウェアやファイアウォールが動作していると、影響を受けることがあります。各ソフトウェアの動作状況を確認し、必要に応じて一時的に終了してください。 • ActiveSyncはWindows XPのみ、Windows MobileデバイスセンターはWindows Vistaのみにインストールできます。
本端末をUSB ケーブルでパソコンに接続しても認識されない	USB ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
ActiveSync、Windows Mobileデバイスセンターが自動的に起動しない	パソコン側のActiveSync、Windows Mobileデバイスセンターの接続設定を確認します（「接続の設定」）。 - 「USB接続を有効にする」にチェックを付けている必要があります。 - 「デバイスとの接続時にActiveSyncを開く」（ActiveSync）、「自動デバイス認証を許可する」（Windows Mobileデバイスセンター）にチェックを付けていないと、自動的に起動しません。
本端末とデータが同期されない	• パソコンで他のアプリケーションを使用している場合は終了してください。 • パソコンを再起動してください。

症状	確認／処置
Webブラウザのお気に入りが同期されない	• 同期されるお気に入りは、Internet Explorer®のお気に入りの中の「モバイルのお気に入り」フォルダの内容です。フォルダの内容を確認してください。 • 同期する情報として、パソコン側で「お気に入り」にチェックを付けている必要があります。 - ActiveSyncの場合は、「ツール」の「オプション」で設定できます。 - Windows Mobileデバイスセンターの場合は、「モバイルデバイスの設定」の「コンテンツの同期の設定の変更」で設定できます。 • 同期できるお気に入りは、ActiveSyncではInternet Explorer® 6.0以降、Windows MobileデバイスセンターではInternet Explorer® 7以降です。それ以前のバージョン、または他のブラウザのお気に入りは同期することができません。
本端末とUSBケーブルでパソコンに接続しても、本端末の中のファイルをパソコンから参照できない	パソコンにActiveSync、Windows Mobileデバイスセンターがインストールされ、データの同期に関する設定が行われていることを確認してください。パソコンから本端末のファイルを参照する機能は ActiveSync、Windows Mobileデバイスセンターの機能のため、USBケーブルで接続するだけでは利用することができません。

オフィスアプリケーション

Word Mobile

Word Mobileでは､パソコンで作成したWordファイルやテキストファイルを開くことができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

注意

- Word Mobileは、パソコン用Microsoft Wordとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

Word Mobileを起動する／ファイルを開く

1. スタート ＞ オフィス ＞ Word Mobile

マイ ドキュメントフォルダ配下のフォルダやファイルの一覧が表示されます。

2. 対象のファイルを反転表示 ＞ 選択

ファイルがプレビューモードで開きます。

■表示を拡大または縮小する場合

＞ ファイル表示中 ＞ 表示 ＞ 表示のしかたを選択

■編集モードに切り替える場合

＞ ファイル表示中 ＞ メニュー ＞ 編集

編集モードでは、文字を入力したり書式を変更したりできます。

ファイルを閉じる／保存する

1. ファイル表示中 ＞ メニュー ＞ ファイルを閉じる

編集モードに切り替えて編集を行った場合は、変更を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Word Mobileのメニュー

Word Mobileでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ファイルを閉じる	現在開いているファイルを閉じます。
編集※1	編集を行うモードに切り替えます。
プレビュー※2	表示のみを行うモードに切り替えます。
ファイル	ファイルに別の名前を付けて保存したり、メールに添付して送信したりします。
スクロール	スクロールの単位をページ単位または行単位から選択します。
検索	文字列を検索します。
書式※2	入力する文字の書式を設定します。
元に戻す※2	編集作業を1つ前の状態に戻します。
やり直す※2	「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。
バージョン情報	Word Mobileのバージョン情報を確認します。

※1 プレビューモードのときのみ表示されます。
※2 編集モードのときのみ表示されます。

補足

- 詳しい使用方法やヒントについては、マイクロソフト社の Webサイトを参照してください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

Excel Mobile

Excel Mobileでは、パソコンで作成したExcelファイルを開くことができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

注意

- Excel Mobileは、パソコン用Microsoft Excelとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

Excel Mobileを起動する／ファイルを開く

1. スタート > オフィス > Excel Mobile

マイ ドキュメントフォルダ配下のフォルダやファイルの一覧が表示されます。

2. 対象のファイルを反転表示 > 選択

ファイルがプレビューモードで開きます。

■シートを切り替える場合

> ファイル表示中 > 表示 > シート > シートを選択

■表示を拡大または縮小する場合

> ファイル表示中 > 表示 > ズーム > 拡大率を選択

■編集モードに切り替える場合

> ファイル表示中 > メニュー > 編集

編集モードでは、セルを選択したり、行や列を挿入したりできます。

ファイルを閉じる／保存する

1. ファイル表示中 > メニュー > ファイルを閉じる

編集モードに切り替えて編集を行った場合は、変更を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Excel Mobileのメニュー

Excel Mobileでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ファイルを閉じる	現在開いているファイルを閉じます。
編集※1	編集を行うモードに切り替えます。
プレビュー※2	表示のみを行うモードに切り替えます。
ファイル	ファイルに別の名前を付けて保存したり、メールに添付して送信したりします。
ジャンプ※1	指定したセルに移動します。
検索※1	文字列を検索します。
編集※2	セルの編集、コピー、貼り付けなどを行います。
挿入※2	行／列／セル（右方向にシフトまたは下方向にシフト）を挿入します。
選択※2	指定した範囲（セル／列／行／すべて）を選択します。
ツール※2	並べ替え、検索、ジャンプを行います。
元に戻す※2	編集作業を1つ前の状態に戻します。

項目	説明
やり直す※2	「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。
バージョン情報※1	Excel Mobileのバージョン情報を確認します。

※1 プレビューモードのときのみ表示されます。
※2 編集モードのときのみ表示されます。



補足

- 詳しい使用方法やヒントについては、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

PowerPoint® Mobile

PowerPoint® Mobileでは、パソコンで作成したPowerPoint®ファイルを開くことができます。ファイルは一度に１つしか開くことができません。

注意

- PowerPoint® Mobileは、パソコン用Microsoft PowerPoint®とは一部の機能が異なるため、スライドショーの表示がパソコン上とは異なる場合があります。

PowerPoint® Mobileを起動する／ファイルを開く

1. スタート > オフィス > PowerPoint Mobile

マイ ドキュメントフォルダ配下のフォルダやファイルの一覧が表示されます。

2. 対象のファイルを反転表示 > 選択

ファイルが開きます。

スライドショーを見る

1. ファイル表示中 > ナビゲーションボタン

ナビゲーションボタン（左上）：前のスライドに移動します。
ナビゲーションボタン（右下）：次のスライドに移動します。

■目的のスライドに移動する場合

> メニュー > スライドへジャンプ > スライドを選択

ファイルを閉じる

1. ファイル表示中 > 終了

開いているファイルを閉じます。

PowerPoint® Mobileのメニュー

PowerPoint® Mobileでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
次へ	次のスライドに移動します。
前へ	前のスライドに移動します。
スライドへジャンプ	目的のスライドに直接移動します。
目的別 スライドショー	ファイルに保存されているカスタム設定でスライドショーを実行します。
拡大	表示しているスライドを拡大します。
オプション	スライドショーの再生に関する設定を行います。
リンクの表示	スライドにURLなどのリンクが存在する場合、そのリンク先を選択できるようにします。
名前を付けて保存	別の名前を付けて保存します。
バージョン情報	PowerPoint Mobile®のバージョン情報を確認します。

OneNote Mobile

OneNote Mobileでは、パソコンで作成したOneNoteファイルを開いたり、OneNoteファイルを新規に作成することができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。

注意

- OneNote Mobileは、パソコン用Microsoft OneNoteとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。
- 本端末とパソコンでOneNote ファイルをやりとりするには、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターによる同期が必要です。詳細はパソコンのOneNoteのヘルプを参照してください。

OneNote Mobileを起動する／作成する

1. スタート > オフィス > OneNote Mobile

OneNote Mobileが起動し、ファイル一覧が表示されます。

2. 新規作成または対象のファイルを選択

3. 内容を入力 > 完了

■ファイルを削除する場合

> 対象のファイルを反転表示 > メニュー > 削除 > はい

■ファイルの名前を変更する場合

> 対象のファイルを反転表示 > メニュー > 名前の変更 > 名前を入力 > 完了

■条件を指定して表示する場合

> メニュー > オプション > 項目を選択

■バージョン情報を確認する場合

> メニュー > バージョン情報

OneNote Mobileのメニュー

OneNote Mobileでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
元に戻す	編集作業を1つ前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。
書式	入力する文字の書式を設定します。
リスト	箇条書きの書式を設定します。
画像撮影	カメラで静止画を撮影して挿入します。
画像の挿入	マイピクチャフォルダに保存されている静止画を挿入します。
サウンドの挿入	ボイスメモを録音して挿入します。


補足

- 詳しい使用方法やヒントについては、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

Adobe Reader LE

Adobe Reader LEでは、PDFファイルを開くことができます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

注意

- Adobe Reader LEは、パソコン用Adobe Readerとは一部の機能が異なるため、PDFファイルの表示がパソコン上とは異なる場合があります。

Adobe Reader LEを起動する／ファイルを開く

1. スタート > オフィス > Adobe Reader LE

最近開いたファイル一覧が表示されます。
はじめてAdobe Reader LEを起動したときは、マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されます。

2. 対象のファイルを選択

ファイルが開きます。

■最近開いたファイル一覧に対象のファイルが存在しない場合

> 最近開いたファイル一覧表示中 > メニュー > ファイル参照

マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されますので、対象のファイルを選択してください。

■ファイルを開いているときに異なるファイルを開く場合

> ファイル表示中 > 開く > ファイルを選択

現在開いているファイルを閉じ、選択したファイルを開きます。

Adobe Reader LEを終了する

1. ファイル表示中 > メニュー > 終了

ファイルを閉じるとともに、Adobe Reader LEを終了します。

Adobe Reader LEのメニュー

Adobe Reader LEでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>ズーム</td><td colspan="2">表示を拡大、縮小します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">表示</td><td colspan="2">以下の項目から選択します。</td></tr>
<tr><td>右回転</td><td rowspan="2">表示を右回転または左回転します。</td></tr>
<tr><td>左回転</td></tr>
<tr><td>単一ページ</td><td rowspan="2">ページレイアウトを単一ページまたは連続ページから選択します。</td></tr>
<tr><td>連続ページ</td></tr>
<tr><td>検索</td><td colspan="2">文字列を検索します。</td></tr>
<tr><td>移動</td><td colspan="2">指定したページに移動します。</td></tr>
<tr><td>しおり</td><td colspan="2">PDFファイルのしおり一覧が表示されます。しおりを反転表示 > 選択すると、そのしおりが設定されている箇所（ページ）に移動します。</td></tr>
<tr><td>詳細</td><td colspan="2">PDFファイルの詳細情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>バージョン情報</td><td colspan="2">Adobe Reader LEのバージョン情報を確認します。</td></tr>
<tr><td>終了</td><td colspan="2">Adobe Reader LEを終了します。</td></tr>
</table>

ダイヤルボタン／キーボードを使って表示を変更する

各ダイヤルボタンおよびキーボードに割り当てられた機能は以下のとおりです。

キー	説明	キー	説明
1	ズームイン	6	次のページに移動
2	全体表示	7	文字列の検索
3	ズームアウト	8	左に回転
4	前のページに移動	9	右に回転
5	―	0	―



補足

- 詳しい使用方法やヒントについては、Adobe社のWebサイトを参照してください。
  http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readerforppc.html

外部接続／通信

Comm Manager

電話、ワイヤレスLAN、Bluetooth®通信などの通信機能のオン／オフを切り替えることができます。

1. スタート > ツール > Comm Manager

2. 通信機能を選んで決定ボタンを押す



決定ボタンを押すたびにオン／オフが切り替わります。

フライトモード

電話、Bluetooth®、ワイヤレスLANなどの電波を発する機能のオン／オフを切り替えます。なお、航空機内でのご使用については乗務員の指示に従ってください。

通話

電話機能および3Gパケット通信のオン／オフを切り替えます。インターネット接続をワイヤレスLANで行う場合はオフでご利用ください。

Bluetooth

Bluetooth®通信機能のオン／オフを切り替えます。

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN（無線LAN）通信機能のオン／オフを切り替えます。

Microsoft Direct Push

Exchange Serverによるプッシュメール受信のオン／オフを切り替えます。

データ接続

パケット通信中にオフにして、通信を切断します（ここでオンにすることはできません）。



補足

- Comm Managerボタン（　）を押してもComm Managerを起動できます。

ネットワークの設定

本端末は3Gパケット通信を利用したインターネット接続が設定されています。特に設定を変更しない限り、3Gパケット通信経由でインターネットに接続します。



補足

• ワイヤレス LAN など、他の通信機能でインターネットに接続するには、Comm Managerで**通話**をオフにします。

ワイヤレスLAN（無線LAN）の設定

ワイヤレスLAN通信機能によって、自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレスLANサービス、社内のアクセスポイントなどに接続することができます。

● ワイヤレスLAN通信機能を使用する前に、「Bluetooth®／ワイヤレスLAN（無線LAN）機器に関するご注意」（P.xxiii）をよくお読みください。

ワイヤレスLANの設定の準備

● スタート ＞ ツール ＞ Comm Manager ＞ ワイヤレスLANを選んで決定ボタンを押し、ワイヤレスLAN通信機能をオンにします。

● ワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）、データ暗号化の形式、ネットワークキーを事前に確認しておきます。



補足

• アクセスポイントに関する情報（データ暗号化の形式、ネットワークキーなど）は、各アクセスポイントによって異なります。これらの情報を入手できない場合は、ワイヤレスLANで接続することはできません。
• 社内ネットワークに接続する場合は、設定方法を社内システム管理者にご確認ください。

アクセスポイントを設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続 ＞ ワイヤレスLANの設定 ＞ Wi-Fi

アクセスポイントの一覧画面が表示されます。
接続したいアクセスポイントが表示されない場合は、この後の「アクセスポイントを追加／編集する」の操作で手動登録できます。

2. 対象のアクセスポイントを反転表示 ＞ 接続

■アクセスポイントを削除する場合

＞ 対象のアクセスポイントを反転表示 ＞ メニュー ＞ 削除 ＞ はい

アクセスポイントを追加／編集する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続 ＞ ワイヤレスLANの設定 ＞ Wi-Fi

2. 追加

既存のアクセスポイントを編集する場合は、対象のアクセスポイントを反転表示し、メニュー ＞ 編集を選択して操作4へ進んでください。

3. ネットワーク名（SSID）を入力

登録したいアクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力します。

4. ネットワークの種類を選択

インターネット：
　インターネットに接続するときに選択します。
プライベート／社内ネットワーク：
　社内ネットワークに接続するときに選択します。
ネットワーク名を配信しないアクセスポイントの場合は、「これは非表示のネットワークです」にチェックを付けます。
アクセスポイントを使用せず直接パソコンなどのワイヤレスLAN対応機器と接続する場合（アドホック接続）は、「これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です」にチェックを付けます。特に指定がなければチェックを外したままにしてください。

5. 次へ

ネットワークキーの設定画面が表示されます。

6. アクセスポイントの認証形式を選択

特に指定がない場合はオープンを選択します。

7. アクセスポイントのデータ暗号化の形式を無効／WEP／TKIP／AESから選択

特に指定がない場合は無効を選択します。

8. 自動的に提供されるキーを使用するかどうかを設定

キーが自動的に提供される場合は、「自動的に提供されるキーを使用する」にチェックを付けます。
特に指定がない場合はチェックを外して、「ネットワークキー」欄にアクセスポイントのネットワークキーを入力します。

9. キーインデックスの設定

データ暗号化のWEPのためのキーインデックスを設定します。最大4つまでのネットワークキーをキーインデックスによって切り替えることができます。

10. 次へ

IEEE 802.1xの設定画面が表示されます。
操作9までの設定によっては、次へが表示されず、完了が表示されます。その場合は、操作13へ進んでください。

11. IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用するかどうかを設定

アクセスポイントがこの認証方式に対応している場合、「IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用」にチェックを付けます。
特に指定がない場合はチェックを外します。

12. EAPの種類をスマートカードまたは証明書／PEAPから選択

認証方法を設定します。

13. 完了

追加／編集したアクセスポイントの接続情報が保存され、アクセスポイントの一覧画面に戻ります。

アクセスポイントの接続状態を確認する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続 ＞ ワイヤレスLANの設定 ＞ 接続状態

その他のワイヤレスLANの設定

その他のワイヤレスLANの設定は以下のとおりです。

・LEAP：LEAP認証方式を使用するアクセスポイントのための設定
・Enroll：デジタル証明書（Certificate Enrollment Control）を使用する場合に設定
・省電力モード：省電力のための設定

接続できないとき

接続できないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。特に市販のアクセスポイント機器や公衆ワイヤレスLANサービスでは、認証、データ暗号化、ネットワークキーの設定が誤っていると接続できません。
それでも接続できない場合は、以下のように設定し、再度接続状態を確認してください。

・「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックを外す
・「IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用」のチェックを外す

その他の設定

● ネットワークへの接続にプロキシサーバーを使用する場合には、プロキシの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。
● ネットワークへの接続にVPNを使用する場合には、VPNの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

Bluetooth®

Bluetooth®とは、無線を利用して約10m以内にあるBluetooth®対応機器とワイヤレス接続するための通信機能です。

● Bluetooth® 通信機能を使用する前に、「Bluetooth® ／ワイヤレスLAN（無線LAN）機器に関するご注意」（P.xxiii）をよくお読みください。

Bluetooth®の設定

Bluetooth®通信機能をオンにする

1. スタート > ツール > Comm Manager
2. Bluetoothを選んで決定ボタンを押す

本端末を検出可能にする

1. スタート > 設定 > 接続 > Bluetooth
2. Bluetooth
3. メニュー > 検出可能にする

注意

• Bluetooth®通信をする場合は、ディスプレイの画面が表示されている必要があります（P.14-5）。

ペアリング

ペアリングとは、Bluetooth®対応機器どうしの無線接続の設定をすることです。一度設定すると、これらの機器は次回からは自動的に接続されるようになります。

● ペアリングするためには、同じパスコードを双方のBluetooth®対応機器で入力する必要があります。

パソコンとのペアリング

パソコン側の設定

1. 使用するパソコン上で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く
2. 画面の指示に従って、設定を行う

本端末側の設定

1. パソコンからペアリングのリクエストを受信 > はい
2. パソコンの画面に表示されているパスコードを本端末に入力 > 次へ
3. 接続の完了 > OK
4. パソコンから提供されるサービスの中から、利用するサービスにチェックを付ける

ハンズフリーヘッドセットとのペアリング

あらかじめハンズフリーヘッドセットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

1. スタート > 設定 > 接続 > Bluetooth
2. Bluetooth
3. 新しいデバイスの追加

   デバイスの検索が行われます。
4. 接続するハンズフリーヘッドセットを反転表示 > 次へ
5. 固有のパスコードを入力 > 次へ

   固有のパスコードについてはハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。
6. 提供されるサービスとして「ハンズフリー」にチェックを付ける



補足

- ハンズフリーヘッドセットがA2DP規格に対応していると、ステレオ音声で聞くことができます。

その他の設定

デバイス名の変更

1. スタート > 設定 > 接続 > Bluetooth
2. セキュリティ
3. デバイス名の入力

   OBEX認証（パスキー）を必要にするときは、「OBEX認証（パスキー）が必要です」にチェックを付けます。
4. 完了

データ管理

ファイルエクスプローラ

ファイルエクスプローラを起動

1. スタート > ファイルエクスプローラ

ファイルエクスプローラ画面が表示され、フォルダとファイルが一覧表示されます。





補足

- ファイルのアイコンは、音楽ファイルや画像ファイルなど、ファイルの種類により異なります。

メモリカードのファイル操作

メモリカード内のフォルダやファイルを操作します。

1. スタート > ファイルエクスプローラ

2. メニュー > メモリカード

メモリカード内のフォルダやファイルが表示されます。

3. 表示されているフォルダやファイルを操作

■操作する対象を端末内に変更する場合

> メニュー > マイデバイス

端末内のフォルダやファイルが表示されます。

マイ ドキュメントのフォルダの構成について

フォルダ	説明
Notes※	ボイスメモで録音したファイルが保存されます。
テンプレート	フレーム付きの静止画を撮影するときのフレームのテンプレートが保存されています。
マイ ピクチャ	撮影した画像などが保存されます。
マイ ビデオ	撮影した動画などが保存されます。
マイメモ※	クイックメモで作成したファイルが保存されます。
着信音	電話の着信音に設定したいファイルを保存します。

※ お買い上げ時には存在しませんが、対象のファイルを保存するときに自動的にフォルダが作成されます。

注意

- マイデバイス（端末内）のフォルダ構成は以下のようになっています。ただし、アプリケーションをインストールした場合や、各アプリケーションの使用状態などにより、フォルダが追加されたり、構成が変更されます。なお、「★」の付いているフォルダはアプリケーションやシステムが使用するフォルダですので、移動や削除などの操作はしないでください。

マイデバイス
- Application Data ★
- ConnMgr ★
- Documents and Settings ★
- MAPI ★
- Program Files ★
- Temp ★
- Windows ★
- マイ ドキュメント
- メモリカード※

※ メモリカードを取り付けているときのみ表示されます。

ファイルエクスプローラのメニュー

ファイルエクスプローラでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目		説明
送信		ファイルを添付したメールを作成します（P.10-5）。
ビーム		ファイルをBluetooth®通信で他のデバイスに転送します（P.10-5）。
編集		以下の操作から選択します。
	切り取り	ファイルやフォルダをコピー（P.10-4）したり移動（P.10-4）したりします。
	コピー	
	貼り付け	
	削除	ファイルやフォルダを削除します。
	名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します（P.10-5）。
	新しいフォルダ	新しいフォルダを作成します（P.10-5）。
プロパティ		フォルダやファイルの名前、種類、サイズ、作成日時などを確認します。
表示		表示形式をアイコン表示またはリスト表示から選択します（P.10-2）。
並べ替え		指定した条件でファイルを並べ替えます。
マイデバイス		ファイルエクスプローラで操作する対象を、マイデバイス（端末内）にします（P.10-2）。
メモリカード		ファイルエクスプローラで操作する対象を、メモリカードにします（P.10-2）。
My Documents		ファイルエクスプローラで操作する対象を、マイ ドキュメントフォルダにします。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルなど、一部のフォルダやファイルは削除できません。
- 一度削除したファイルは、元に戻すことができません。

ファイル／フォルダのコピー

ファイルやフォルダを別のフォルダにコピーすることができます。

1. スタート > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダやファイルを反転表示
3. メニュー > 編集 > コピー
4. コピー先のフォルダを開く
5. メニュー > 編集 > 貼り付け

   コピーしたフォルダやファイルが貼り付けられます。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルのコピーはしないでください。

補足

- フォルダをコピーした場合、フォルダ内のファイルがすべてコピーされます。

ファイル／フォルダの移動

ファイルやフォルダを別のフォルダに移動することができます。

1. スタート > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダやファイルを反転表示
3. メニュー > 編集 > 切り取り
4. 移動先のフォルダを開く
5. メニュー > 編集 > 貼り付け

   切り取ったフォルダやファイルが貼り付けられます。
   移動元のフォルダまたはファイルは削除されます。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの移動はしないでください。

補足

- フォルダを移動した場合、フォルダ内のファイルがすべて移動されます。

ファイル／フォルダの名前を変更する

1. スタート ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダやファイルを反転表示
3. メニュー ＞ 編集 ＞ 名前の変更
4. 名前の入力

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの名前は変更しないでください。

新しいフォルダを作成する

現在のフォルダの配下に新しいフォルダを作成します。

1. スタート ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. メニュー ＞ 編集 ＞ 新しいフォルダ
4. フォルダ名の入力

ファイルエクスプローラの便利な使いかた

ファイルをメールで送信する

ファイルをインターネットメールに添付して送信することができます。

1. スタート ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを反転表示
4. メニュー ＞ 送信
5. インターネットメールのアカウントを選択
6. 宛先や件名、本文を入力しメール送信

   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-20）を参照してください。

ファイルをBluetooth®で転送する

ファイルをBluetooth®通信で他のデバイスに転送することができます。

1. スタート ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを反転表示

4. メニュー > ビーム

送信先の検索がはじまります。
以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

Word/Excel/PowerPointファイルを開く

ファイルエクスプローラからWord、Excel、PowerPointファイルを開くことができます。

1. スタート > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを選択

Wordファイルを選択した場合は、Word Mobileが起動します。
Excelファイルを選択した場合は、Excel Mobileが起動します。
PowerPointファイルを選択した場合は、PowerPoint® Mobileが起動します。

静止画／動画／音楽ファイルを開く

ファイルエクスプローラから静止画、動画、音楽ファイルを開くことができます。

1. スタート > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを選択
3. 対象のファイルを選択

静止画ファイルを選択した場合は、ピクチャビューアで表示されます。
動画、音楽ファイルを選択した場合は、Windows Media® Player Mobileで再生されます。

圧縮ファイルを開く

ファイルエクスプローラからZIP形式で圧縮されているファイルを開くことができます。

1. スタート > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. zip形式の圧縮ファイルを選択

圧縮されているファイルが一覧で表示されます。

4. 対象のファイルを選択

選択したファイルに応じたアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。



補足

- 各アプリケーションで開いたファイルは名前を付けて保存することができます。ただし、保存する場所は以下のフォルダに固定されています。
  マイデバイス/ApplicationData/Volatile/zipview

その他のファイルを開く

ファイルエクスプローラから以下のファイルを開くことができます。
・ボイスメモ
・フレーム
・クイックメモ

1. スタート > ファイルエクスプローラ

2. 対象のフォルダを開く

3. 対象のファイルを選択

ボイスメモファイルを選択した場合は、Windows Media® Player Mobileで再生されます。

フレームファイルを選択した場合は、ピクチャビューアで表示されます。

クイックメモファイルを選択した場合は、Word Mobileが起動します。

メモリカードの利用

本端末はメモリカード（microSD™/microSDHC™カード）に対応しています。ご利用にあたっては別途お買い求めください。

● 本端末は最大8Gバイトまでのメモリカードに対応しています。ただし、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。
● 本端末ではメモリカードをフォーマットできません。

注意

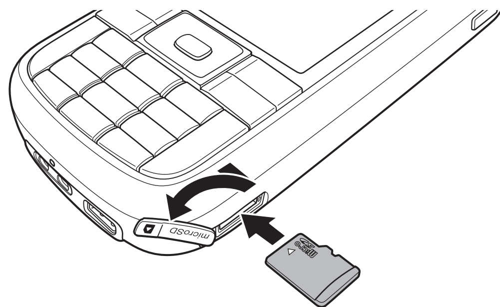
• メモリカードの登録内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
• メモリカードにアクセスしているときは、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データが破損したり、メモリカードが使えなくなる場合があります。

メモリカードを取り付ける／取り外す

メモリカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切った状態で行ってください。

■メモリカードの取り付け

1. メモリカードスロットのキャップを開ける

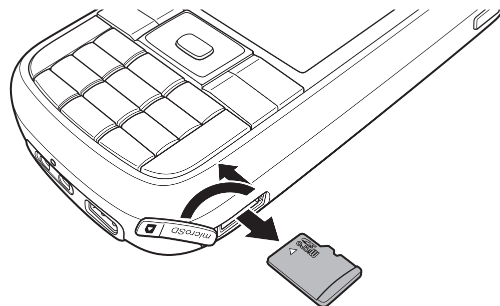


2. 端子面を下にしてメモリカードをメモリカードスロットに挿入し、ロックされるまで押し込む
3. メモリカードスロットのキャップを閉じる

■メモリカードの取り外し

1. メモリカードスロットのキャップを開ける
2. メモリカードスロットにメモリカードを軽く押し込む

   メモリカードスロットからメモリカードが出てきます。
3. メモリカードをゆっくり取り出す



4. メモリカードスロットのキャップを閉じる

カメラ

静止画／動画を撮影する

カメラをご使用になる前に

- 撮影した静止画／動画は、マイ ピクチャフォルダ／マイ ビデオフォルダに保存されます（P.10-2）。また、メモリカードに保存することもできます。

カメラご利用時の注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでふいてください。
- 撮影するときは、本端末をしっかり持ってください。手ぶれがあると撮影した静止画／動画にぶれが生じます。
- 本端末ではバーコード（QRコード／JANコード）を読み取ることはできません。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。

静止画／動画のファイル形式

静止画／動画のファイル形式は以下のとおりです。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	JPG
動画	MPEG-4	mp4
	H.263 baseline	3gp

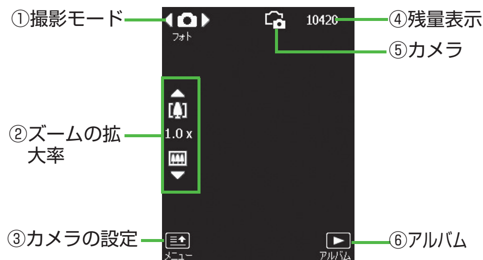
撮影モード（キャプチャモード）について

撮影する目的に応じて、撮影モード（キャプチャモード）を切り替えて撮影できます。

- 撮影モードはナビゲーションボタン（左右）で変更できます。

アイコン	撮影モード	説明
	フォト	標準的な静止画の撮影（P.11-7）
	ビデオ	動画の撮影（音声あり／なし）（P.11-7）
MMS	S!メールビデオ	S!メールで送信する動画の撮影
	連絡先ピクチャ	連絡先に設定する静止画の撮影
	ピクチャのテーマ	フレームを付けた静止画の撮影（P.11-9）
	パノラマ	複数枚の静止画をつなげて1枚のパノラマ写真を作成（P.11-9）
	スポーツ	連続写真を撮影（P.11-10）

カメラの撮影画面の見かた



①撮影モード（P.11-2）

：フォト

：ビデオ

：S! メールビデオ

：連絡先ピクチャ

：ピクチャのテーマ

：パノラマ

：スポーツ

②ズームの拡大率（P.11-10）

ナビゲーションボタン（上下）でズームを調整（解像度が「2M」のときはズームできません）

③カメラの設定（P.11-4）

メニューを押すとカメラの設定メニューを表示

④残量表示

静止画撮影時は撮影可能な枚数
動画撮影時は撮影可能な時間

⑤カメラ（P.11-4）

使用しているカメラを表示
表示なし：外側カメラ

：内側カメラ（正像）

：内側カメラ（鏡像）

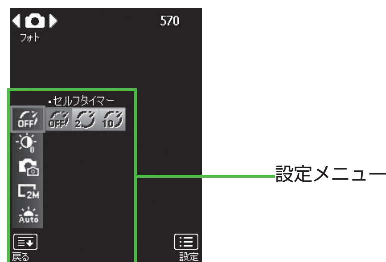
⑥アルバム

アルバムを押すと、保存されている静止画の一覧画面を表示

カメラの設定メニューについて

1. **カメラの撮影画面 > メニュー**

カメラの設定メニューが表示されます。



2. **ナビゲーションボタン（上下）で以下のメニューを選び、ナビゲーションボタン（左右）で項目を設定**

メニューの設定を終了する場合は、戻るを押します。

アイコン	項目	説明
	セルフタイマー※1	セルフタイマーの時間を設定します。 • （オフ） • （2秒） • （10秒）
	テンプレート※2	フレームを付けて撮影する際のテンプレートを選択します。
	明るさ	画像の明るさを-2から+2の範囲で調整します。
	カメラ※3	使用するカメラを設定します。 • （外側カメラ） • （内側カメラ（正像）） • （内側カメラ（鏡像））
	解像度※4	静止画／動画のサイズを設定します。 **静止画撮影時** • （小）：160×120 • （中）：320×240 （撮影モードが連絡先ピクチャのときは、240×320） • （大）：640×480 （撮影モードが連絡先ピクチャのときは、480×640） • （1M）：1280×960 • （2M）：1600×1200 **動画撮影時** • （小）：128×96 • （中）：176×144 • （大）：320×240 • （CIF）：352×288

アイコン	項目	説明
	ホワイトバランス	光源に合わせて設定すると、撮影するときの光源による色調の不自然さを解消できます。 ・（自動）：自動的に補正 ・（日光）：日中の太陽光での撮影 ・（夜景）：夜間での撮影 ・（電球）：電球の下での撮影 ・（蛍光灯）：蛍光灯の下での撮影

※１ 撮影モードが「フォト」または「連絡先ピクチャ」のときのみ表示されます。
※２ 撮影モードが「ピクチャのテーマ」のときのみ表示されます。
※３ 撮影モードが「パノラマ」および「スポーツ」以外のみ表示されます。
※４ 撮影モードによって選択できる項目は異なります。

3. 設定を押して詳細メニューを設定

アイコン	項目	説明	
	キャプチャ設定	テンプレート※１	フレームを付けて撮影する際のテンプレートをデフォルト-テンプレート／Birthday／Chef／News Paperから設定します。
		方向※２	パノラマの方向（静止画をつなげる方向）を設定します。
		連結枚数※２	連続する写真の枚数を設定します。
		連写速度※３	連写する速度を遅く／中くらい／速くから設定します。
		連写回数※３	連写する回数を３回または５回から設定します。
		効果	静止画／動画の特殊効果をなし／グレースケール／セピア／クール／ネガから設定します。
		画質※４	静止画の画質をベーシック／ノーマル／ファイン／スーパーファインから設定します。
		測定モード	明るさの測定を中心エリアまたは平均から設定します。
		タイムスタンプ※５	静止画に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
		保存先	静止画／動画の保存先を本体メモリまたはメモリカードから設定します。

アイコン	項目	説明	
(icon)	詳細設定	キャプチャフォーマット※6	静止画／動画を保存するときのデータ形式を設定します。 ・静止画撮影時：JPEG ・動画撮影時：MPEG4／H.263
		バックライトを維持	バックライトの動作をオン／オフから設定します。
		レビュー時間	撮影後に、保存／利用メニューを表示する時間を設定します（何も操作せず設定した時間が経過すると、自動的に撮影画面に戻ります）。
		音声録音※7	動画撮影時に音声も録音するかどうかを設定します。
		ちらつき調整	蛍光灯による画面のちらつきの補正について自動／50Hz／60Hzから設定します。
		保存ファイル名	静止画／動画の保存先を本体メモリにしている場合、保存するときのファイル名の規則をデフォルト／日付／日付/時刻から設定します。
		カウンター	カウンターをリセットします。

アイコン	項目	説明	
(icon)	詳細設定	録音制限※8	動画の録画制限サイズを250KB／1MB／2MB／10秒／30秒／1分／3分／制限なしから設定します。
		通知を表示※9	連絡先ピクチャの撮影後に、連絡先設定の確認メッセージを表示するかどうかを設定します。
		テーマフォルダ※1	フレームのテンプレートのフォルダを本体メモリ／本体+カードから設定します。
		イメージプロパティ	画面の表示画質（コントラスト／色の鮮やかさ／色合い／シャープネス）について設定します。
		バージョン情報	カメラのソフトウェアのバージョン情報を表示します。

※1 撮影モードが「ピクチャのテーマ」のときのみ表示されます。
※2 撮影モードが「パノラマ」のときのみ表示されます。
※3 撮影モードが「スポーツ」のときのみ表示されます。
※4 静止画撮影時のみ表示されます。
※5 撮影モードが「フォト」または「スポーツ」のときのみ表示されます。
※6 撮影モードによって選択できる項目は異なります。
※7 動画撮影時のみ表示されます。
※8 撮影モードが「ビデオ」のときのみ表示されます。
※9 撮影モードが「連絡先ピクチャ」のときのみ表示されます。

4. 戻る

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1. **カメラボタン（ ）**

撮影モード「フォト」で、静止画撮影画面が表示されます。

2. **カメラを被写体に向ける > 決定ボタン**

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

3. **撮影した静止画を保存／利用する**

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-8）を参照してください。



補足

- スタート > エンターテインメント > カメラを選択しても静止画撮影画面が表示されます。
- カメラを起動したままで、約 2 分間カメラを使用しないと、スリープモードに入ります。

動画を撮影する

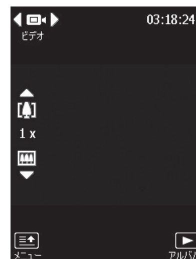
1. **カメラボタン（ ）**

2. **ナビゲーションボタン（右）**

動画撮影画面が表示されます。

3. **カメラを被写体に向ける > 決定ボタン**

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。



4. **決定ボタン**

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

5. **撮影した動画を保存／利用する**

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-8）を参照してください。



補足

- スタート > エンターテインメント > ビデオレコーダを選択しても動画撮影画面が表示されます。
- カメラを起動したままで、約 2 分間カメラを使用しないと、スリープモードに入ります。

撮影した静止画や動画を保存／利用する

静止画／動画を撮影後に、撮影した静止画／動画の利用方法を選択できます。

- 静止画／動画は、撮影後に自動的に保存されます（保存にはしばらく時間がかかる場合があり、その間はボタン操作ができません）。保存された静止画／動画を削除する場合は、保存／利用メニューから破棄を選択してください。

1. **静止画／動画の撮影後に保存／利用メニューが表示される**



2. **以下の項目から選択**

アイコン	項目	説明
	カメラ	撮影画面に戻ります。
	破棄	保存した静止画／動画を破棄します。
	メール送信※	静止画／動画をメールに添付して送信します。
	連絡先※	静止画を任意の連絡先に登録します。
	表示／再生	静止画の場合はピクチャビューアで表示、動画の場合はWindows Media® Player Mobileで再生します。表示／再生後、撮影画面に戻る場合は、戻るボタン（←）を押してください。

※ 撮影モードが「連絡先ピクチャ」の場合は、メール送信は表示されず連絡先が表示されます。それ以外の撮影モードの場合、連絡先は表示されません。

便利な撮影方法

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを利用して静止画を撮影することができます。

- 撮影モードが「フォト」または「連絡先ピクチャ」のときのみ利用できます。

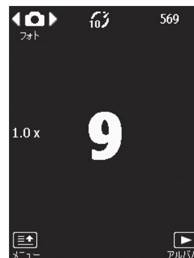
1. **静止画撮影画面 ＞ メニュー**

2. **ナビゲーションボタン（上下）で［OFF］を選択 ＞ ナビゲーションボタン（左右）でセルフタイマーの時間を選択 ＞ 決定ボタン ＞ 戻る**

セルフタイマーの時間はオフ／2秒／10秒から選択できます。セルフタイマーを利用しない場合は、オフに設定してください。

3. **決定ボタン**

カウントダウンがはじまり、セルフタイマーが動作します。
設定した時間を過ぎると、撮影した静止画が表示されます。



4. 撮影した静止画を保存／利用する

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-8）を参照してください。

フレームを付けて撮影する（ピクチャのテーマ）

フレームを付けて撮影することができます。

1. 🖼が表示されるまでナビゲーションボタン（左右）

フレームの付いた撮影画面が表示されます。フレームは、カメラの設定メニューの「テンプレート」で変更できます（P.11-4）。



2. 決定ボタン

フレーム撮影した静止画が表示されます。

3. 撮影した静止画を保存／利用する

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-8）を参照してください。

パノラマ写真を撮影する

横方向または縦方向に連続して撮影した複数枚の写真を自動的につなげて、１枚のパノラマ写真を作成することができます。

- パノラマ写真に関する設定については、「カメラの設定メニューについて」（P.11-4）の「方向」および「連結枚数」を参照してください。
- 内側カメラでは使用できません。

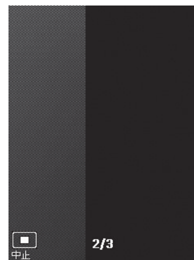
1. 🎞が表示されるまでナビゲーションボタン（左右）

パノラマ写真の撮影画面が表示されます。

2. 決定ボタン

１枚目の静止画が撮影されます。

ディスプレイの端に、撮影した静止画の端の部分が薄く残ります。これを次の写真で重ねるようにして撮影していくと、きれいにつながるようになります（薄く残る場所は方向の設定により異なります）。



3. 決定ボタン

２枚目の静止画が撮影されます。

以降は、連結枚数で設定した枚数だけ同様に撮影します。

4. 撮影したパノラマ写真を保存／利用する

自動的に合成されたパノラマ写真が表示され、保存／利用できます（P.11-8）。

連続写真を撮影する

一度のシャッターで、3枚または5枚の連続写真を撮影できます。

● 連続写真に関する設定については、「カメラの設定メニューについて」（P.11-4）の「連写速度」および「連写回数」を参照してください。

● 内側カメラでは使用できません。

1. が表示されるまでナビゲーションボタン（左右）

連続写真の撮影画面が表示されます。

2. 決定ボタン

連写回数で設定された回数だけ連続して撮影されます。連写の速度は、連写速度の設定に従います。



3. 撮影した静止画を保存／利用する

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-8）を参照してください。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調整することができます。

● ズームは最大8倍まで倍率を調節できますが、撮影モードや解像度、使用するカメラによって、利用できる倍率は以下のように異なります。

撮影モード		解像度	ズームの倍率
フォト	外側カメラ	小（160 × 120）	1倍～8倍
		中（320 × 240）	1倍～4倍
		大（640 × 480）	1倍～2倍
		1M（1280 × 960）	1倍～2倍
		2M（1600 × 1200）	ズームなし
	内側カメラ	小（160 × 120）	1倍～4倍
		中（320 × 240）	1倍～2倍
		大（640 × 480）	ズームなし
ビデオ／S!メールビデオ	外側カメラ	小（128 × 96）（4：3）	1倍～2倍
		中（176 × 144）（11：9）	1倍～2倍
		大（320 × 240）（4：3）	1倍～2倍
		CIF（352 × 288）（11：9）	1倍～2倍

撮影モード		解像度	ズームの倍率
ビデオ／S!メールビデオ	内側カメラ	小（128 × 96）（4：3）	1倍〜2倍
		中（176 × 144）（11：9）	1倍〜2倍
		大（320 × 240）（4：3）	ズームなし
		CIF（352 × 288）（11：9）	ズームなし
連絡先ピクチャ	外側カメラ	中（240 × 320）	1倍〜4倍
		大（480 × 640）	1倍〜2倍
	内側カメラ	中（240 × 320）	1倍〜2倍
ピクチャのテーマ	外側カメラ	テンプレートの解像度に依存	選択したテンプレートの解像度に応じた倍率
	内側カメラ		
パノラマ※	外側カメラ	中（320 × 240）	1倍〜4倍
		大（640 × 480）	1倍〜2倍
スポーツ※	外側カメラ	中（320 × 240）	1倍〜4倍
		大（640 × 480）	1倍〜2倍

※ 内側カメラは使用できません。

静止画／動画を利用する

静止画を表示する／動画を再生する

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ 画像とビデオ

マイ ドキュメントのマイ ピクチャフォルダ内の静止画の一覧画面が表示されます。

動画の一覧画面を表示する場合は、スタート ＞ エンターテインメント ＞ 画像とビデオ ＞ メニュー ＞ フォルダ ＞ マイデバイスを選択し、表示されたフォルダ一覧からマイ ドキュメント ＞ マイ ビデオを選択してください。

2. 対象の静止画／動画を選ぶ ＞ 表示または再生

静止画の場合は、ピクチャビューアで表示されます。

動画の場合は、Windows Media® Player Mobileで再生されます。

■マイ ピクチャ以外のフォルダ内のデータを表示する場合

＞ メニュー ＞ フォルダ ＞ マイデバイス ＞ 対象のフォルダを選択

■メモリカード内のデータを表示する場合

＞ メニュー ＞ フォルダ ＞ メモリカード

メモリカード内のマイ ドキュメントのマイ ピクチャフォルダ以外に保存されているデータ（カメラの保存先の設定（P.11-4）をメモリカードに設定して撮影した動画など）を表示／再生する場合は、ファイルエクスプローラから対象のデータを選択してください（P.10-2）。



補足

- ファイルエクスプローラ（P.10-2）で、マイ ピクチャフォルダまたはマイ ビデオフォルダ内を表示し、対象の静止画／動画を選択しても、静止画の表示／動画の再生を行うことができます。

静止画／動画をメールに添付して送信する

撮影した静止画などを添付したメールを作成します。

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ 画像とビデオ

2. 対象の静止画を選ぶ ＞ 表示

3. メニュー ＞ S! メール送信

4. 宛先、件名、本文を入力してメール送信

詳細については、「SMS／S! メールを作成する」（P.5-4）を参照してください。

■インターネットメールに添付する場合

＞ 画像とビデオ ＞ 対象の静止画を選ぶ ＞ メニュー ＞ 送信 ＞ インターネットメールのアカウントを選択

動画を添付する場合は、画像とビデオ ＞ メニュー ＞ フォルダ ＞ マイデバイスを選択し、表示されたフォルダ一覧からマイ ドキュメント ＞ マイ ビデオを選択してください。

静止画をホームの背景に設定する

撮影した静止画などをホームの背景に設定することができます。

1. スタート > エンターテインメント > 画像とビデオ
2. 対象の画像を選ぶ
3. 表示
4. メニュー > ホーム画面として使用
5. 透過の調整 > 完了

   静止画のサイズによっては、透過の調整を行う前に、表示領域の選択が必要になります。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

■静止画／動画の一覧画面

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>送信</td><td colspan="2">静止画／動画をインターネットメールで送信します（P.11-12）。</td></tr>
<tr><td>ビーム</td><td colspan="2">静止画／動画をBluetooth®通信で他のデバイスに転送します。</td></tr>
<tr><td>連絡先に保存</td><td colspan="2">連絡先の画像に静止画を設定します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">静止画／動画を削除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">編集</td><td colspan="2">以下の項目から選択します。</td></tr>
<tr><td>切り取り</td><td rowspan="3">ファイルやフォルダをコピーまたは移動します。</td></tr>
<tr><td>コピー</td></tr>
<tr><td>貼り付け</td></tr>
<tr><td>新しいフォルダ</td><td>新しいフォルダを作成します。</td></tr>
<tr><td>スライドショーの再生</td><td colspan="2">フォルダの中の静止画をスライドショーで再生します。</td></tr>
<tr><td>フォルダ</td><td colspan="2">閲覧するフォルダを変更します。</td></tr>
</table>

項目	説明	
オプション	以下の項目から選択します。	
	全般	静止画をメールに添付するときの画像サイズの設定や、静止画を回転するときの回転の方向を設定します。
	スライドショー	スライドショーを再生するときの設定を行います。

※ 静止画を選んでいるときのみ表示されます。

■ピクチャビューア画面

項目	説明	
ズーム	表示を拡大、縮小します。	
スライドショーの再生	フォルダの中の静止画をスライドショーで再生します。	
ホーム画面として使用	静止画をホームの背景に設定します（P.11-13）。	
画像のビーム	静止画をBluetooth®通信で他のデバイスに転送します。	
編集	静止画を編集（回転やトリミングなど）します。	
保存	連絡先の画像として登録したり、別の名前を付けて保存したりします。	
プロパティ	静止画の情報を表示します。	
オプション	以下の項目から選択します。	
	全般	静止画をメールに添付するときの画像サイズの設定や、静止画を回転するときの回転の方向を設定します。
	スライドショー	スライドショーを再生するときの設定を行います。
スペースに送信	静止画をWindows Live™の自分のフォトスペースにアップロードします。	
S!メール送信	静止画をS!メールで送信します（P.11-12）。	

エンタテイメント

オーディオプレーヤー

オーディオプレーヤーは、本体メモリ（マイ ドキュメントフォルダ、Musicフォルダ※）やメモリカード内の対応する音楽ファイル（楽曲）を自動的に整理して一覧表示します。楽曲を再生するときは、アーティストやアルバム、ジャンルなどのカテゴリから選択することができます。

※ パソコンのWindows Media® Playerのライブラリと同期（P.12-11）したときに自動的に作成されます。



補足

- パソコンから本体メモリやメモリカードにファイルをコピーする操作については、P.7-8、P.7-15を参照してください。

再生できるファイル形式

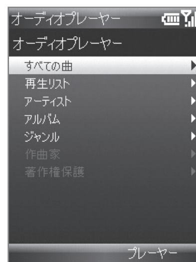
オーディオプレーヤーで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式	拡張子
AAC+、AAC	aac
MP3	mp3
WMA	wma

オーディオプレーヤーで楽曲を再生する

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ オーディオプレーヤー

オーディオプレーヤー画面が表示されます。



前回、オーディオプレーヤー再生画面で終了した場合は、前回再生していた楽曲のオーディオプレーヤー再生画面が表示されます。楽曲を選択する場合はライブラリを押してください。

2. カテゴリを選択

すべての曲：本体のメモリ、メモリカードの中のすべての楽曲が表示されます。
再生リスト：再生する順番に楽曲を登録したリストが一覧表示されます（P.12-5）。
アーティスト：アーティストごとに整理された楽曲一覧が表示されます。
アルバム：アルバムごとに整理された楽曲一覧が表示されます。
ジャンル：ジャンルごとに整理された楽曲一覧が表示されます。
作曲家：作曲家ごとに整理された楽曲一覧が表示されます。
著作権保護：著作権保護付きの楽曲が表示されます。

3. 楽曲を選択

オーディオプレーヤー再生画面が表示され、楽曲の再生がはじまります。

すべての曲以外のカテゴリを選択した場合、カテゴリ内でさらに対象の項目を選択してから楽曲を選択します。また、カテゴリ内でプレーヤーを押してもオーディオプレーヤー再生画面が表示されます。



補足

- オーディオプレーヤーを起動する際、本体メモリやメモリカードに音楽ファイルが1つもない場合は「タイトルが見つかりません。」というメッセージが表示されます。
- 該当する楽曲が1つも存在しないカテゴリを選択することはできません。
- 楽曲によってはジャンルやアルバムなどの情報を含んでいないものがあります。その場合、各カテゴリには表示されません。
- カテゴリを選択後、オーディオプレーヤー画面に戻る場合は、ナビゲーションボタン（左）を押してください。

オーディオプレーヤー再生画面の見かた



オーディオプレーヤー再生画面の操作について

ボタン	説明
決定ボタン（または2）	再生／一時停止
ナビゲーションボタン（左）	楽曲の先頭／前の楽曲
ナビゲーションボタン（右）	次の楽曲
ナビゲーションボタン（左）を1秒以上（または1）	スキップ戻し
ナビゲーションボタン（右）を1秒以上（または3）	スキップ送り
ナビゲーションボタン（上下）（または6、9）	音量調整 8で、ミュートに設定できます。
7	連続再生
4	ランダム再生

オーディオプレーヤー再生画面のメニュー

オーディオプレーヤー再生中には、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
プレイリストに追加	再生中の楽曲をプレイリストに追加します。
再生モード	連続再生、ランダム再生の設定を行います。
時間表示	経過時間表示／残り時間表示を切り替えます。
オーディオブースター	イヤホン接続時の音質を調整します（P.12-13）。
プロパティ	再生中の楽曲の情報を表示します。
着信音として設定する	再生中の楽曲を着信音として設定します（P.12-4）。
終了	オーディオプレーヤーを終了します。
バージョン情報	オーディオプレーヤーのバージョン情報を表示します。

楽曲を着信音に設定する

オーディオプレーヤーで再生中の楽曲を着信音に設定することができます。

1. 楽曲再生中 ＞ メニュー ＞ 着信音として設定する

着信音設定画面が表示されます。

2. 着信音への設定方法を選択

既定の着信音に設定：すぐに着信音として設定します。
着信音フォルダに保存する：後で着信音として設定するために、着信音フォルダに保存します。

3. OK ＞ 決定ボタン

楽曲の一部を着信音に設定するには

再生中の楽曲の一部を切り出して、着信音に設定することができます。

● 楽曲の一部を切り出すことができるのは、MP3形式の音楽ファイルのみです。

1. 楽曲再生中 ＞ メニュー ＞ 着信音として設定する

2. トリム

楽曲のトリム画面が表示されます。

3. 開始位置を設定



ナビゲーションボタン（上下）で開始マークを選び、ナビゲーションボタン（左右）で着信音の開始位置にマーカーを移動します。
再生／停止により、開始位置から終了位置までを再生／一時停止できます。

4. 終了位置の設定

開始位置と同様に、終了位置を設定します。

5. OK > はい

OKを選択すると、「音楽タイトルは削除されます。続行しますか?」というメッセージが表示されますが、元の音楽は変更されずに残りますので、はいを選択してください(切り出した楽曲には、元の楽曲と同じファイル名が付けられます)。
切り出した楽曲の着信音設定画面が表示されます。以降の操作については、「楽曲を着信音に設定する」(P.12-4)の操作2以降を参照してください。

プレイリストを使って再生する

プレイリスト(再生リスト)に楽曲を登録すると、お好みの楽曲をお好みの順番で再生することができます。

プレイリストを作成する

1. スタート > エンターテインメント > オーディオプレーヤー
2. 再生リスト
   再生リスト画面が表示されます。
3. メニュー > 新規作成
4. 再生リスト名を入力 > OK
   新規のプレイリストが作成されます。
5. 作成したプレイリストを反転表示 > 編集
6. メニュー > 追加
7. プレイリストに追加する楽曲にチェックを付ける
8. OK > OK > OK

プレイリストで音楽を再生する

1. 再生リスト画面
2. 対象のプレイリストを選択
   再生リスト楽曲画面が表示されます。
3. 楽曲を選択
   プレイリストの再生がはじまります。



補足

- メモリカード内の楽曲をプレイリストに登録している場合、メモリカードを取り外している状態でそのプレイリストを再生すると、メモリカード内の楽曲はスキップされます。

プレイリストを編集する

プレイリストに登録された楽曲を削除したり、再生の順番を変更したりします。

1. 再生リスト画面
2. 対象のプレイリストを反転表示 > 編集

3. 編集する楽曲を反転表示 > 決定ボタン

対象の楽曲に枠が付き、選ばれた状態になります。



同様の操作を繰り返すことにより、複数の楽曲を選ぶことができます。

4. メニューより項目を選択して編集

再生の順番を変更する場合は、切り取り後、貼付位置を指定して貼り付けを行います。

5. OK > OK

Windows Media® Player Mobileの再生リストについて

Windows Media® Player Mobileの再生リスト（P.12-10）は、自動的にオーディオプレーヤーのプレイリストに表示され、オーディオプレーヤーのプレイリストとして利用することができます。

● Windows Media® Player Mobileの再生リストには、「 」のアイコンが表示されます。



補足

- Windows Media® Player Mobileの再生リストをオーディオプレーヤーで編集することはできません。

プレイリストのメニュー

再生リスト画面や再生リスト楽曲画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

■再生リスト画面

項目	説明
プレーヤー	オーディオプレーヤー再生画面を表示します。
新規作成	プレイリストを新規作成します。
削除	プレイリストを削除します。
名前の変更	プレイリストの名前を変更します。
再生リストにコピー	プレイリスト内の楽曲を他のプレイリストにコピーします。

■再生リスト楽曲画面のメニュー

項目	説明
プレイリストに追加	反転表示されている楽曲を他のプレイリストに追加します。
着信音として設定する	反転表示されている楽曲を着信音に設定します（P.12-4）。
プレーヤー	オーディオプレーヤー再生画面を表示します。

Windows Media® Player Mobile

Windows Media® Player Mobileでは、本体メモリ、メモリカード内の対応する楽曲および動画を再生することができます。



補足

- パソコンから本体メモリやメモリカードにファイルをコピーする操作については、P.7-8、P.7-15を参照してください。

再生できるファイル形式

Windows Media® Player Mobileで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

■音楽ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Audio	wma
MP3	mp3
MIDI	mid、midi、rmi
AMR Narrow Band	amr
AMR Wide Band	awb
AAC	m4a、aac

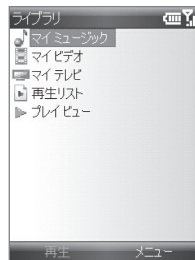
■動画ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
H.263	3gp、3g2
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v
Motion JPEG	avi

Windows Media® Player Mobileで楽曲や動画を再生する

1. スタート > エンターテインメント > Windows Media

ライブラリ画面が表示されます。



2. カテゴリを選択

マイ ミュージック：楽曲のカテゴリ（項目）が表示されます。
マイ ビデオ：動画のカテゴリ（項目）が表示されます。
マイ テレビ：本体メモリ、メモリカードの中のすべてのテレビ動画(Windows Media Centerで録画されたもの)が表示されます。
再生リスト：再生する順番に楽曲／動画を登録したリストが一覧表示されます（P.12-10）。
プレイ ビュー：楽曲／動画を再生する順番に登録した一時的なリストが表示されます（P.12-9）。

3. 項目を選択 > 楽曲／動画を選択

再生画面が表示され、楽曲／動画の再生がはじまります。
カテゴリにより項目を選択する回数は異なります。また、カテゴリ内で再生を押しても楽曲／動画の再生がはじまります。

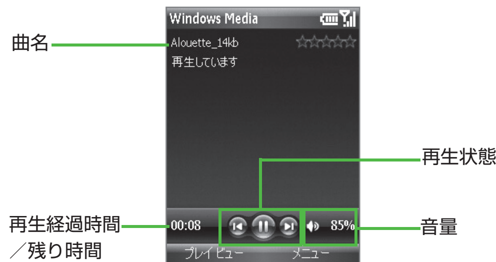
■メモリカード内の楽曲／動画を再生する場合

> ライブラリ画面 > メニュー > ライブラリ > メモリカード

補足

- 後から楽曲や動画が入ったメモリカードを挿入したり、本体メモリに楽曲や動画をコピーしたときなどは、ライブラリ画面でメニュー > ライブラリの更新を選択してください。本体メモリ、メモリカード内のすべての楽曲／動画が検索され、ライブラリが最新の状態に更新されます。

Windows Media® Player Mobile再生画面の見かた



Windows Media® Player Mobile再生画面の操作について

お買い上げ時は以下のようなボタンの割り当てに設定されています。

● Windows Media® Player Mobile再生画面でメニュー > オプション > ボタンを選択すると、各ボタンの割り当てを変更することができます。

ボタン	説明
決定ボタン	再生／一時停止
ナビゲーションボタン（左）	楽曲の先頭／前の音楽
ナビゲーションボタン（右）	次の音楽
ナビゲーションボタン（左）を1秒以上	スキップ戻し
ナビゲーションボタン（右）を1秒以上	スキップ送り
ナビゲーションボタン（上下）	音量調整

Windows Media® Player Mobile再生画面のメニュー

Windows Media® Player Mobile再生中には、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ライブラリ	ライブラリ画面を表示します。
再生／一時停止	楽曲／動画の再生、一時停止を行います。
停止	再生の停止を行います。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生、連続再生の設定を行います。
全画面表示	全画面で表示します。
オプション	各種設定を行います（P.12-9）。
プロパティ	楽曲／動画の情報を表示します。
バージョン情報	Windows Media® Player Mobileのバージョン情報を表示します。

■オプション設定について

Windows Media® Player Mobile再生画面のメニュー ＞ オプションでは、以下の項目を設定します。

項目	説明
再生	時間の表示形式や、他のプログラムとの競合などについて設定します。
ビデオ	動画再生時の画面について設定します。
ネットワーク	ネットワーク上の楽曲／動画を再生するための、ネットワークの接続速度やプロトコルを設定します。
ライブラリ	Windows Media® Player Mobileを起動したときに、ライブラリ画面を最初に表示するかどうかを設定します。
スキン	Windows Media® Player Mobileのスキンを選択します。
ボタン	楽曲／動画を操作するためのボタンの割り当てを変更します。

楽曲／動画を順番を決めて再生する

再生する順番に楽曲／動画をプレイ ビュー（再生待ちリスト）に登録しておくと、登録した順に再生することができます。

- プレイ ビューは一時的なリストのため、Windows Media® Player Mobileを終了すると、登録されている内容は消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

プレイ ビューに登録する

1. ライブラリ画面 ＞ カテゴリを選択
2. 項目を選択 ＞ 対象の楽曲／動画を反転表示
3. メニュー ＞ 再生待ちに追加

   プレイ ビューに登録されます。
   対象の楽曲／動画の数だけ同様の操作を繰り返します。

プレイ ビューから再生する

- 複数の楽曲／動画を連続して再生するためには、あらかじめWindows Media® Player Mobile再生画面のメニューなどで連続再生を「オン」に設定しておきます。

1. **ライブラリ画面 ＞ プレイ ビュー**

プレイ ビュー一覧画面が表示されます。

2. **楽曲／動画を選択**

楽曲／動画の再生がはじまります。

プレイ ビューのメニュー

プレイ ビュー一覧画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ライブラリ	ライブラリ画面が表示されます。
上へ	楽曲／動画の順番を上または下に移動します。
下へ	
再生リストから削除	プレイ ビューから削除します。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生、連続再生の設定を行います。
再生リストの保存	プレイ ビューを再生リストとして登録します。
プレイ ビューの消去	プレイ ビューの内容を消去します。
エラーの詳細	エラーの詳細について表示します。
プロパティ	楽曲／動画の情報を表示します。

再生リスト（プレイリスト）を使って再生する

再生リスト（プレイリスト）に楽曲／動画を登録すると、お好みの楽曲／動画をお好みの順番で再生することができます。

再生リストを作成する

ここでは、プレイ ビューから再生リストを作成する方法を説明します。

1. **あらかじめプレイ ビューに対象の楽曲／動画を登録**

詳細は「プレイ ビューに登録する」（P.12-9）を参照してください。

2. **プレイ ビュー一覧画面**

3. **メニュー ＞ 再生リストの保存**

4. **再生リスト名を入力 ＞ 終了**

プレイ ビューに登録されている内容が再生リストとして登録されます。

再生リストで楽曲／動画を再生する

1. **ライブラリ画面 ＞ 再生リスト**

再生リスト画面が表示されます。

2. **対象の再生リストを選択**

3. **楽曲／動画を選択**

再生リストの再生がはじまります。

ネットワーク上のファイルを再生する

URLを指定することにより、ネットワーク上の楽曲／動画ファイルを再生することができます。

1. ライブラリ画面
2. メニュー > URLを開く



3. URL入力欄にネットワーク上のファイルのURLを入力

   履歴欄から以前開いたファイルのURLを選択することもできます。
4. OK

パソコンのライブラリと同期する

パソコンのWindows Media® Playerのライブラリと楽曲／動画を同期することができます。著作権保護付きの楽曲／動画は、この方法によって著作権情報とともに本端末に同期することができます。

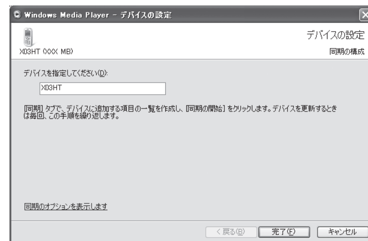
同期の準備／ライブラリの同期

あらかじめActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターで本端末とパソコンのデータ同期の設定をしておく必要があります(P.7-4、P.7-10)。

<例：パソコン側がWindows Media® Player11の場合>

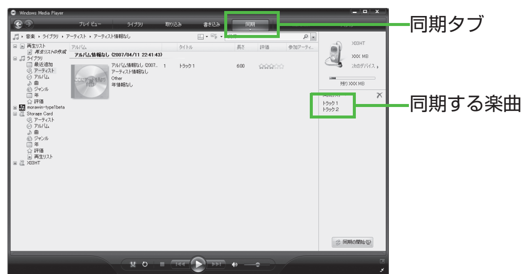
1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続する
2. パソコン側のWindows Media® Playerを起動する

   はじめて本端末と同期するときは、デバイスの設定画面が表示されます。



3. デバイス名を確認 >「完了」をクリック
4. パソコン側のWindows Media® Playerで同期タブをクリック

5. 同期する楽曲をライブラリからデバイス側にドラッグアンドドロップする



6.「同期の開始」をクリック

ライブラリの同期が開始されます。



本端末のメモリカードとの同期

パソコン側のWindows Media® Playerと本端末のメモリカードを直接同期することができます。

<例：パソコン側がWindows Media® Player11の場合>

1. パソコン側のWindows Media® Playerで、「次のデバイス」をクリック



メモリカードのデバイス名が表示されます。
以降の操作は、「同期の準備／ライブラリの同期」（P.12-11）の操作5以降を参照してください。

注意

- 本端末と同期を行うには、パソコン側でWindows Media® Player10以降のバージョンが必要です。

補足

- パソコン側のWindows Media® Playerの使用方法については、Windows Media® Playerのヘルプを参照してください。

ライブラリ画面のメニュー

ライブラリ画面や再生リスト画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
再生待ちに追加	再生待ちリスト（プレイ ビュー）に追加します。
ライブラリから削除	ライブラリから削除します。
プレイ ビュー	プレイ ビュー一覧画面を表示します。
ライブラリ	ライブラリのデバイスをマイ デバイス／メモリカードから選択します。
ライブラリの更新	ライブラリの内容を更新します。 後からメモリカードを取り付けたときなどは、メモリカード内も含め、すべての楽曲／動画ファイルを検索して表示します。
ファイルを開く	楽曲／動画ファイルを直接開いて再生します。
URLを開く	ネットワーク上の楽曲／動画を再生します（P.12-11）。
プロパティ	楽曲／動画または再生リストの情報を表示します。
プレーヤー	Windows Media® Player Mobile再生画面を表示します。

オーディオブースターを活用する

オーディオブースターでは、イヤホン接続時の音質を調整します。

● イヤホンを接続しているときのみ調整できます。

音質を調整する

使用するイコライザと3Dサウンド、高音、低音の効果を設定します。

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ オーディオブースター

   オーディオブースター画面が表示されます。

2. 「イコライザ」にチェックを付ける ＞ イコライザの種類を選択

3. 音響効果を設定 ＞ 完了

イコライザのプリセットをカスタマイズする

イコライザをお好みの周波数に調節して、プリセットとして登録することができます。

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ オーディオブースター

   オーディオブースター画面が表示されます。

2. 「イコライザ」にチェックを付ける ＞ [アイコン] を選択

   イコライザ調節画面が表示されます。

3. イコライザ調節エリアを選ぶ ＞ 決定ボタン

4. ナビゲーションボタン（左右）で帯域を選択 ＞ ナビゲーションボタン（上下）で周波数を調節



5. メニュー ＞ プリセットとして保存

6. プリセット名を入力 ＞ 完了 ＞ OK

イコライザのプリセットを削除する

プリセットとして登録したイコライザを削除します。本端末にあらかじめ登録されているイコライザを削除することはできません。

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ オーディオブースター

   オーディオブースター画面が表示されます。

2. 「イコライザ」にチェックを付ける ＞ [アイコン] を選択

   イコライザ調節画面が表示されます。

3. 対象のイコライザを選択

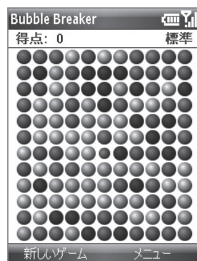
4. メニュー ＞ プリセットを削除 ＞ はい

ゲーム

Bubble Breaker

となり合っている同色のバブル（シャボン玉）を消していくゲームです。一度に多くの同色バブルを消すと、高い得点になります。

1. スタート ＞ エンターテインメント ＞ ゲーム ＞ Bubble Breaker



2. 消すバブルを選んで決定ボタンを押す

   消せるバブルが線で囲まれ、得られる得点が表示されます。

3. もう一度決定ボタンを押す

   バブルが消え、得点が加算されます。
   同様の操作を繰り返し、消せるバブルがなくなると終了です。

Bubble Breakerのメニュー

Bubble Breakerでは、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
元に戻す	直前の動作を元に戻します。
新しいゲーム	新しいゲームを開始します。
成績表	ゲームの成績が表示されます。
オプション	サウンドの有無や、スタイル、バブルの色などを設定します。
バージョン情報	Bubble Breakerのバージョン情報が表示されます。

ソリティア

山札と場札のカードすべてを使い切って、組札に積み重ねるゲームです。

● ルールは以下のとおりです。
- 組札には１からKまでの同じ種類のカードを、小さい順に積み重ねることができます。
- 場札には、大きい順に赤・黒のカードを交互に積み重ねることができます。
- すべてのカードを組札に積み重ねることができたら、ゲームクリアです。
- 移動できるカードがなくなるとゲームオーバーです。

1. スタート > エンターテインメント > ゲーム > ソリティア



2. カードをめくる

山札がめくられます。

3. 移動するカードの位置番号に対応するダイヤルボタンを押す

移動するカードの位置番号が丸で囲まれます。

4. 移動先の位置番号に対応するダイヤルボタンを押す

カードが移動します。
同様の操作を繰り返します。

■新しいゲームを開始する場合

> メニュー > 新しいゲーム

セキュリティ

ロック機能

デバイスのロック

端末を操作しない状態が一定時間続いたときに、ボタン操作ができないようにロックできます。

1. スタート ＞ 設定 ＞ セキュリティ ＞ デバイスのロック
2. 「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付ける ＞ 時間を選択
3. パスワードの種類を選択
4. パスワード、確認パスワードを入力
5. 完了 ＞ はい

   デバイスのロックが設定されます。



注意

- デバイスのロックでは、お客様ご自身がロック解除用のパスワードを設定するため、パスワードはお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（P.16-19）までご連絡ください。



補足

- デバイスのロックを設定しているときにキーロック（P.1-18）をかけると、デバイスのロックがかかります。

PINコード設定

PINコードの有効／無効の設定や、PINコードの変更を行います。

● PINコードの詳細については、P.1-5を参照してください。

PINコードを有効にする

USIMカードを本端末に取り付けて電源を入れたときに、PIN1コードを入力するように設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ セキュリティ ＞ SIMカード暗証番号（PIN）を有効にする
2. PINコードを入力 ＞ 完了

   PINコードが有効になります。



補足

- PINコードを無効にする場合は、スタート ＞ 設定 ＞ セキュリティ ＞ SIMカード暗証番号（PIN）を無効にするを選択し、PIN1コードを入力してください。

PINコードを変更する

PIN1コードまたはPIN2コードを変更します。

● PIN1コードはSIMカード暗証番号（PIN）を有効にするを設定している場合のみ変更できます。

1. **スタート ＞ 設定 ＞ セキュリティ ＞ SIMカード暗証番号（PIN）の変更 または 暗証番号（PIN）2を変更する**

2. **古い暗証番号を入力 ＞ 新しい暗証番号を入力 ＞ 新しい暗証番号をもう一度入力**

3. **完了**

PIN1コードまたはPIN2コードが変更されます。

暗号化

ファイルをメモリカードに保存する際、ファイルを暗号化するよう設定します。

1. **スタート ＞ 設定 ＞ セキュリティ ＞ 暗号化**

2. **「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックを付ける ＞ 完了**



補足

- 本端末で暗号化されたファイルは、本端末でのみ開くことができます。他の端末（X03HTも含む）やパソコンなどで開くことはできません。
- ストレージをクリアすると、メモリカード内の暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなります。ストレージをクリアする前に、暗号化されたファイルをActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンに保存してください。

お買い上げ時の設定に戻す

登録されているデータを削除し、各種機能の既定値をすべてリセットします。

1. スタート ＞ 設定 ＞ ストレージをクリア

2. 表示されている文字列を入力欄に入力 ＞ はい

注意

- ストレージをクリアすると、本端末はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、本端末にインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタマイズした設定などはすべて失われます。必要に応じてメモを取ったり、データをバックアップすることをおすすめします。
- ストレージをクリアすると、メモリカード内の暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなります。ストレージをクリアする前に、暗号化されたファイルをActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンに保存してください。

補足

- 削除されるデータは以下のとおりです。
  - ・Outlook、SoftBank メールに保存されているメッセージ
  - ・連絡先、仕事、予定表の内容
  - ・お客様が撮影し、本体メモリに保存されている静止画／動画
  - ・お客様がインストールしたプログラム
  - ・その他、お買い上げ以降に登録されたすべてのデータおよび設定内容
- USIMカードに登録されている連絡先やSMSは削除されません。

設定と管理

設定

電話

通信やオプションサービスに関する設定を行います。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話
2. 以下の項目を設定

   留守番電話／転送：転送電話サービス、留守番電話サービスの設定（P.2-11、P.2-12）
   発着信規制：発着信規制サービスの設定（P.2-14）
   割込通話：割込通話サービスの設定（P.2-12）
   発信者番号通知：発信者番号通知サービスの設定（P.2-14）
   自動応答：ハンズフリー対応機器利用時の自動応答の設定
   帯域選択：ネットワークの種類の設定（P.2-8）
   通話オプション：着信応答時のキー設定やUSIMカードに登録されている連絡先の表示についての設定
   チャネル：通信事業者の設定（P.2-9）
   発信先固定：指定した電話番号のみに発信できる機能に関する設定

サウンド

着信音やアラーム音などを種類ごとに設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ サウンド
2. 種類ごとに着信音やアラーム音を選択 ＞ 完了

   ■着信音やアラーム音を削除する場合
   ＞ メニュー ＞ サウンドの削除 ＞ 着信音やアラーム音を反転表示 ＞ 選択 ＞ はい



注意

- サウンドの削除では、お買い上げ時に登録されているサウンドも削除可能です。削除する際は、ご注意ください。
- 音量大／小ボタンを押しても、サウンドの音量を変更することはできません。プロファイルごとに音量を変更してください。



補足

- キーパッド制御で「トーン」を選択した場合、電話番号入力時のみ制御音が鳴ります。

プロファイル

プロファイルごとに、着信音・アラーム音の通知方法や音量が設定されています。また、設定値を変更することもできます。

プロファイルを変更する

1. スタート ＞ 設定 ＞ プロファイル

   プロファイルの一覧画面が表示されます。
   現在設定されている項目の右端には、チェックが付いています。

2. 以下の項目から選択

通常モード：標準的な設定です。
サイレント：着信時に振動でお知らせする設定です。
マナーモード：スピーカーから出る音を鳴らさないようにする設定です。着信は振動でお知らせします。
アウトドア：屋外でも聞こえるように、音量が最大の設定です。
自動切替：予定表と連動し、自動的に通常モードとマナーモードが切り替わります。

プロファイルを編集する

1. スタート ＞ 設定 ＞ プロファイル
2. 編集する項目を反転表示 ＞ メニュー ＞ 編集
3. 以下の項目を編集

名前：プロファイルの名前を設定します。
着信通知の種類／着信音の音量：着信音の鳴りかたや音量を設定します。
アラーム（時計）の種類／音量：「時計とアラーム設定」（P.14-3）で設定したアラームの鳴りかたや音量を設定します。
アラーム（Outlook）の種類／音量：予定表や仕事で設定したアラームの鳴りかたや音量を設定します。
通知の種類／音量：メール受信時の通知音の鳴りかたや音量を設定します。
システム サウンドの音量：警告やエラー時の通知音の音量を設定します。

4. 完了

■編集したプロファイルを初期値に戻す場合
＞ 元に戻す項目を反転表示 ＞ メニュー ＞ 既定にリセット

ホーム

ホームのレイアウトや背景イメージなどを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ ホーム画面
2. それぞれの値を設定 ＞ 完了

マイピクチャからホームの背景を設定する

マイピクチャに保存されている画像をホームの背景イメージに設定できます。ホーム画面で背景イメージに設定したい画像が表示されない場合などは、画像とビデオから設定してください（P.11-13）。

時計とアラーム

現在時刻を設定する

画面に表示される日付や時刻を設定します（P.1-15）。

アラーム時刻を設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 時計とアラーム ＞ アラーム
2. それぞれの値を設定 ＞ 完了

接続

接続や通信に関する設定を行います。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続

2. 以下の項目を設定

Comm Manager：各種通信機能のオン／オフの切替（P.9-2）
ビーム：着信ビームの受信設定
Bluetooth：Bluetooth®に関する設定（P.9-5）
ダイヤルアップ：ダイヤルアップ接続時の電話番号やユーザー名などの設定
GPRS：GSMのパケットデータ通信の方式での接続先やユーザー名などの設定
プロキシ：プロキシの設定（P.9-5）
VPN：VPNの設定（P.9-5）
ワイヤレスLANの設定：ワイヤレスLAN（無線LAN）に関する設定（P.9-3）
SMSサービス：SMSを使用するためのサービスをGPRS、GSMから設定
PCへのUSB接続：USBケーブルを使用して、パソコンと本端末を接続するときの接続形式の設定（チェックを付けるとLAN接続となります。）

■詳細な設定をする場合

＞ メニュー ＞ 詳細設定

セキュリティ

1. スタート ＞ 設定 ＞ セキュリティ

2. 以下の項目を設定

項目	説明
デバイスのロック	端末を何も操作しない状態が一定時間続いたときに、ボタン操作ができないようにロックできます（P.13-2）。
SIMカード暗証番号（PIN）を有効にする	USIMカードを本端末に取り付けて電源を入れたときに、PIN1コードの入力が必要になります（P.13-2）。
SIMカード暗証番号（PIN）の変更※	PIN1コードを変更します（P.13-3）。
暗証番号（PIN）2を変更する	PIN2コードを変更します（P.13-3）。
証明書	本端末に登録されている証明書を確認します。
暗号化	ファイルをメモリカードに保存する際、ファイルを暗号化するよう設定できます（P.13-3）。
発着信規制用暗証番号を変更する	発着信規制用暗証番号を変更します。

※ SIMカード暗証番号（PIN）を有効にするを設定している場合のみ表示されます。

パワーマネージメント

バックライトの設定を行う

バックライトの点灯／消灯について設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ パワーマネージメント

2. バッテリ使用時のバックライトのタイムアウトでバックライトが消える時間を選択 ＞ 完了

■充電中のバックライトの設定を行う場合

＞ AC使用時のバックライトのタイムアウトでバックライトが消える時間を選択

ディスプレイの表示時間を設定する

何も操作しない時間が続いた場合、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定できます。

1. スタート ＞ 設定 ＞ パワーマネージメント

2. バッテリ使用時のディスプレイのタイムアウトでディスプレイの表示が消える時間を選択 ＞ 完了

■充電中のディスプレイの設定を行う場合

＞ AC使用時のディスプレイタイムアウトでディスプレイの表示が消える時間を選択

■ライトセンサーを使用するかどうかを設定する場合

＞ ライトセンサーを使用でオン／オフを選択

■パソコンとのUSBケーブル接続時に充電するかどうかを設定する場合

＞ USB充電でオン／オフを選択



補足

- Bluetooth® を使用しないときは、Bluetooth® 通信機能をオフにするとバッテリーの節約になります （P.9-2）。

プログラムの削除

お客様が後からインストールしたプログラムを削除します。本端末にあらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

1. スタート ＞ 設定 ＞ プログラムの削除

2. 削除するプログラムを反転表示

3. メニュー ＞ 削除 ＞ はい ＞ OK

ユーザー補助

ユーザー操作にともなう各種設定をします。

1. スタート ＞ 設定 ＞ ユーザー補助
2. 以下の項目を設定

項目	説明
確認タイムアウト	確認メッセージ（ダイアログ）が表示された際、設定した時間を過ぎると、カーソルが当たっている項目が自動的に選択されます（確認メッセージ（ダイアログ）によっては動作しない場合があります）。
着信通知の音量	通話中に着信があった場合の通知音の音量を設定します。

3. 完了

地域／言語設定（English）

地域や言語（English）、日付の形式などを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 地域
2. それぞれの項目を設定 ＞ 完了



補足

- 言語または地域を変更した場合、再起動が必要であることを示すメッセージが表示されますので、本端末の電源を一度切ってから、電源を入れ直してください。

バージョン情報

本端末のオペレーティングシステムのバージョンやメモリの容量などの情報を確認します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ バージョン情報

エラー報告

本端末で重大なエラーが発生した場合のエラー発生時の情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ エラー報告
2. 無効または有効 ＞ 完了

ロック解除時の時計表示

キーロック解除の画面に時計を表示するかどうかを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ ロック解除の時計表示
2. 必要な項目にチェックを付ける ＞ 完了

GPRS認証方式

GPRS認証方式を設定します。

- GPRSとは、GSMのパケットデータ通信の方式です。日本国内では使用できません。

1. スタート > 設定 > GPRS認証

2. 以下の項目から選択

PAP認証：認証プロトコルをPAP（パスワード認証プロトコル）にします。

CHAP認証：認証プロトコルをCHAP（チャレンジハンドシェイク認証プロトコル）にします。

3. 完了

CSDラインの種類

CSD（Circuit Switch Data）接続を行うときに使用する回線の種類を設定します。

- CSDとは、GSMの回線交換データ通信方式です。日本国内では使用できません。
- 接続を確立できない場合を除き、通常は設定を変更する必要はありません。

1. スタート > 設定 > CSDラインの種類

2. それぞれの項目を設定 > 完了

デバイス情報

本端末のプロセッサの種類やディスプレイ解像度などの情報を確認します。

1. スタート > 設定 > デバイス情報

タスクマネージャ

不要なプログラムを終了させる

起動中のプログラムを一覧表示して、不要なプログラムを終了します。

1. スタート > ツール > タスクマネージャ

起動中のプログラムが一覧表示されます。

2. 対象のプログラムを反転表示

3. メニュー > 終了

■起動中のプログラムを表示させる場合

> 対象のプログラムを反転表示 > メニュー > 開く［操作］

■起動中のプログラムをすべて終了する場合

> メニュー > すべて終了 > OK

■起動中のプログラムのうち特定のプログラム以外を終了する場合

> 終了しないプログラムを反転表示 > メニュー > 選択したアイテム以外すべて終了



補足

- ホームボタン（［ホーム］）を 1 秒以上押してもタスクマネージャを起動できます。

メモリ残量を確認する

本端末のメモリ情報や起動中のプログラムなどを確認できます。

1. スタート > ツール > タスクマネージャ

空き領域と起動中のプログラムが表示されます。

■詳細なメモリ情報を確認する場合

> メニュー > システム情報

メモリに関するご注意

本端末のメモリには、各種ファイル、画像、メールを保存するための「データ記憶用」とプログラムを実行するための「プログラム実行用」があります。なお、データ記憶用のメモリが減少すると以下の動作となりますので、「メモリの空き容量を確保する」（P.14-9）を参照いただき、データ記憶用メモリの空き容量を確保してください。

- データ記憶用メモリが 0.5M バイト以下になると、警告のポップアップ画面が表示され、各種ファイルおよび画像の保存ができなくなります（SMS、S! メール、インターネットメールの保存は可能です）。
- データ記憶用メモリがいっぱいになると、SMS、S! メール、インターネットメールはプログラム実行用メモリに保存されます。ただし、受信メールとしては表示されず、この状態で電源を切ると、これらのデータは完全に消去されますのでご注意ください（データ記憶用メモリの空き容量が確保されると、自動的にデータ記憶用メモリへ移行され、受信メールとして表示されます）。
- データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリがいっぱいになると、SMS、S! メール、インターネットメールが受信できなくなります（メールサーバーで保管されます）。

メモリの空き容量を確保する

データ記憶用メモリを確保する

データ記憶用メモリの確保には以下のような方法があります。

・ファイルのバックアップ（P.14-9）
・不要なファイルの削除
・Internet Explorer® Mobileでインターネット一時ファイルを削除（P.6-4）
・本端末のデータを初期化する（P.13-4）

プログラム実行用メモリを確保する

プログラム実行用メモリの確保には以下のような方法があります。

・不要なプログラムを終了する（P.14-8）
・不要なプログラムを削除する（P.14-5）

ファイルのバックアップ

端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、端末内のデータが変化・消失する場合があります。万一に備え、必要なデータはメモを取ったり、データをバックアップすることをおすすめします。

● 本端末とパソコンとで情報の同期を行う場合は、「情報／データの同期」（P.7-1）を参照してください。

パソコンにファイルをコピーする

メールにファイルを添付する

画像ファイルなどは、メールに添付してパソコンに送付することができます（P.5-6、P.5-20）。

Bluetooth®通信でファイルを送信する

Bluetooth®通信機能を利用して、本端末とパソコンとでデータのやりとりができます。

● あらかじめ本端末とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります（P.9-6）。

1. スタート ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のファイルを反転表示
3. メニュー ＞ ビーム
   送信先の検索がはじまります。
4. ビーム
   ファイルが送信されます。

メモリカードに保存する

メモリカードの取り付けについてはP.10-8を参照してください。

1. スタート > ファイルエクスプローラ
2. 対象のファイルを反転表示
3. メニュー > 編集 > コピー
4. メニュー > メモリカード

   メモリカードフォルダに移動します。
5. メニュー > 編集 > 貼り付け

   メモリカードにファイルがコピーされます。

その他の機能

HTCホーム

電源を入れたり、ホームボタン（ ）を押したりすると、基本画面であるホームが表示されます。ホーム画面では日時や天気などの情報を表示したり、さまざまなプログラムを直接起動したりすることができます。

ホーム画面

ナビゲーションボタンを押して、アイコンや表示項目を選択します。



①インフォメーションプログラム

：ホーム画面に日時を表示します。決定ボタンを押すと、時計とアラームを設定できます（P.1-15、P.14-3）。

：選択している都市の天気情報を表示します。

：ホーム画面のクイックダイヤルに登録されている連絡先を表示します。

②コミュニケーションプログラム

0 ：インターネットメールの未読件数が表示されます。決定ボタンを押すと、インターネットメールを作成できます（P.5-20）。

0 ：S!メールの未読件数が表示されます。決定ボタンを押すと、S!メール一覧画面（受信ボックスの一般フォルダ）が表示されます。

0 ：不在着信履歴の未確認件数が表示されます。決定ボタンを押すと、不在着信履歴が表示されます。

③最近使用したプログラム

最近使用したプログラムが表示されます。アイコンを選択すると、プログラムが起動します。

④予定

登録されている予定のうち、1番近い予定が表示されます。決定ボタンを押すと、予定の確認や登録ができます（P.4-7）。



補足

- 未読メールが1000件以上の場合は、件数の欄に「999」と表示されます。

天気画面

選択した都市の天気情報をホーム画面に表示することができます。



天気情報を表示する都市を選択する

● 選択できる都市については、P.16-7を参照してください。

1. ホーム画面で  を選ぶ > 決定ボタン

都市を選択画面が表示されます。

2. 都市を選択する

都市名を直接入力するか、一覧から都市名を反転表示します。

3. 選択

ホーム画面に戻り、選択した都市の天気情報が表示されます。

天気画面のメニュー

都市を選択画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
並べ替え	指定した条件で都市名を並べ替えます。	
天気オプション	以下の項目から選択します。	
	自動ダウンロード	自動ダウンロードする項目にチェックを付けます。
	温度単位	温度の単位を選択します。
天気について	天気プログラムのバージョン情報を表示します。	
最新の情報に更新	天気情報を更新します。	
キャンセル	都市の選択をキャンセルし、天気画面に戻ります。	

補足

- 天気情報は Accuweather.com より提供される情報です。気象庁発表の天気予報とは異なります。
- お買い上げ時は、天気オプションの「自動ダウンロード」はチェックが外れているため、天気情報は自動的に取得されません。天気情報を自動的に取得するには、「自動ダウンロード」の各項目にチェックを付けてください。

クイックダイヤル画面

ホーム画面のクイックダイヤルとして、8件までの連絡先を登録することができます。登録した連絡先の名称がホーム画面に表示されます。



連絡先をクイックダイヤルに登録する

連絡先に登録されている電話番号をクイックダイヤルに登録します。

1. **ホーム画面で を選ぶ > 決定ボタン**

クイックダイヤル画面が表示されます。

2. **対象を選択**

連絡先画面が表示されます。

3. **対象の連絡先を選択**

クイックダイヤルに連絡先が登録されます。

■連絡先に複数の電話番号が登録されている場合

ナビゲーションボタン（左右）で登録する電話番号を切り替える

■連絡先を削除する場合

削除する連絡先を反転表示> メニュー > 削除 > はい

クイックダイヤルで電話をかける

1. **ホーム画面で を選ぶ > 決定ボタン**

クイックダイヤル画面が表示されます。

2. **対象を反転表示 > ダイヤル**

クイックダイヤルに登録されている連絡先に電話がかかります。

電卓として使う

四則演算（+、−、×、÷）やパーセント計算などを行うことができます。

1. スタート ＞ ツール ＞ 電卓

■例：「23＋57」を計算する場合

＞ 2 ＞ 3 ＞ ナビゲーションボタン（上）＞ 5 ＞ 7 ＞ 決定ボタン



電卓のメニュー

電卓では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
%	表示中の数値のパーセンテージを表示します。
√	表示中の数値のルート（平方根）を表示します。
1/x	表示中の数値の逆数（x≠0）を表示します。
MS	表示中の数値をメモリに記憶します。
M+	表示中の数値をメモリに加算します。
MR	メモリに記憶されている数値を表示します。
MC	メモリに記憶されている数値を消去します。

スピードダイヤルを活用する

キーボードの数字キーにあらかじめプログラムを割り当てておくと、その数字キーを長く押すだけでプログラムを起動することができます。

● 電話番号をスピードダイヤルに登録する操作や、スピードダイヤルで電話をかける操作については、「スピードダイヤルで電話をかける」（P.2-5）を参照してください。

プログラムを登録する

1. スタート ＞ 対象のプログラムを反転表示

フォルダの中のプログラムを登録することもできます。

2. メニュー ＞ スピードダイヤルの追加

3. 数字キーやボイスタグを割り当てる

数字キーを割り当てるときは、キーパッドの割り当てで割り当てる数字キーを選択します。

音声を割り当てるときは、ボイスタグで音声を録音します。

4. 完了

■音声の割り当てのみを行う場合

＞ 対象のプログラムを反転表示 ＞ メニュー ＞ ボイスタグの追加 ＞ 音声を録音

プログラムを起動する

1. 対象のプログラムが割り当てられている数字キーを1秒以上押す

■音声でプログラムを起動する場合

音声にプログラムが割り当てられている場合は、ボイスボタンを1秒以上押し、登録した音声を発声することで、プログラムを起動することができます。

登録した内容を確認する

1. スタート > 通話 > スピードダイヤル

■登録した内容を変更する場合

>対象の項目を選択 > それぞれの値を編集 > 完了

スピードダイヤルのメニュー

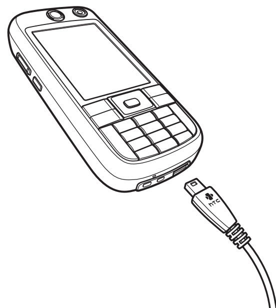
スピードダイヤル一覧画面では、メニューを押すことにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
実行	割り当てられている動作（電話をかける／プログラムの起動）を実行します。
連絡先の検索	割り当てられている連絡先を表示します。
削除	スピードダイヤルを削除します。
フィルタ	表示する内容を指定した条件で絞り込みます。

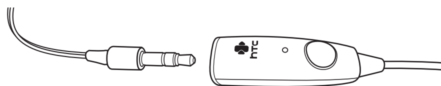
マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルを使用する

マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルを取り付ける

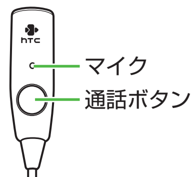
1. 外部接続端子にマイク付ステレオイヤホン変換ケーブルの接続コネクタを水平に差し込む



2. マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルの3.5mmステレオミニジャックにイヤホンのプラグを水平に差し込む



マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルの操作について



機能	操作
電話に出る	着信中に通話ボタンを押します。
電話を切る	通話中に通話ボタンを１秒以上押します。
保留	通話中に通話ボタンを押します。
リダイヤル	通話ボタンをすばやく２回押すと、直前にかけた番号にダイヤルします。
スピードダイヤル	通話ボタンを１秒以上押すと、音声で電話をかけることができます（スピードダイヤルにボイスタグと電話番号を登録しておく必要があります（P.2-5））。

付録

機能一覧

■アプリケーション

項目	サブ項目	参照先
メッセージ	Messenger	P.6-5
	Outlook Mobile	P.5-19
	Windows Live™	P.6-4
Internet Explorer® Mobile		P.6-2
エンターテインメント	Windows Media® Player Mobile	P.12-7
	オーディオブースター	P.12-13
	オーディオプレーヤー	P.12-2
	カメラ	P.11-1
	ビデオレコーダ	P.11-7
	画像とビデオ	P.11-12
	ゲーム	P.12-15
オフィス	Adobe Reader LE	P.8-6
	Excel Mobile	P.8-3
	OneNote Mobile	P.8-5
	PowerPoint® Mobile	P.8-4
	Word Mobile	P.8-2
	クイックメモ	P.4-13
	ボイスメモ	P.4-12

項目	サブ項目	参照先
SoftBankメール		P.5-4
通話	USIMマネージャ	P.2-2、P.4-6
	オーナー情報	P.1-18
	スピードダイヤル	P.2-5、P.15-5
	通話履歴	P.2-4
	連絡先	P.4-2
ツール	ActiveSync	P.7-3
	Comm Manager	P.9-2
	タスクマネージャ	P.14-8
	仕事	P.4-10
	電卓	P.15-5
	予定表	P.4-7
ファイルエクスプローラ		P.10-2
設定		P.14-2

■設定

項目	サブ項目	初期値	参照先
電話	留守番電話／転送	―	P.2-11、P.2-12
	発着信規制	―	P.2-13
	割込通話	―	P.2-12
	発信者番号通知	―	P.2-14
	自動応答	―	P.14-2
	帯域選択	―	P.2-8
	通話オプション	―	P.14-2
	チャネル	―	P.2-9
	発信先固定	―	P.14-2
サウンド	着信音	Ring-WindowsMobile	P.14-2
	アラーム(Outlook)	Alert-Outlook	
	新しい電子メール	Alert-AscendingChimes	
	新しいボイスメッセージ	Alert-Echo	
	新しいインスタントメッセージ	Alert-InstantMessage	
	アラーム（時計）	Alarm-WakeUp	
	メッセージ（警告）	Alert-Exclaim	
	メッセージ（問い合わせ）	Alert-Exclaim	
	警告	Alert-Exclaim	
	キーパッド制御	トーン	
	キーボードスライディング	ウィンドチャイム	

項目	サブ項目		初期値	参照先
プロファイル			通常モード	P.14-2
ホーム画面	ホーム画面のレイアウト		HTC Black	P.14-3
	配色		既定	
	背景イメージ		既定	
	タイムアウト		10分後	
時計とアラーム	日付/時刻	タイムゾーン	GMT＋9東京、大阪	P.14-3
		自動時間/タイムゾーン	無効にする	
	アラーム	アラーム	オフ	
接続	Comm Manager	フライトモード	オフ	P.9-2
		通話	オン	
		Bluetooth	オフ	
		ワイヤレスLAN	オフ	
		Microsoft Direct Push	−	
		データ接続	−	
	ビーム		着信ビームを受信する	P.14-4
	Bluetooth	Bluetooth	−	P.9-5
		セキュリティ	X03HT OBEX認証（パスキー）が必要です	P.9-7
		検出タイムアウト	なし	−
		対応プロファイル	−	−
	ダイヤルアップ		−	P.14-4
	GPRS		−	P.14-4

項目	サブ項目		初期値	参照先
接続	プロキシ		ー	P.14-4
	VPN		ー	P.14-4
	ワイヤレスLAN の設定		ー	P.9-3
	SMSサービス	SMSを使用するためのサービス	GSM	P.14-4
	PCへのUSB 接続		高度なネットワーク機能を有効にする	P.14-4
セキュリティ			ー	P.13-1
パワーマネージメント	メインバッテリ		ー	P.14-5
	バッテリ使用時のバックライトのタイムアウト		15秒	
	AC使用時のバックライトのタイムアウト		5分	
	バッテリ使用時のディスプレイのタイムアウト		1分	
	AC使用時のディスプレイのタイムアウト		5分	
	ライトセンサーを使用		オフ	
	USB充電		オン	
プログラムの削除			ー	P.14-5
ユーザー補助	確認タイムアウト		5秒	P.14-6
	着信通知の音量		オフ	
地域	言語		日本語	P.14-6
	地域		日本語	
バージョン情報			ー	P.14-6
エラー報告			無効	P.14-6
Windows Update			ー	P.6-7

項目	サブ項目	初期値	参照先
ロック解除時の時計表示		［ロックの解除］メッセージ画面に時計を表示します。 日付を表示	P.14-6
GPRS認証		PAP認証	P.14-7
CSDラインの種類	データレート	9600bps(v.32)	P.14-7
	接続要素	非透過モード	
デバイス情報		―	P.14-7
ストレージをクリア		―	P.13-4
ボタンロック		オフ	P.1-18

天気情報の都市一覧

県名	都市名
北海道	旭川、江別、函館、北見、釧路、室蘭、帯広、小樽、札幌、苫小牧
青森	青森、八戸、弘前
岩手	盛岡
宮城	仙台、石巻
秋田	秋田
山形	鶴岡、山形
福島	郡山
茨城	日立、水戸、境、土浦、つくば
栃木	小山、足利、宇都宮
群馬	伊勢崎、桐生、前橋、高崎
埼玉	富士見、大宮、上尾、朝霞、深谷、岩槻、春日部、川越、川口、越谷、熊谷、新座、狭山、草加、戸田、所沢、浦和
千葉	我孫子、千葉、船橋、市原、市川、鎌ヶ谷、柏、木更津、松戸、習志野、野田、八千代、流山、浦安
東京	多摩、昭島、調布、八王子、東久留米、東村山、日野、西東京、小平、小金井、国分寺、町田、武蔵野、青梅、立川、東京
神奈川	厚木、茅ヶ崎、海老名、平塚、川崎、小田原、相模原、横浜、横須賀、座間、大和
新潟	上越、長岡、新潟

県名	都市名
富山	高岡、富山
石川	金沢、小松
福井	福井
山梨	甲府
長野	長野、上田
岐阜	岐阜、各務原、大垣、多治見
静岡	清水、富士、藤枝、富士宮、浜松、三島、沼津、静岡、焼津
愛知	半田 、一宮、稲沢、刈谷、小牧、名古屋、西尾、岡崎、瀬戸、豊橋、豊川、豊田
三重	伊勢、桑名、鈴鹿、津、四日市
滋賀	草津、彦根、大津
京都	京都、宇治
大阪	大阪、池田、大東、羽曳野、東大阪、枚方、茨木、和泉、門真、河内長野、岸和田、松原、守口、寝屋川、吹田、高槻、富田林、豊中、八尾
兵庫	尼崎、姫路、伊丹、加古川、神戸、西宮、三田、宝塚
奈良	生駒、橿原、奈良
和歌山	和歌山
鳥取	鳥取、米子
島根	大田、松江
岡山	倉敷、岡山
広島	福山、東広島、広島、呉
山口	防府、岩国、下関、周南、宇部、山口

県名	都市名
徳島	徳島
香川	高松
愛媛	今治、新居浜、松山
高知	高知
福岡	北九州、久留米、大牟田、福岡
佐賀	佐賀
長崎	長崎、佐世保
熊本	熊本、八代
大分	別府、大分
宮崎	都城、宮崎、延岡
鹿児島	鹿児島
沖縄	那覇、浦添

故障かな？と思ったら

症状	確認／処置
電源が入らない	• 電源ボタンを1秒以上押し続けていますか？ • 電池切れになっていませんか？ • 電池パックは正しく本端末に取り付けられていますか？（P.1-12）
電源を入れたのに操作できない	• PIN1コードを入力する画面が表示されていませんか？（P.13-2） PIN1コードを入力してください。
電源を入れたときに「SIMカードエラー」というメッセージが表示される	• USIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか？（P.1-4） • 指定された正しいUSIMカードをお使いですか？ • USIMカードのIC部分に指紋などの汚れが付着していませんか？ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
ボタン操作ができない	• 画面左下に「ロックの解除」が表示されていませんか？ キーロック（P.1-18）またはデバイスのロック（P.13-2）が設定されているので、「ロックの解除」を押し、画面の指示に従って解除してください。 • パスワード入力の画面が表示されていませんか？ デバイスのロック（P.13-2）が設定されているので、解除するパスワードを入力してください。

症状	確認／処置
電話がかけられない	・市外局番からダイヤルしていますか？ ・発着信規制サービスの発信制限が設定されていませんか？（P.2-13）
電話がつながらない、メールやWebが利用できない	・「 」アイコンが表示されていませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・Comm Manager（P.9-2）で、「通話」がオフになっていませんか？ 「通話」をオンにしてください。 ・Comm Manager（P.9-2）で、「フライトモード」がオンになっていませんか？ 「フライトモード」をオフにしてください。
ダイヤルしても話中音（プープー...）が鳴ってつながらない	・市外局番からダイヤルしていますか？ ・「 」アイコンが表示されていませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話が途切れたり、切れたりする	・「 」アイコンが表示されていませんか？ ・電波の届きにくい場所でかけていませんか？ ・電池切れになっていませんか？
熱くなる	・充電中、充電器が熱くなったり、長時間使用すると本端末が熱くなったりすることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、本端末を長時間肌に触れたままにして使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

症状	確認／処置
充電できない	・充電器のミニUSBプラグが本端末に確実に差し込まれていますか？（P.1-13） ・急速充電器のACプラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？（P.1-13） ・電池パックが本端末に装着されていますか？ ・本端末や電池パックの充電端子、充電器のミニUSBプラグ、本端末の外部接続端子（USBポート）が汚れていませんか？ 端子部をきれいにしてください。 ・使用環境の温度が5℃～35℃の範囲外になると、充電できないことがあります。 ・電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。 新しい電池パックと交換してください。
電池の消耗が早い	・使用環境（周囲の温度／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。「充電時間と利用可能時間の目安」（P.1-10）、「電池パックの持ちについて」（P.1-11）を参照してください。 ・ワイヤレスLANやBluetooth®の通信機能がオンになっていると、電池パックの消耗が早くなります。Comm Manager（P.9-2）で、使用していない通信機能をオフにしてください。 ・Exchange Serverによるプッシュメールの受信（Microsoft Direct Push）をオンにしていると電池パックの消耗が早くなります。プッシュメールの受信のオン／オフについては、P.9-2を参照してください。

症状	確認／処置
Bluetooth® 対応機器から検出されない	・Comm ManagerでBluetooth®の通信機能がオフになっていませんか？ Bluetooth®の接続設定についてはP.9-5を参照してください。 ・ディスプレイの表示が消えていませんか？ ディスプレイの設定についてはP.14-5を参照してください。
ワイヤレスＬＡＮ(無線LAN)に接続できない	・Comm ManagerでワイヤレスLANの通信機能がオフになっていませんか？ ワイヤレスLANの接続設定についてはP.9-3を参照してください。
パソコンと接続してもデータの同期やファイルのやりとりができない	・付属のActiveSync、Windows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールしましたか？ データの同期についてはP.7-1を参照してください。

こんなときはご使用になれません

「 」が表示されているとき	サービスエリア外か電波が届きにくい場所です。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所に移動してください。
端末がロックされているとき	誤操作防止のため端末がロックされています。ロックを解除しないとボタンを操作することはできません。ただし、ロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
Comm Managerで通話がオフ、またはフライトモードがオンのとき	Comm Manager（P.9-2）で「通話」がオフになっていると電話をかけることができません。また「フライトモード」がオンになっていると、すべての電波の発信が制限されます。
電池残量不足のとき	電池残量がなくなっています。電池パックを充電するか、充電済みの電池パックと交換してください。

ダイヤルボタンの割り当て表

ボタン	入力モード			
	漢字ひらがな［全角］	カタカナ［全角／半角］	英字［全角／半角］	数字※2［全角／半角］
1 あ .@	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@－＿／：；1	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	a b c A B C 2	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	d e f D E F 3	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	g h i G H I 4	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l J K L 5	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o M N O 6	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	p q r s P Q R S 7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	t u v T U V 8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 8	9
0 わをん	わをんゎ 、。ー．～！？ （半角スペース）	ワヲンヮ※1 、。ー．～！？ （半角スペース）	．，' ！？ （半角スペース） 0	0
＊ 記号	記号／顔文字／絵文字一覧に切り替え			
＃ 文字	入力モード切り替え／文字入力メニュー（1秒以上押す）			

※1「ヮ」は全角カタカナモードでのみ入力できます。
※2 ダイヤルボタンを 1 秒以上押すと、全角モードのときは全角の数字が、半角モードのときは半角の数字が入力されます。

ローマ字入力表

■五十音

あ　A	い　I	う　U	え　E	お　O
か　KA(CA)	き　KI	く　KU	け　KE	こ　KO
さ　SA	し　SI (SHI)	す　SU	せ　SE	そ　SO
た　TA	ち　TI(CHI)	つ　TU(TSU)	て　TE	と　TO
な　NA	に　NI	ぬ　NU	ね　NE	の　NO
は　HA	ひ　HI	ふ　HU(FU)	へ　HE	ほ　HO
ま　MA	み　MI	む　MU	め　ME	も　MO
や　YA		ゆ　YU		よ　YO
ら　RA	り　RI	る　RU	れ　RE	ろ　RO
わ　WA				を　WO
ん　N (NN)				

※ ローマ字入力はスライドキーでのみ利用できます。

■濁音／半濁音

が　GA	ぎ　GI	ぐ　GU	げ　GE	ご　GO
ざ　ZA	じ　ZI	ず　ZU	ぜ　ZE	ぞ　ZO
だ　DA	ぢ　DI	づ　DU	で　DE	ど　DO
ば　BA	び　BI	ぶ　BU	べ　BE	ぼ　BO
ぱ　PA	ぴ　PI	ぷ　PU	ぺ　PE	ぽ　PO
		ヴ　VU		

■拗音１（ゃ、ゅ、ょ）

きゃ　KYA	きゅ　KYU	きょ　KYO
しゃ　SYA（SHA）	しゅ　SYU（SHU）	しょ　SYO（SHO）
ちゃ　TYA（CHA）	ちゅ　TYU（CHU）	ちょ　TYO（CHO）
にゃ　NYA	にゅ　NYU	にょ　NYO
ひゃ　HYA	ひゅ　HYU	ひょ　HYO
みゃ　MYA	みゅ　MYU	みょ　MYO
りゃ　RYA	りゅ　RYU	りょ　RYO
ぎゃ　GYA	ぎゅ　GYU	ぎょ　GYO
じゃ　ZYA（JA）	じゅ　ZYU（JU）	じょ　ZYO（JO）
ぢゃ　DYA	ぢゅ　DYU	ぢょ　DYO
びゃ　BYA	びゅ　BYU	びょ　BYO
ぴゃ　PYA	ぴゅ　PYU	ぴょ　PYO

■拗音２（ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ）

くぁ　QA	くぃ　QI	くぅ　QWU	くぇ　QE	くぉ　QO
ぐぁ　GWA	ぐぃ　GWI	ぐぅ　GWU	ぐぇ　GWE	ぐぉ　GWO
つぁ　TSA	つぃ　TSI		つぇ　TSE	つぉ　TSO
ふぁ　FA	ふぃ　FI		ふぇ　FE	ふぉ　FO
ヴぁ　VA	ヴぃ　VI		ヴぇ　VE	ヴぉ　VO

■拗音３（その他）

いぇ　YE	うぇ　WE			
てゃ　THA	てぃ　THI	てゅ　THU	てぇ　THE	てょ　THO
でゃ　DHA	でぃ　DHI	でゅ　DHU	でぇ　DHE	でょ　DHO
ふゃ　FYA		ふゅ　FYU		ふょ　FYO
とぅ　TWU	どぅ　DWU			
ヴゅ　VYU				

■小さい文字のみの入力

ぁ　LA(XA)	ぃ　LI(XI)	ぅ　LU(XU)	ぇ　LE(XE)	ぉ　LO(XO)
ゃ　LYA	ゅ　LYU	ょ　LYO	っ　LTU	

■「ん」の入力

・通常は「N」を入力
・「ん」の次に母音（A, I, U, E, O）またはYが続くとき、文末が「ん」のときは「NN」を入力

例：
KANSEI － かんせい
TANNI － たんい
KONNYAKU － こんやく

■「っ」の入力

・子音を2回連続して入力（NとYを除く）

例：
SAKKA － さっか
HASSINN － はっしん

記号／絵文字一覧

記号一覧

■全角記号

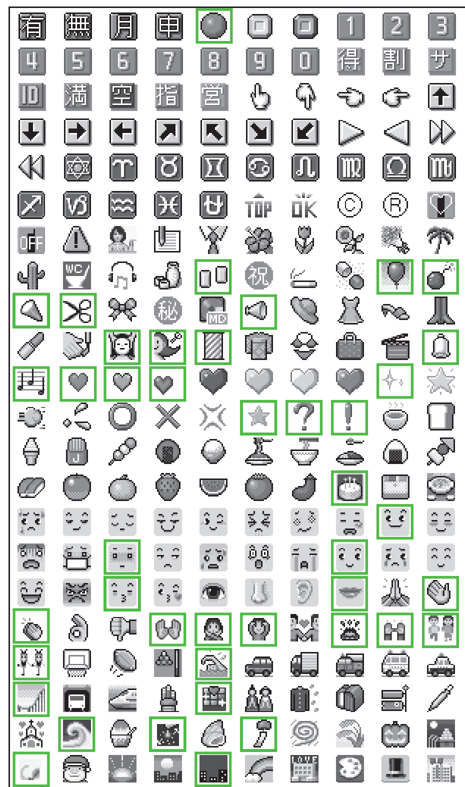
	、	。	，	．	・	：	；	？	！
゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ
ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐
／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋
－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧
∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽
▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋
⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒
≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
♯	♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ
ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ
Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ

λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ
φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш
Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л
м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х
ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴
┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫
┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥
┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍
℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾
㍽	㍼	∮	∑	∟	⊿				

■半角記号

<table>
<tr><td></td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td></tr>
<tr><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td></tr>
<tr><td>></td><td>?</td><td>@</td><td>[</td><td>¥</td><td>]</td><td>^</td><td>_</td><td>`</td><td>{</td></tr>
<tr><td>|</td><td>}</td><td>~</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

絵文字一覧





※ 　部分の絵文字は動く絵文字です。
※ 絵文字はSMS、S!メールでのみ使用できます。クイックメモなど絵文字非対応の機能では、絵文字は表示されません。また、絵文字非対応ソフトバンク携帯電話では、絵文字は表示されません。

ActiveSyncの動作環境(パソコン)

本端末をパソコンと接続してデータを同期するためには、パソコンにMicrosoft® ActiveSync®プログラムがインストールされている必要があります。
ActiveSyncは「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

オペレーティングシステム

Windows® XP Service Pack 1および2
Windows® XP Tablet PC Edition
Windows® XP Media Center Edition
Windows® XP Professional x64 Edition
Windows® 2000 Service Pack 4
Windows® Server 2003 Service Pack 1
Windows® Server 2003 Service Pack 1 for Itanium-powered Systems
Windows® Server 2003 Standard x64 Edition

アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）
Microsoft® Office XP／Microsoft® Outlook® XP
Microsoft® Office 2003／Microsoft® Outlook® 2003
Microsoft® Outlook® 2007
Microsoft® Internet Explorer® 6.0以降
Microsoft® Systems Management Server 2.0

Windows Mobileデバイスセンターの動作環境(パソコン)

本端末とWindows Vista搭載のパソコンと接続してデータを同期するには、Windows Mobileデバイスセンターを利用します。
Windows Mobileデバイスセンターは「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

オペレーティングシステム

Windows Vista® Ultimate
Windows Vista® Enterprise
Windows Vista® Business
Windows Vista® Home Premium
Windows Vista® Home Basic

アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）
Microsoft® Office XP／Microsoft Outlook® XP
Microsoft® Office 2003／Microsoft Outlook® 2003
Microsoft® Outlook® 2007
Internet Explorer® 7

仕様

システム情報

プロセッサ	Qualcomm MSM7200 400MHz
メモリ	- ROM : 256 Mバイト - RAM : 128 Mバイト SDRAM
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows Mobile® 6 Standard

電源

電池パック	リチウムイオンポリマー電池、1050 mAh
充電時間※	約180分
連続待受時間	3Gモードの場合：約330時間 GSMモードの場合：約230時間
連続通話時間	3Gモードの場合：約210分 GSMモードの場合：約240分
メディア再生	約8時間（WMV）：約12時間（WMA）
電源電圧	急速充電器：入力AC100-240V、出力DC5V シガーライター充電器：入力DC12／24V、出力DC5V

※ 急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を使用して充電した場合の時間です。

ディスプレイ

LCD	2.4”カラー透過型TFT LCD （バックライトLED付き）
解像度	240×320（65,536色）

W-CDMA／GSM／EDGEモジュール

通信方式および帯域	• HSDPA - 日本のみ：2100MHz • W-CDMA - 日本：2100MHz - 欧州／アジア：2100MHz - 米国：850MHz／1900MHz • GSM／GPRS／EDGE - 850MHz／900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

外装

寸法	51mm(W) × 106mm(H) × 19.4mm(D)
質量	150g（電池パックを含む）

カメラ

タイプ	外側カメラ：200万画素カラー CMOS カメラ 内側カメラ：30万画素カラー CMOSカメラ
解像度	1600 ×1200（UXGA)、1280 ×960（SXGA)、640 ×480（VGA)、320 ×240（QVGA)、160× 120（QQVGA)
デジタルズーム	最大8倍

オーディオ／ビデオ

オーディオ	AAC+／AAC／AMR／WMA／MP3／MIDI
ビデオ	WMV／MPEG-4／H.263／H.264／M-JPEG

外部接続

ミニUSB	USB 2.0、シリアル、オーディオ、電源接続用
Bluetooth®	Bluetooth® 標準規格Ver. 2.0＋EDR準拠 Power Class 2 GAP（汎用アクセスプロファイル） SDP（サービスディスカバリーアプリケーションプロファイル） SPP（シリアルポートプロファイル） HSP（ヘッドセットプロファイル） HID（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル） OPP（オブジェクトプッシュプロファイル） HFP（ハンズフリープロファイル） GOEP（汎用オブジェクト交換プロファイル） A2DP（オーディオプロファイル） AVRCP（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
ワイヤレスLAN	IEEE 802.11b/g

拡張スロット

カードスロット	microSD™／microSDHC™

急速充電器

電源電圧	AC100V-240V、50-60Hz
出力電圧／出力電流	5V／1A
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ	約65mm×38mm×24mm（突起部とコードを除く）

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター

総合案内：ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
＋81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

索引

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

も

よ

り

る

れ

ろ

わ

A

B

W